



ご利用の手引き

タウンレコーダー遠隔見守りサービス



このたびは、タウンレコーダー遠隔見守りサービスにご契約いただき、まことにありがとうございます。
本書には、タウンレコーダー遠隔見守りサービスで提供されるサービスの内容やサービス開始に必要な設定操作の
手順などを記載していますので、必ずお読みいただきますよう、お願い申し上げます

目 次

ソフトウェア使用許諾契約書	5
使用上のご注意	7
概 要	7
契約プランについて	8
契約プランと通信容量について	8
操作できる機能	9
利用できる機器	10
システム例	10
ログインまでの流れ	11
パソコン要件	11
対応スマートフォン一覧	12
Web ブラウザーを開く	12
Internet Explorer モードを使用可能にする	13
遠隔見守りサービスにログインする	14
ソフトウェアをインストールする	15
VPN ソフトウェアをインストールする	15
VPN ソフトウェアにログインする	16
TRIFORA VIEW をインストールする	18
GR 遠隔ダウンローダーをインストールする	21
使いかたガイド	22
設定と確認項目一覧	24
遠隔見守りサービスの設定と操作	25
各画面の名称と操作方法	25
地図画面	26
地図画面の見かた	26
初期画面を設定する	27
機器一覧	28
機器一覧の見かた	28
機器詳細	29
詳細画面の見かた	29

ライブ映像を確認する	30
ライブ配信方式について	31
ライブ配信方式の優先度と複数ユーザーによるライブ映像の同時確認について	31
接点出力で外部機器を制御する	32
RS485 通信で外部機器を制御する	33
RS485 通信で外部機器の情報を取得する	34
カメラを PTZ 操作する	35
音声ファイルを再生する	37
機器の動作状態を確認する	40
機器のログを確認する	41
機器のメンテナンスを行う	42
機器アイコンの位置を補正する	44
機器のメンテナンス制御を行う	45
ライブ画面	48
ライブ画面の見かた	48
機器状態一覧	51
機器状態一覧画面の見かた	51
機器状態の見かた	52
複数の機器のログを一括でダウンロードする	53
遠隔放送	54
ライブ画面から個別放送を行う	55
遠隔放送画面から遠隔放送を行う	57
機器の放送状態を確認する	59
お知らせ一覧	60
お知らせ画面の見かた	60
管理設定	61
ユーザー管理	62
レコーダー管理	69
放送グループ管理	78
SIM データ管理グループ管理	80
SIM データ容量の追加について	81
個人設定	82
パターン登録	83
操作履歴	86
ログアウト	86
ログの種類	87
録画データをダウンロードする	91
GR 遠隔ダウンローダーの起動	91
GR 遠隔ダウンローダーメイン画面	92
ダウンロードの設定	93
録画データの個別ダウンロード	94
ダウンロード範囲を設定する	95
ダウンロードする映像を確認する (プレビュー再生)	96
録画データの一括ダウンロード	98
ダウンロード範囲のクリア	99

録画データの再ダウンロード	100
ダウンロードに失敗した録画データを再ダウンロードする	101
ダウンロード実行中の表示	102
ダウンロードの中断と再開	103
ダウンロードの停止	104
ダウンロードの完了	104
ダウンロードしたデータ	105
ログ表示	106
ログの種類	106
GR 遠隔ダウンローダーの終了	107
録画データの再生	107
遠隔ダウンロード時間の目安	107
故障かな？と思ったら	108
エラーメッセージ（GR 遠隔ダウンローダー）	111

ソフトウェア使用許諾契約書

[TRIFORA VIEW の使用許諾契約]

本使用許諾契約（以下「本契約」）は、TOA 株式会社（以下「TOA」）製ソフトウェア「TRIFORA VIEW」（以下「本ソフトウェア」）に関して、お客様（個人または団体）と TOA との間で締結される法的な契約です。本ソフトウェアをダウンロード、インストールまたは使用することによって、お客様は本契約の条項に拘束されることに同意されたものとします。本契約の条項に同意されない場合、TOA はお客様に本ソフトウェアの使用を許諾することはできません。

1. 本契約によって TOA は、非独占的かつ譲渡不能な権利として、お客様にタウンレコーダーを使用する目的でライセンスを許諾するものとします。お客様は、お客様自身が管理・使用されている 1 台のコンピュータで本ソフトウェアを使用することができます。
2. 本ソフトウェアに関するすべての権利および著作権は、TOA が所有しており、本ソフトウェアは著作権法および国際条約の規定によって保護されています。また、本ソフトウェアに関するすべての著作権およびその他の知的所有権は、お客様に一切移転されないものとします。
3. お客様は、本ソフトウェアを複製することはできません。お客様は、本ソフトウェアを譲渡、貸出、移転、その他の方法で第三者に使用させることはできません。また、お客様自身での本ソフトウェアの使用を目的としたデバッグ用途以外に、本ソフトウェアの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。
4. お客様は、本ソフトウェアを第 1 条に定める目的以外に使用することはできません。
5. お客様は、本ソフトウェアを国外に持ち出して使用する場合、適用される各国の輸出管理法令等に従うものとします。
6. 本ソフトウェアは、「商用コンピューターソフトウェア」および「商用コンピューターソフトウェア書類」と見なされ、アメリカ合衆国政府による規制 DFAR Section 227.7202 および FAR Section 12.212(b) にそれぞれ従っています。
7. TOA は、本ソフトウェアをダウンロード、インストールまたは使用したことにより発生した、データ損失、逸失利益、保証金その他いかなる損害についても、お客様に対し責任を負いません。また、TOA は、明示もしくは黙示を問わず、本ソフトウェアに関する一切の保証（商用性および特定の目的に対する適合性などの黙示の保証を含む）をしないものとします。
8. お客様による本ソフトウェアの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルが行われた場合、それに起因するかどうかに関わらず、発生した一切の故障または不具合に関して、お客様に対し責任を負いません。
9. お客様が、本ソフトウェアの不法な複製が行われた場合、または本契約に違反された場合、TOA は本契約を解除することができます。その場合、お客様は、本ソフトウェアを一切使用できないものとします。
10. 本ソフトウェアに使用許諾契約書が添付されている場合であって、当該使用許諾契約書と本契約の条項に相違がある場合には、当該使用許諾契約書に記載の条項を優先するものとします。
11. 本契約は日本国の法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、神戸地方裁判所が第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

TOA 株式会社

[GR 遠隔ダウンローダーの使用許諾契約]

本使用許諾契約（以下「本契約」）は、TOA 株式会社（以下「TOA」）製ソフトウェア「GR 遠隔ダウンローダー」（以下「本ソフトウェア」）に関して、お客様（個人または団体）と TOA との間で締結される法的な契約です。本ソフトウェアをダウンロード、インストールまたは使用することによって、お客様は本契約の条項に同意されたものとします。本契約の条項に同意されない場合、TOA はお客様に本ソフトウェアの使用を許諾することはできません。

1. 本契約によって TOA は、非独占的かつ譲渡不能な権利として、お客様にダウンローダーを使用する目的でライセンスを許諾するものとします。お客様は、お客様自身が管理・使用されている 1 台のコンピュータで本ソフトウェアを使用することができます。
2. 本ソフトウェアに関するすべての権利および著作権は、TOA が所有しており、本ソフトウェアは著作権法および国際条約の規定によって保護されています。また、本ソフトウェアに関するすべての著作権およびその他の知的所有権は、お客様に一切移転されないものとします。
3. お客様は、本ソフトウェアを複製することはできません。お客様は、本ソフトウェアを譲渡、貸出、移転、その他の方法で第三者に使用させることはできません。また、お客様自身での本ソフトウェアの使用を目的としたデバッグ用途以外に、本ソフトウェアの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。
4. お客様は、本ソフトウェアを第 1 条に定める目的以外に使用することはできません。
5. お客様は、本ソフトウェアを国外に持ち出して使用する場合、適用される各国の輸出管理法令等に従うものとします。
6. 本ソフトウェアは、「商用コンピューターソフトウェア」および「商用コンピューターソフトウェア書類」と見なされ、アメリカ合衆国政府による規制 DFAR Section 227.7202 および FAR Section 12.212(b) にそれぞれ従っています。
7. TOA は、本ソフトウェアをダウンロード、インストールまたは使用したことにより発生した、データ損失、逸失利益、保証金その他いかなる損害についても、お客様に対し責任を負いません。また、TOA は、明示もしくは黙示を問わず、本ソフトウェアに関する一切の保証（商用性および特定の目的に対する適合性などの黙示の保証を含む）をしないものとします。
8. お客様による本ソフトウェアの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルが行われた場合、それに起因するかどうかに関わらず、発生した一切の故障または不具合に関して、お客様に対し責任を負いません。
9. お客様が、本ソフトウェアの不法な複製が行われた場合、または本契約に違反された場合、TOA は本契約を解除することができます。その場合、お客様は、本ソフトウェアを一切使用できないものとします。
10. 本ソフトウェアに使用許諾契約書が添付されている場合であって、当該使用許諾契約書と本契約の条項に相違がある場合には、当該使用許諾契約書に記載の条項を優先するものとします。
11. 本契約は日本国の法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、神戸地方裁判所が第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

TOA 株式会社

使用上のご注意

- 個人情報について

タウンレコーダー遠隔見守りサービス（以下、本サービス）を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

- ネットワーク使用時のセキュリティ対策について

- ・お客様ご自身の責任の下、ネットワークのセキュリティ対策を十分に行ってください。

不正アクセスなどのネットワークのセキュリティ上の問題により発生した被害・損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- ・パスワードの管理には十分ご注意ください。

概要

タウンレコーダー遠隔見守りサービスは、パソコンやスマートフォンを使い、インターネット経由でタウンレコーダーの動作状態の確認、ライブ映像の確認、機器異常のメール受信、録画データのダウンロードなどができるサービスです。

本サービスを使用するにはご契約が必要です。サービス内容は契約プランにより異なります。

契約プランについて

契約プランにより、ご利用できる機能が異なります。

- **メール通知プラン、メール通知プラン LTE**
タウンレコーダーの動作状態の確認ができます。
- **ダウンロードプランワイド**
タウンレコーダーの動作状態の確認に加え、録画データのダウンロード*1、*2ができます。
- **拡声ライブプラン Light**
タウンレコーダーの動作状態やライブ映像の確認、遠隔放送*2、外部機器の制御ができます。
ただし、ライブ映像は一定時間を経過すると、自動的に切断されます。
- **拡声ライブプラン**
拡声ライブプラン Light の機能に加え、常時ライブ映像の確認*3ができます。
- **拡声ライブプラン DL Light**
拡声ライブプラン Light の機能に加え、録画データのダウンロード*1、*2ができます。
- **拡声ライブプラン DL、拡声ライブプラン DL ワイド**
拡声ライブプランの機能に加え、録画データのダウンロード*1、*2ができます。

契約プラン	メール通知 プラン/ メール通知 プラン LTE	ダウンロード プランワイド	拡声ライブ プラン Light	拡声ライブ プラン	拡声ライブ プラン DL Light	拡声ライブ プラン DL/ 拡声ライブプラン DL ワイド
動作状態の確認	○	○	○	○	○	○
メール通知	○	○	○	○	○	○
ライブ映像の確認	×	×	○ (一定時間で切断)	○*3	○ (一定時間で切断)	○*3
音声ファイルの再生	×	×	○	○	○	○
遠隔放送*2	×	×	○	○	○	○
外部機器制御	×	×	○	○	○	○
録画データの ダウンロード*1、*2	×	○	×	×	○	○

*1 ダウンロードできる録画容量には制限があります。

*2 別途「コネクトユーザー ID」の申し込みが必要です。

*3 制御モードの場合は、自動的に切断されます。

契約プランと通信容量について

- 契約プランにより、月間に使用できる通信容量が異なります。
- 月間の利用量が容量を超えると、通信速度、ライブ映像の設定、および録画データのダウンロードに制限がかかります。
契約プランごとの通信容量・通信速度については下表を確認してください。
ライブ映像の設定の制限については [P. 73「ライブ映像配信の設定をする」](#) を参照してください。
- 通信速度、ライブ映像の設定、および録画データのダウンロードの制限は、毎月 1 日に解除されます。

契約プラン	メール通知 プラン/ メール通知 プラン LTE	拡声ライブ プラン Light	拡声ライブ プラン	拡声ライブ プラン DL Light	拡声ライブ プラン DL	ダウンロード プランワイド/ 拡声ライブ プラン DL ワイド
通信容量	—	4 GB	50 GB	10 GB	50 GB	(*4)
通信速度	—	200 kbps	200 kbps	50 Mbps	50 Mbps	50 Mbps
制限時の通信速度	—	200 kbps	200 kbps	200 kbps	200 kbps	(*5)

*4 ご契約のタウンレコーダー数やパケット追加状況によって異なります。

*5 通信速度の制限はありませんが、通信容量を超えた場合は、ライブ映像の設定、録画データのダウンロードに制限がかかります。

ご注意

本サービスの契約プランはベストエフォート型のため、通信速度を保証するものではありません。

操作できる機能

- ユーザー管理者*¹と一般ユーザー*²、パソコンとスマートフォンで操作できる機能が異なります。
- 機能と権限設定については下表を確認してください。

- ：操作、設定が可能
- △：ユーザー管理者から権限付与された場合のみ操作、設定が可能
- ×：操作、設定不可

機能	パソコン		スマートフォン	
	ユーザー管理者	一般ユーザー	ユーザー管理者	一般ユーザー
ライブ映像の確認	○	△	○	△
カメラ操作* ³	○	△	○	△
外部機器制御* ⁴	○	△	○	△
音声ファイルの再生	○	△	○	△
遠隔放送	○	△	×	×
メンテナンス操作* ⁵	○	△	○	△
ユーザー管理* ⁶	○	○* ⁹	×	×
レコーダー管理* ⁷	○	×	×	×
SIM データ管理 グループ管理* ⁸	○	×	×	×
ログイン履歴の確認	○	○	×	×
遠隔ダウンロード	○	△	×	×

*¹ ユーザー管理者は、サービス契約時に登録したログイン ID（メールアドレス）でログインできるユーザーです。一般ユーザーの登録や削除ができます。

*² 一般ユーザーは、ユーザー管理者が登録したログイン ID（メールアドレス）でログインできるユーザーです。

*³ カメラ操作は、PTZ カメラの操作ができます。

*⁴ 外部機器制御は、接点出力、RS485 出力ができます。

*⁵ メンテナンス操作は、機器のファームアップ、再起動、LTE リフレッシュ設定ができます。

*⁶ ユーザー管理は、一般ユーザーの登録／削除、ログインパスワード等の変更ができます。

*⁷ レコーダー管理は、機器名称や接点入出力の名称設定、RS485 入出力に関する設定、音声ファイル設定、遠隔放送設定、ライブ映像配信に関する設定ができます。

*⁸ SIM データ管理グループ管理は、ご契約プランが「ダウンロードプランワイド」または「拡声ライブプラン DL ワイド」の場合に利用できます。

*⁹ 自身のログインパスワードの変更ができます。

利用できる機器

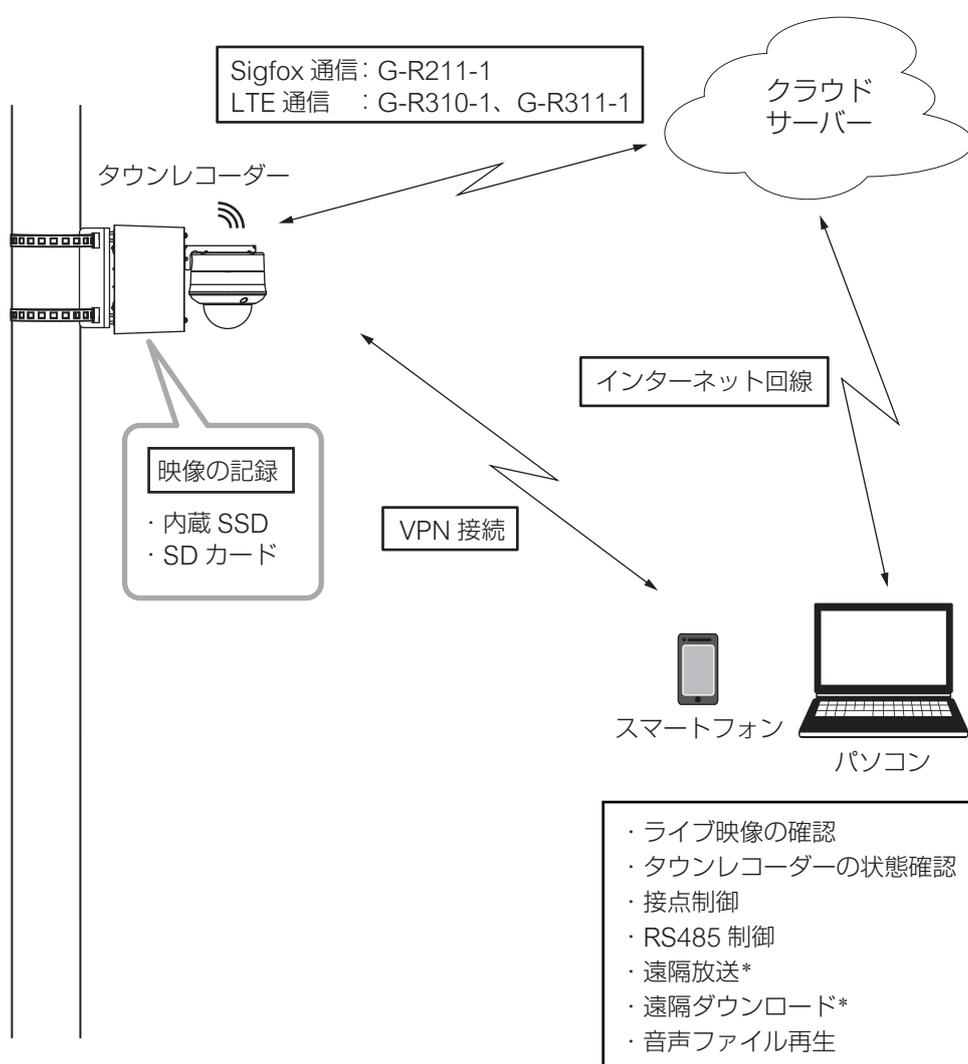
本サービスを利用できる機器は以下のとおりです。

- G-R211-1 「タウンレコーダー LPWA」
- G-R310-1 「タウンレコーダー LTE ボックス」
- G-R311-1 「タウンレコーダー LTE」

G-R310-1 はボックス部だけの構成となり、用途に合わせて接続するカメラを選択できます。(別途弊社製カメラのご購入が必要です)

対応カメラ品番：N-C5420-3、N-C5450R3、N-C5700、N-C5700A

システム例



* スマートフォンでは利用できません。

ログインまでの流れ

パソコンがインターネットに接続できるようにネットワーク設定をあらかじめしておいてください。
また、必要に応じてソフトウェアをインストールしてください。

1 パソコン要件を確認する。 ( P. 11)

2 Web ブラウザーを開く。 ( P. 12)

遠隔放送機能を使用する場合は、Microsoft Edge の Internet Explorer モードに切り換えるための設定を行ってください。( P. 13)

3 遠隔見守りサービスにログインする。 ( P. 14)

遠隔放送機能や遠隔ダウンロード機能を使用する場合

4 ソフトウェアをインストールする。 ( P. 15)

- ・ VPN ソフトウェアのインストール
- ・ TRIFORA VIEW のインストール
- ・ GR 遠隔ダウンローダーのインストール

パソコン要件

ハードウェア*1	CPU : 第4世代 Intel Core i シリーズ以降 4 コア以上 メモリー : 4 GB 以上 HDD 空き容量 : 6 GB 以上 LAN : 100BASE-T 以上 グラフィックス : VRAM 256 MB 以上 ディスプレイ : 解像度 1366 × 768 以上、High color (65536 色以上)
O S	Windows 8.1 Pro (32/64 bit) Windows 8.1 (32/64 bit) Windows 10 Pro (32/64 bit) Windows 10 Home (32/64 bit) Windows 11 Pro (64 bit) Windows 11 Home (64 bit)
Web ブラウザー	Microsoft Edge*2

*1 遠隔放送 (P. 54) をする場合、パソコンに音声信号を入力する端子が必要です。

- ・ マイク入力端子 (電気的マイク使用時)
- ・ ライン入力端子 (音楽プレーヤー使用時)

ただし、マイクを内蔵しているパソコンの場合は、上記の端子は不要です。

*2 遠隔放送機能を使用する場合は、Microsoft Edge の Internet Explorer モードで動作させる必要があります。

※ パソコン要件はすべての PC での動作を保証するものではありません。

※ 本サービスの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ Windows および Microsoft Edge は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※ Intel Core は米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

※ その他の会社名および製品名も各社の商標です。

対応スマートフォン一覧

使用できるスマートフォンについては、「対応スマートフォン一覧」*をご覧ください。

* TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download/>) で「G-R211-1」、「G-R310-1」または「G-R311-1」を検索し、検索先からご確認ください。

Web ブラウザーを開く

本サービスにログインしたり、パソコンに必要なソフトウェアをインストールするために、パソコンで Microsoft Edge を起動します。

1 検索ボックスに「edge」と入力する。

2 検索結果に表示される「Microsoft Edge」をクリックする。

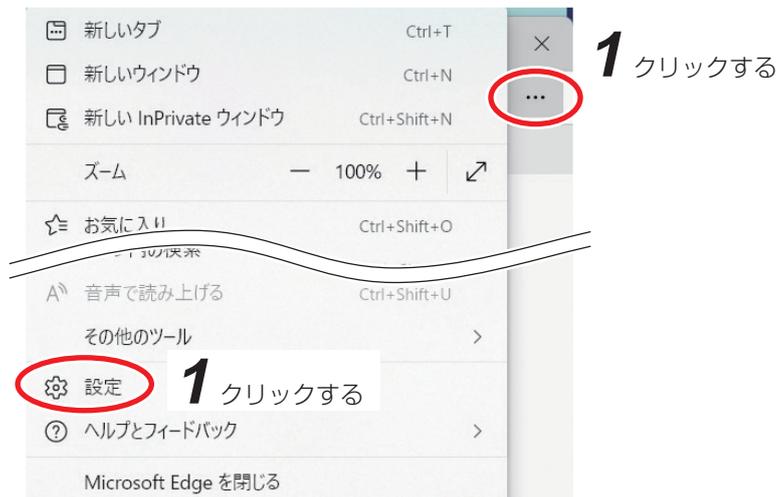


Microsoft Edge が起動します。

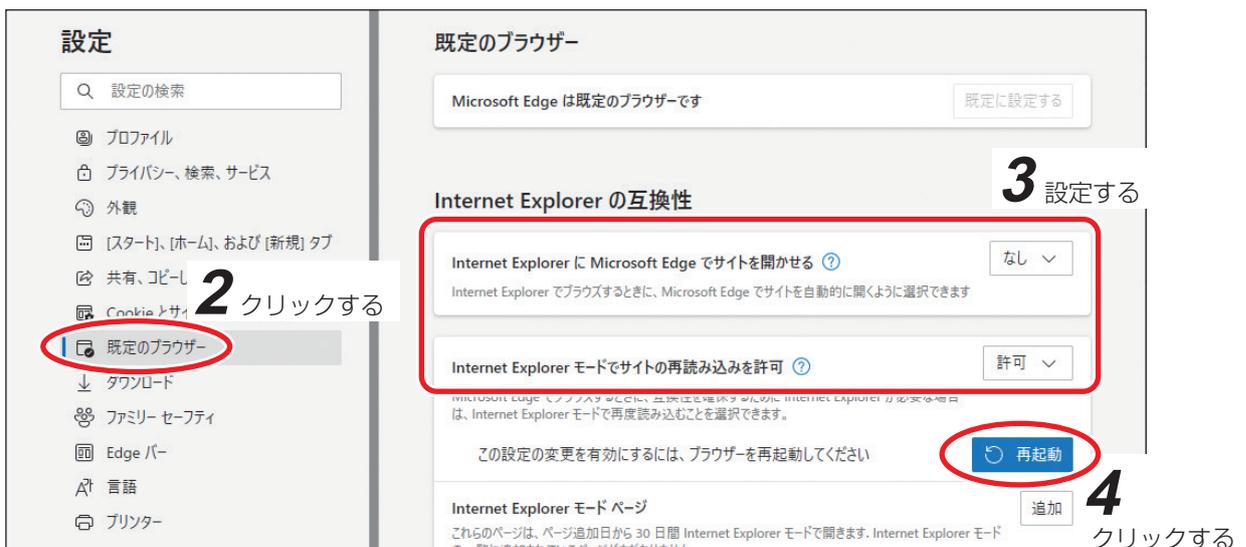
Internet Explorer モードを使用可能にする

遠隔放送機能を使用する場合は、Microsoft Edge の Internet Explorer モードで動作させる必要があります。Microsoft Edge の Internet Explorer モードに切り換えるためには、以下の設定が必要です。

1 Edge の右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、メニューの「設定」をクリックする。



設定画面が表示されます。



2 設定メニューの「既定のブラウザ」をクリックする。

3 「Internet Explorer の互換性」を設定する。

次のとおりに設定します。

Internet Explorer に Microsoft Edge でサイトを開かせる：なし

Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可：許可

4 再起動ボタンをクリックする。

Edge が再起動します。

Edge の右上のメニューアイコンをクリックすると、メニューに「Internet Explorer モードで再読み込みする」が表示されることを確認してください。

遠隔見守りサービスにログインする

本サービスはタウンレコーダーから離れた場所においても、タウンレコーダーのライブ映像や機器の動作状態の確認などができます。

メモ

本サービスを使用するにはご契約が必要です。

1 URL (https://tr2.t-cloudsystem.net/) を入力し、Enter キーを押す。

ログイン画面が表示されます。

2 ログイン ID とパスワードを入力する。

2 入力する



ログインID toa@toa.co.jp

パスワード

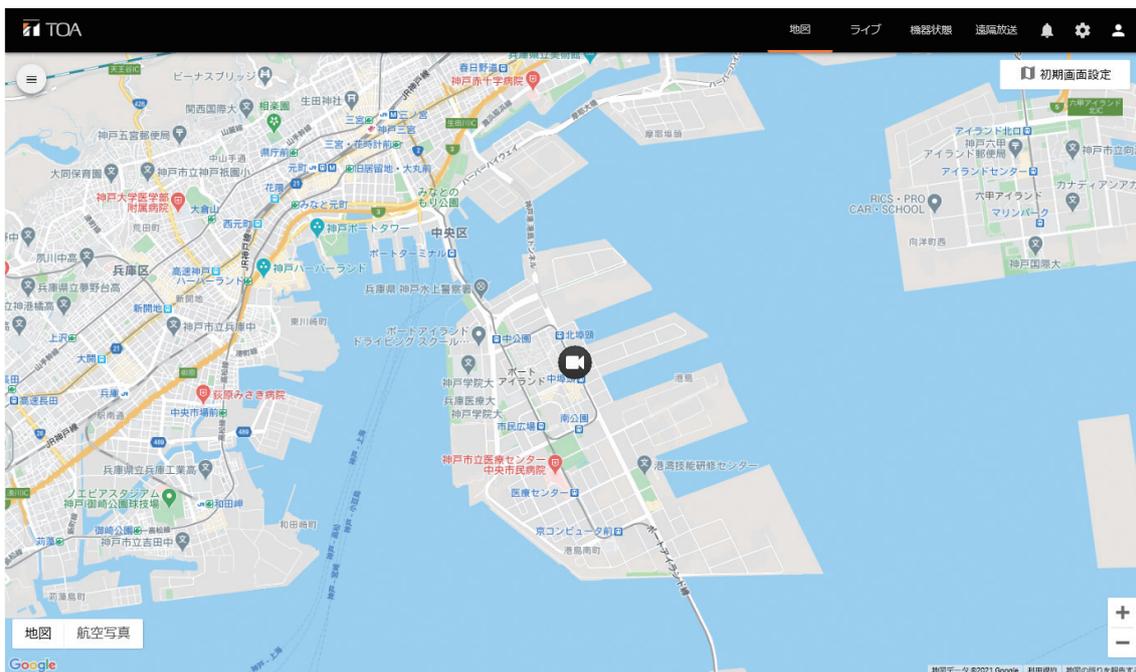
ログイン

項目	ユーザー管理者	一般ユーザー
ログイン ID	契約時に登録したメールアドレス	ユーザー管理者が登録したメールアドレス
パスワード	契約時に設定したパスワード*	ユーザー管理者が設定したパスワード*

* 本サービス画面から変更することができます。パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

3 「ログイン」 をクリックする。

地図画面が表示されます。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

ご注意

- 一般ユーザーのパスワードを忘れた場合は、ユーザー管理者がパスワードの再設定を行ってください。
- ユーザー管理者のパスワードを忘れた場合は、弊社営業所にお問い合わせください。
- 本サービスのメンテナンス・更新等で、自動で本サービスからのログアウトが発生することがあります。その際は、上記手順に従い再度ログイン操作を行ってください。
- 連続でログインに失敗した場合は、一定時間ログインできなくなります。しばらく待ってから再度ログインしてください。
- ライブ映像確認権限を持つユーザーが同時にログインできる数は「5」です。同時ログイン数追加オプションを契約すると、同時にログインできる数を追加できます。ユーザーの権限設定については、P. 62「ユーザー管理」を参照してください。

ソフトウェアをインストールする

G-R310-1 または G-R311-1 の遠隔放送機能や遠隔ダウンロード機能を使用する場合は、下表を確認のうえ、必要なソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

○：インストール必要、×：インストール不要

機能	ソフトウェア		
	VPN ソフトウェア*1、*3	TRIFORA VIEW*2	GR 遠隔ダウンローダー*3
遠隔放送	○	○	×
遠隔ダウンロード	○	×	○

*1 コネクトユーザー ID をお申し込みのお客様に別途ご連絡いたします。

*2 本サービスからダウンロードできます。

*3 TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download/>) で「G-R310-1」または「G-R311-1」を検索し、検索先から必要なソフトウェアをダウンロードしてください。

■ VPN ソフトウェアをインストールする

※ Tailscale は、Tailscale Inc. (<https://tailscale.com/>) の登録商標です。

1 ダウンロードしたインストーラー「tailscale-setup-x.x.x.exe」をダブルクリックする。

メモ

下線部 x.x.x は、バージョン番号を表します。



2 「license terms」の内容を確認して「I agree to the license terms and conditions」にチェックを入れる。



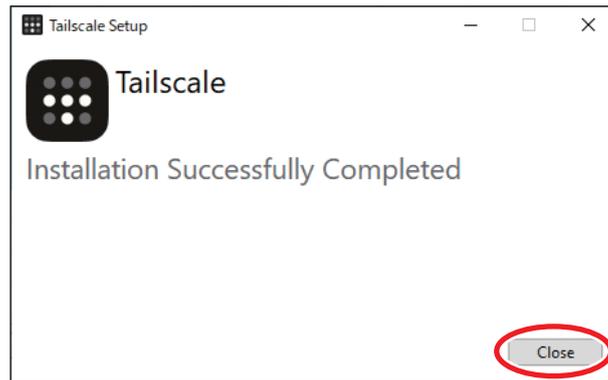
3 クリックする

3 「Install」をクリックする。

メモ

「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示されたら「はい」をクリックしてください。

4 インストールが完了したことを確認し、「Close」をクリックする。

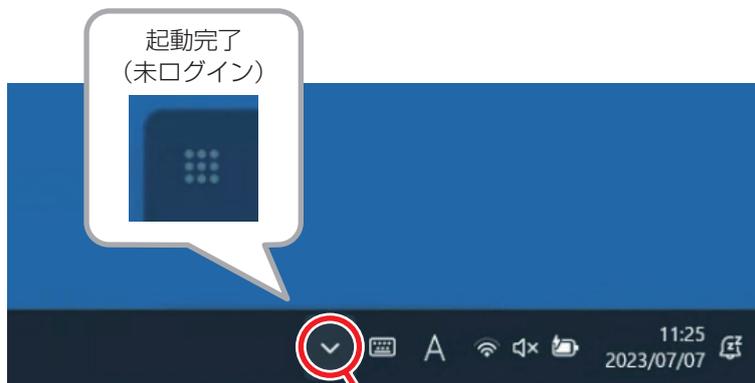


4 クリックする

● VPN ソフトウェアにログインする

VPN ソフトウェアのインストール後はログインしてください。

1 画面右下の通知領域の  をクリックして、VPN ソフトウェアが起動していることを確認する。



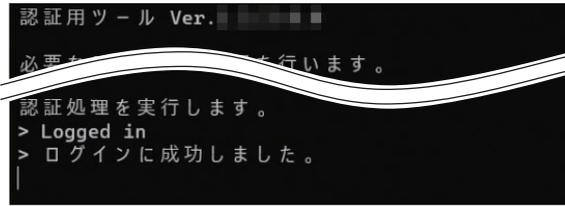
1 クリックする

アイコンが表示されていない場合は、タスクバーの検索ボックスに「tailscale」と入力し、Tailscale アプリ（VPN ソフトウェア）をクリックしてください。起動すると、通知領域にアイコンが表示されます。



2 認証用ツールを実行する。

本サービスご契約時に配布の認証用ツールを解凍し、「auth.exe」をダブルクリックしてください。ログインが完了すると以下のように表示されます。



また、通知領域のアイコンがログイン状態になります。



ご注意

ログアウトはしないでください。ログアウトすると再認証が必要となります。ログアウトした場合は弊社営業所までお問い合わせください。

メモ

VPN ソフトウェアは認証が完了すると、次回以降は自動でログインします。

■ TRIFORA VIEW をインストールする

ライブ画面または遠隔放送画面上で任意のタウンレコーダーを選択するとインストールが要求されます。インストールする場合は、Microsoft Edge の Internet Explorer モードに切り換える必要があります。あらかじめ Microsoft Edge の Internet Explorer モードを使用できるように設定を変更してください。(P. 13「Internet Explorer モードを使用可能にする」)

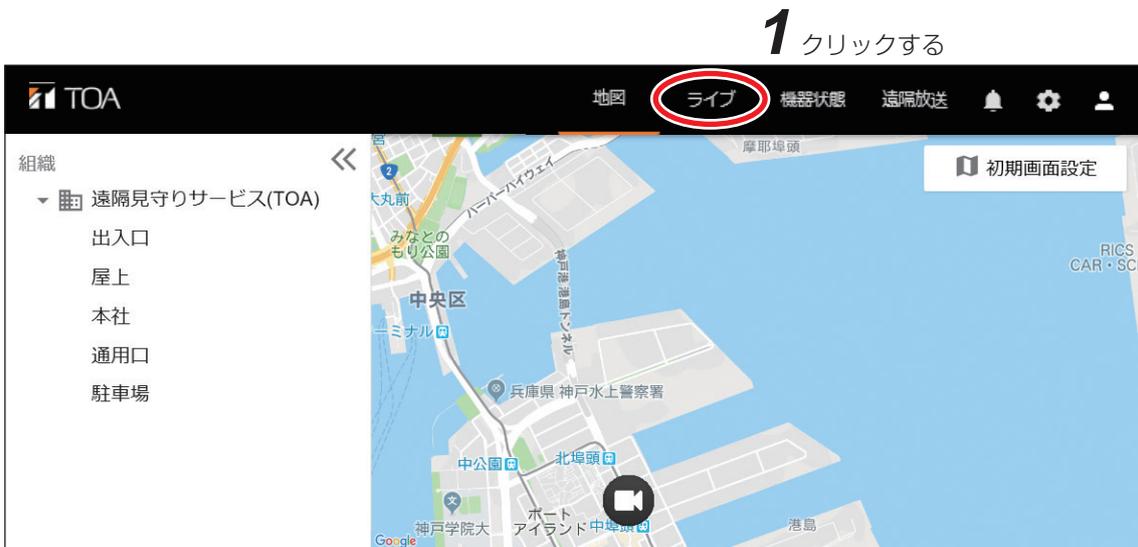
一度インストールを行うと、次回からはインストール作業は要求されません。

以下はライブ画面でのインストール手順を説明します。

×モ

遠隔放送画面でも同様の手順でインストールできます。

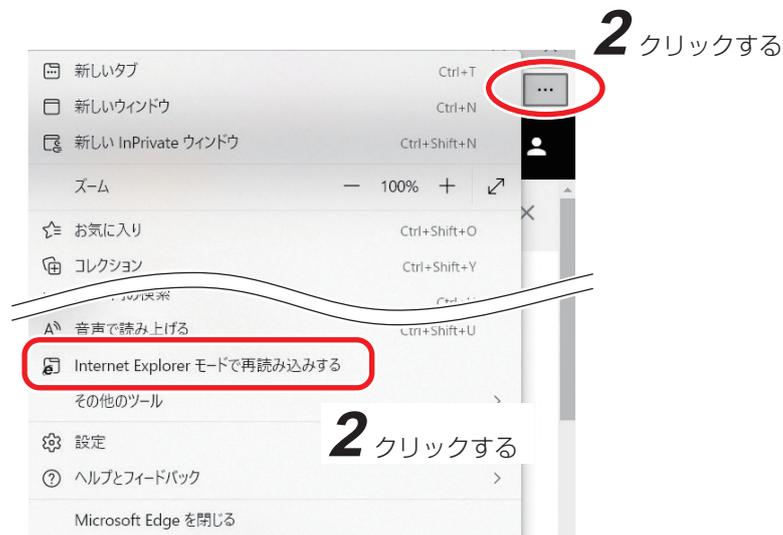
1 「ライブ」をクリックする。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

ライブ画面が表示されます。

2 Edge の右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、メニューの「Internet Explorer モードで再読み込みする」をクリックする。



3 機器一覧から任意の機器を選択する。



4 画面にメッセージが表示されるので「インストール」をクリックする。

自動で画面が再読み込みされます。

5 機器一覧から再度機器を選択する。

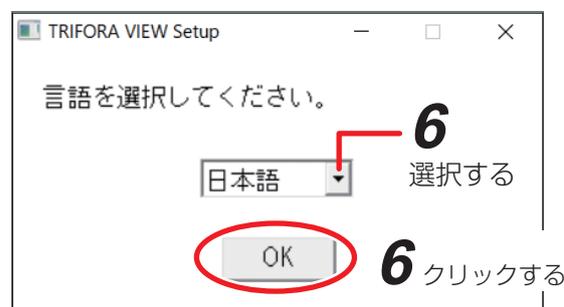
パソコン内のセキュリティソフトが起動し、「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」というポップアップが表示されるので「はい」をクリックします。
インストール開始画面が表示されます。

6 インストールに使用する言語「日本語」または「English」を選択し、「OK」をクリックする。

インストール開始画面が表示されます。

[X] [モ]

画面が最前面に表示されないときがあります。



7 使用許諾契約の条項を読み、「使用許諾契約書に同意します」にチェックを入れて「インストール」をクリックする。

7
チェックを
入れる



インストールが完了すると、右の画面が表示されます。

メモ

「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示されたら「はい」をクリックしてください。



8 「閉じる」をクリックする。

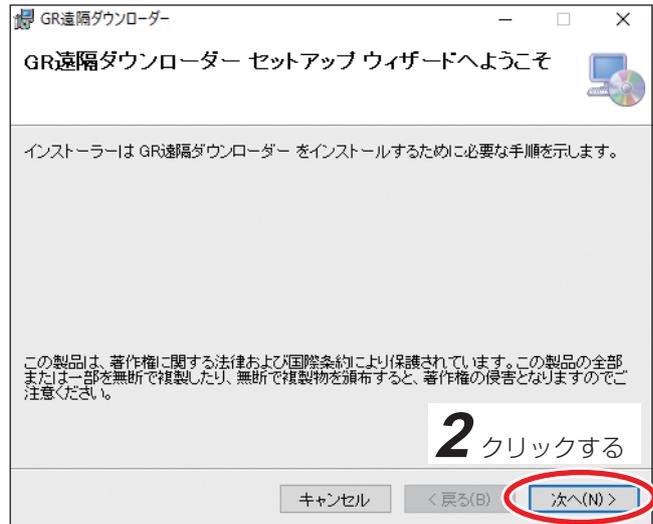
9 Edge の右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、メニューの「Internet Explorer モードを終了する」をクリックする。



■ GR 遠隔ダウンローダーをインストールする

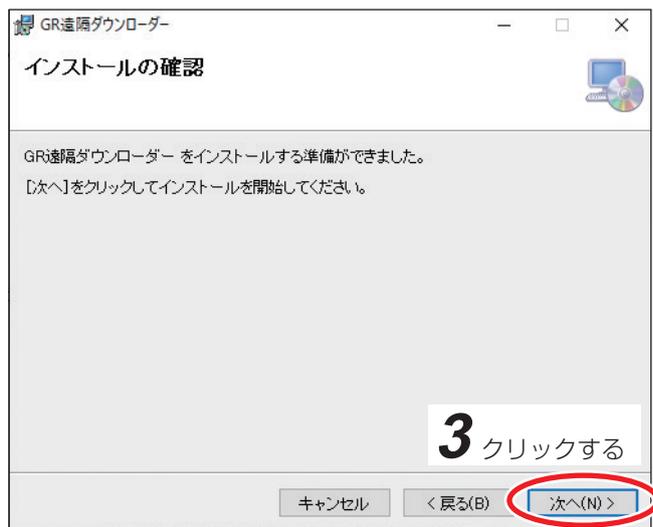
1 ダウンロードした zip ファイルを解凍し、インストーラー「setup.exe」をダブルクリックする。

インストールウィザード画面が開きます。



2 「次へ」をクリックする。

インストールの確認画面に移動します。

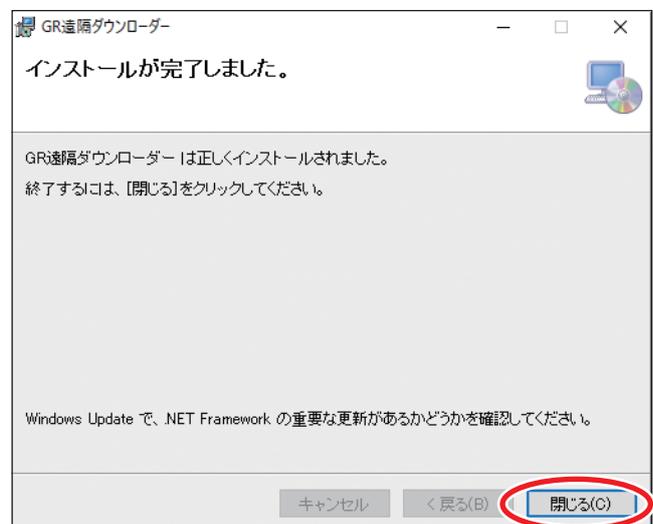


3 「次へ」をクリックする。

インストール処理が始まります。

[X] [モ]

「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示されたら「はい」をクリックしてください。



4 インストール完了画面が表示されたら「閉じる」をクリックする。

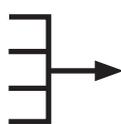
4 クリックする

使いかたガイド

使いたい項目から該当ページを参照してください。

[地図の設定と操作]

- 各部の名称を確認したいとき
- 地図を移動したいとき
- 地図を拡大縮小したいとき
- ログイン時の画面に戻りたいとき
- 機器の位置を補正したいとき
- ログイン時の画面を設定したいとき



地図画面([P. 26](#))



機器の位置補正([P. 44](#))



初期画面設定([P. 27](#))

[動作状態の確認]

- 個別の機器の状態を確認したいとき
- 機器の状態を一覧で確認したいとき
- 個別の機器のログ履歴を確認したいとき
- 複数の機器のログ履歴を確認したいとき



状態表示([P. 40](#))

(最終通信日時、SSD 録画状態、SD カード録画状態、SSD 状態、SD カード状態、Wi-Fi モジュール、機器内温度状態、LTE 電波強度、カメラ状態、ボックス開閉状態、接点入出力)



機器状態一覧([P. 51](#))

(レコーダー名称、通信状態、最終通信日時、公開設定状態、SSD 録画状態、SD カード録画状態、SIM データ利用量、SIM データ容量)



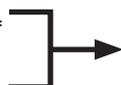
ログ([P. 41](#))



一括処理([P. 53](#))

[メール受信]

- 機器の異常発生など、各種イベントの発生時にメールを受信したいとき*
- 確認メールを送信したいとき



ユーザー管理([P. 62](#))

[機器の情報]

- 登録された機器を確認したいとき
- 機器の情報を確認したいとき



レコーダー管理([P. 69](#))



メンテナンス([P. 42](#))

(機器情報、sim カード、契約プラン、sigfox モジュール、ファームウェアバージョン)

[ログアウトとログイン履歴]

- サービスからログアウトしたいとき
- サービスのログイン履歴を確認したいとき



ログアウト([P. 86](#))



操作履歴([P. 86](#))

[パスワードの変更]

- パスワードを変更したいとき



パスワード変更([P. 68](#))

* ユーザー管理者のみ設定できます。

[ユーザーの管理]

- ユーザーの新規登録、削除、権限変更、メール受信設定の変更をしたいとき*

→ ユーザー管理 ( P. 62)

[SIM データ管理グループ管理]

- 通信利用量や利用履歴を確認したいとき

→ SIM データ管理グループ管理 ( P. 80)

[お知らせ]

- システムメンテナンスなどのお知らせを確認したいとき

→ お知らせ一覧 ( P. 60)

* ユーザー管理者のみ設定できます。

設定と確認項目一覧

【項目】	【内容】
TOA ロゴ (🔗 P. 25)	ログイン時の画面に戻ります。
地図画面 (🔗 P. 26)	
拡大縮小 (🔗 P. 26)	地図の縮尺が変更できます。
初期画面設定 (🔗 P. 27)	ログイン時の画面の設定ができます。
機器一覧 (🔗 P. 28)	
機器アイコン (🔗 P. 26)	機器名称と機器の詳細が表示されます。
機器詳細 (🔗 P. 29)	
外部機器制御メニュー* (🔗 P. 32)	接点出力や RS485 通信で外部機器を制御することができます。
カメラ制御メニュー* (🔗 P. 35)	カメラを PTZ 操作することができます。
音声ファイル再生メニュー* (🔗 P. 37)	機器に保存された音声ファイルを再生することができます。
機器状態メニュー (🔗 P. 40)	録画、Wi-Fi モジュールなどの状態を表示します。
ログメニュー (🔗 P. 41)	機器のログをダウンロードできます。
メンテナンスメニュー (🔗 P. 42)	機器情報や契約プランを表示します。 機器のソフトウェアのバージョン確認ができます。
ライブ画面* (🔗 P. 48)	機器のライブ映像を確認できます。
機器状態一覧 (🔗 P. 51)	機器の動作状態を一覧表示できます。 複数の機器の動作状態やログを一括でダウンロードできます。
遠隔放送* (🔗 P. 54)	遠隔放送を行うことができます。
お知らせ一覧 (🔗 P. 60)	メンテナンス日時やツールのダウンロードなど、各種のお知らせを確認できます。
管理設定 (🔗 P. 61)	
ユーザー管理 (🔗 P. 62)	ユーザーの登録、削除、設定の変更などができます。
レコーダー管理 (🔗 P. 69)	機器に関する設定ができます。
放送グループ管理* (🔗 P. 78)	放送グループの確認や登録を行うことができます。
SIM データ管理グループ管理* (🔗 P. 80)	通信利用量や利用履歴を確認できます。
個人設定 (🔗 P. 82)	
パターン登録* (🔗 P. 83)	ライブ映像を多画面表示する際の表示パターンの設定や確認を行うことができます。
操作履歴 (🔗 P. 86)	ログイン履歴(日時、内容、ユーザー情報)が確認できます。
ログアウト (🔗 P. 86)	ログアウトができます。

* ご契約プランによっては利用できません。

遠隔見守りサービスの設定と操作

■ 各画面の名称と操作方法

タウンレコーダー遠隔見守りサービスにログインすると、地図画面が表示されます。ここでは、機能を切り換えるための各種タブやボタンについて説明します。



※ GoogleおよびGoogleのロゴはGoogle LLCの登録商標であり、許可を得て使用しています。

項目	説明
TOA ロゴ	地図を初期画面設定で設定した状態にするときに使用します。 (☞ P. 27 「初期画面を設定する」)
地図	地図画面を表示するときに使用します。(☞ P. 26 「地図画面」)
ライブ*	機器の映像を大きな画面で見たいときや、複数台の機器の映像を同時に見たいときに使用します。(☞ P. 48 「ライブ画面」)
機器状態	登録されている機器の稼働状態を一覧表示するときに使用します。(☞ P. 51 「機器状態一覧」)
遠隔放送*	複数の機器に対して一齐放送するときに使用します。 (☞ P. 54 「遠隔放送」)
お知らせ	各種お知らせを確認するときに使用します。(☞ P. 60 「お知らせ一覧」)
管理設定	ユーザーの登録・削除や設定変更、機器の設定変更、一齐放送のグループの登録・削除を行うときに使用します。(☞ P. 61 「管理設定」)
個人設定	ログインしたユーザーに関する多画面表示のパターン登録や操作履歴の確認を行うときに使用します。また、遠隔見守りサービスからログアウトするときに使用します。(☞ P. 82 「個人設定」)
機器一覧	登録されている組織や機器の名称を一覧表示するときに使用します。(☞ P. 28 「機器一覧」)
詳細画面	機器のライブ映像の確認、カメラや外部機器の制御、音声ファイルの再生を行うときに使用します。 * また、機器の状態やログを確認するときに使用します。 操作したい機器を選択すると画面右側に表示されます。(☞ P. 29 「機器詳細」)

* ご契約プランが「メール通知プラン」、「メール通知プランLTE」、または「ダウンロードプランワイド」の場合は利用できません。

■ 地図画面

地図モードと航空写真モードがあります。地図モードでは地形の情報の表示／非表示を、航空写真モードでは建物や施設のラベル情報の表示／非表示を切り換えることができます。

● 地図画面の見かた

手順：「地図」をクリックする。（☞ P. 25「各画面の名称と操作方法」）

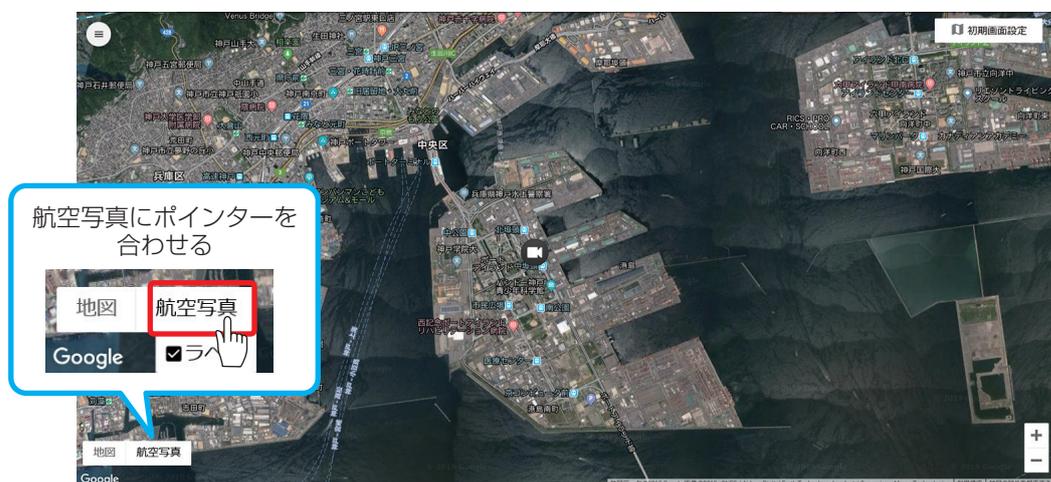
地図画面が表示されます。

[地図モード]



項目	説明
拡大縮小	拡大縮小をクリックすると、地図の縮尺が変更されます。 +：拡大、-：縮小 マウスのホイールで拡大縮小することもできます。
位置移動	地図上の任意の位置をドラッグすると、ドラッグした方向に地図が動きます。
地図表示切換	地図の表示を地図モード、航空写真モードに切り換えるときに使用します。 地図モードで「地図」にポインターを合わせると地形の情報の表示／非表示を切り換えるチェックボックスが表れます。航空写真モードで「航空写真」にポインターを合わせると建物や施設のラベル情報の表示／非表示を切り換えるチェックボックス表れます。

[航空写真モード]

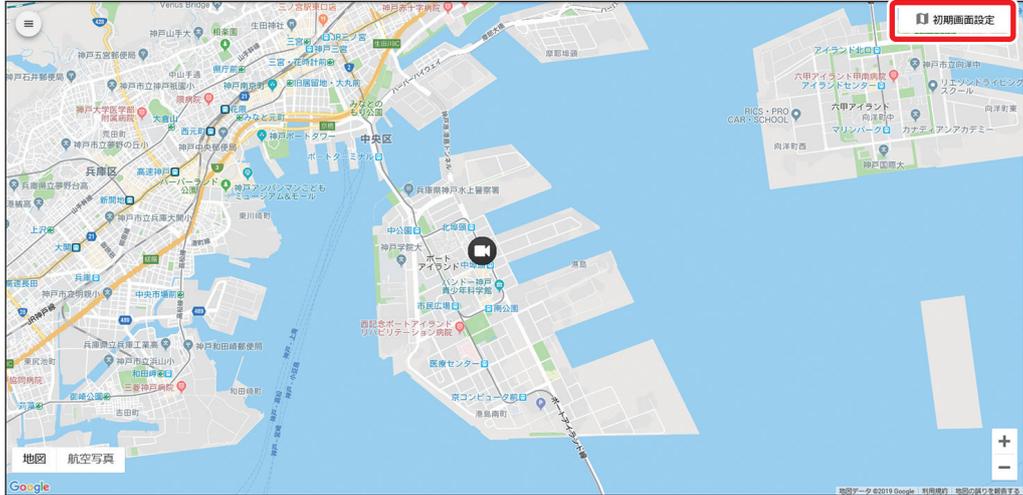


● 初期画面を設定する

ログイン時の画面を設定します。

1 地図を操作して初期画面として設定したい画面を表示させる。

2 クリックする



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

2 地図画面の「初期画面設定」ボタンをクリックする。



3 クリックする

3 「デフォルトにする」をクリックする。

表示中の画面が初期画面に設定されます。

✕ モ

初期画面の設定は、次に画面表示を切り換えたときから反映されます。

■ 機器一覧

登録された機器の名称を一覧で表示することができます。

× モ

一般ユーザーでログインした場合は、閲覧権限がある組織に所属している機器のみ表示されます。権限の設定については P.62「ユーザー管理」を参照してください。

● 機器一覧の見かた

- 1 地図画面で「機器一覧 (☰)」をクリックする。
- 2 確認したい機器が入っている「組織 (🏢)」または「組織名」をクリックする。
 選択した組織にある機器名称が表示されます。
 機器一覧を閉じるときは、◀◀ をクリックします。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

項目	説明
機器一覧	登録されている組織と機器を一覧で表示します。 (☰)：機器は正常な状態です。 (☠)：異常が発生している機器があります。
組織 (組織名)	組織 (🏢) または組織名をクリックすると、その組織に所属している機器名称が表示されます。 (🏢)：機器は正常な状態です。 (⚠)：異常が発生している機器があります。
機器名称	登録されている個別の機器名称を表示します。 機器名称をクリックすると、クリックした機器を中心とした位置に地図が移動し、その機器の機器アイコンが (🏠) から (🚨) に変わり、機器の詳細画面が画面右側に表示されます。マウスオーバーまたはタップすると、機器異常の内容を簡易表示します。
機器の状態	機器名称の右側に機器の状態がアイコンで表示されます。 アイコンが非表示の場合、機器は正常な状態です。 (⚠)：ステータス異常 (機器異常、通信異常) の状態です。

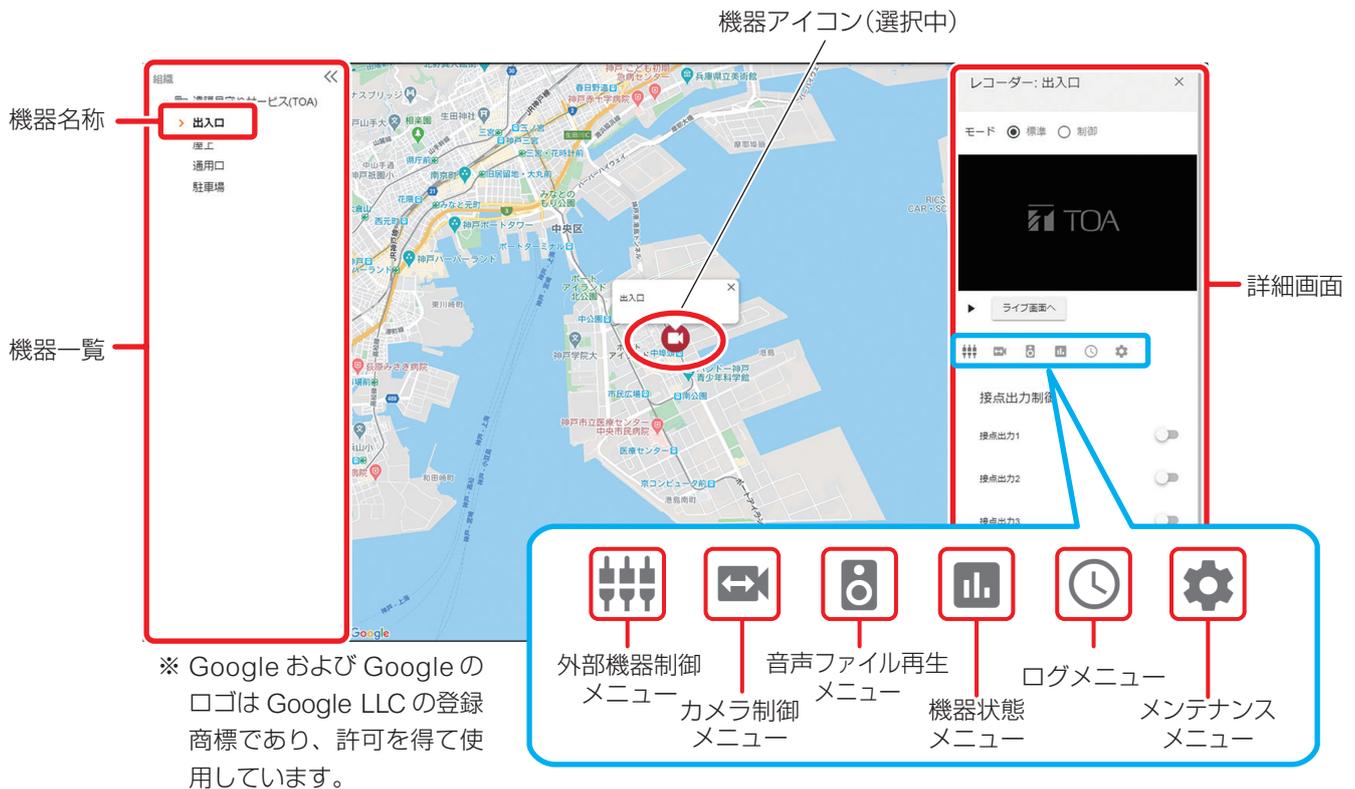
■ 機器詳細

機器の詳細情報の確認や、ライブ映像の確認、外部機器の制御などが行えます。
また、機器アイコンの位置を補正することもできます。

● 詳細画面の見かた

手順：地図上の「機器アイコン」、または、機器一覧から「機器名称」をクリックする。

選択した機器を中心とした位置に地図が移動し、画面右側に機器の詳細画面が表示されます。



メニュー	説明
外部機器制御*	タウンレコーダーの接点出力端子、または RS485 端子に接続されている外部機器を制御できます。
カメラ制御*	タウンレコーダーに接続されているカメラを PTZ 操作することができます。 ご注意 タウンレコーダー G-R310-1 に屋外フル HD ネットワーク PTZ カメラ N-C5700、N-C5700A を接続している場合のみ操作できます。
音声ファイル再生*	タウンレコーダーに保存されている音声ファイルを再生することができます。 ご注意 音声ファイルを再生するためには、タウンレコーダーにスピーカーを接続する必要があります。
機器状態	選択した機器の動作状態を表示します。
ログ	選択した機器のログ情報をダウンロードできます。
メンテナンス	選択した機器に関する情報を表示します。 また、機器のファームアップの実行*や、機器アイコンの補正を行うことができます。

* ご契約プランが「メール通知プラン」、「メール通知プラン LTE」、または「ダウンロードプランワイド」の場合は利用できません。

● ライブ映像を確認する

機器のライブ映像を確認することができます。

1 台の機器のライブ映像を大きな画面で確認したり、複数の機器のライブ映像を同時に確認（多画面表示）する場合は P.48「ライブ画面」を参照してください。

1 ライブ映像を確認したい機器の詳細画面を開く。（P.29）

「ライブ画面へ」ボタンをクリックすると、画面サイズを大きくしてライブ映像の確認ができます。

詳細は P.48「ライブ画面」を参照してください。

2 ライブ配信方式を選択する。

メモ

ライブ配信方式については、P.31「ライブ配信方式について」を参照してください。

3 「ライブ映像開始（▶）」ボタンをクリックする。

ライブ映像が表示されます。

メモ

- 標準モードの場合、ライブ映像が表示されるまでに数十秒かかる場合があります。
- 配信時間については、P.31「ライブ配信方式について」を参照してください。
- ライブ映像の表示中は「ライブ映像開始（▶）」ボタンは「ライブ映像停止（■）」ボタンに切り換わります。

ご注意

- ライブ映像を表示した状態で長時間放置し、その間に通信環境や LTE リフレッシュ等により通信が一定時間途切れると、映像が更新されないことがあります。その場合は、「ライブ映像停止（■）」ボタンをクリックしてから、再度「ライブ映像開始（▶）」ボタンをクリックしてください。
- カメラの画像回転機能には対応していません。画像回転は「オフ」で使用してください。

4 「ライブ映像停止（■）」ボタンをクリックする。

ライブ映像が停止します。



● ライブ配信方式について

ライブ配信方式には「標準モード」と「制御モード」の2つの方式があります。

標準モード：ライブ映像を同時に複数のユーザーで確認する場合に使用します。

制御モード：カメラのPTZ操作や外部機器の制御を行う場合など、映像の遅延が気になる場合に使用します。
1ユーザーのみ確認できます。

ライブ配信方式	ライブ映像設定	配信時間	制限	特徴	
			複数ユーザーからの同時確認	ライブ配信開始までの時間	ライブ映像の遅延
標準モード	ライブ映像配信の設定 (P.73) に従う	ライブ映像配信の設定 (P.73) に従う*1	可能	約30～40秒	約25秒
制御モード*2	解像度 : HVGAW 画質 : 標準 フレームレート: 約1fps*3	5分	不可	数秒程度	数秒程度

*1 標準モードでは、ライブ配信開始から「配信時間」で設定した時間、ライブ映像の配信が継続されます。ライブ映像停止 (■) ボタンをクリックするとライブ映像の表示は停止しますが、機器からのライブ配信は停止されません。

[例] 「配信時間」を10分に設定し、配信開始から5分経過した時点でライブ映像停止 (■) ボタンをクリックした場合、ライブ映像の表示は停止しますが、ライブ映像の配信は配信開始から10分間は継続されます。利用量を節約する場合は、配信時間を適切に設定してください。

*2 一般ユーザーが制御モードを使用する場合、ライブ映像確認権限に加えて「PTZカメラ操作権限」、「接点出力操作権限」、「RS485出力操作権限」、「遠隔放送権限」のうち、いずれかの権限が必要です。権限の設定についてはP.62「ユーザー管理」を参照してください。

*3 フレームレートはベストエフォート方式のため、通信環境により1fps以下となる場合があります。

● ライブ配信方式の優先度と複数ユーザーによるライブ映像の同時確認について

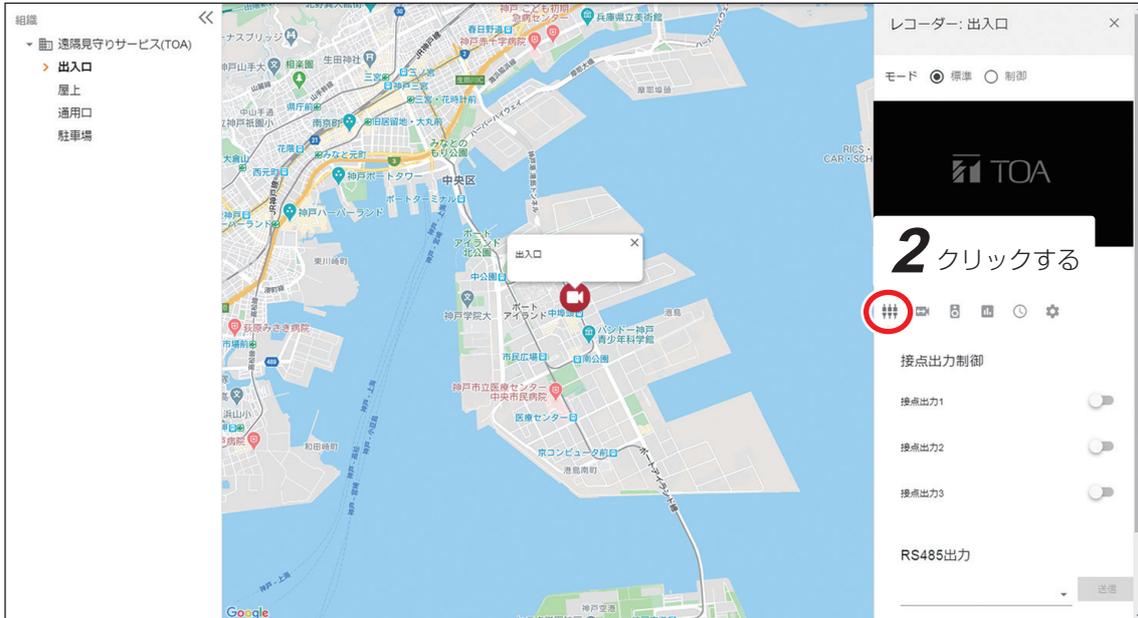
- 一つの機器で、標準モードと制御モードを同時にライブ配信することはできません。
- 制御モードは標準モードより優先度が高くなります。
制御モードでライブ配信中の機器は、標準モードでライブ配信の開始ができません。
また、標準モードでライブ配信中の機器を、制御モードでライブ配信の開始をすると、標準モードのライブ配信が停止します。
- 制御モードのライブ配信開始は、先優先になります。
制御モードでライブ配信中は、別のパソコンまたは別のブラウザーなどでライブ配信を開始できません。
- 配信時間が経過すると、ライブ画面にTOAロゴマークが表示されます。再度映像を確認する場合は「ライブ映像開始 (▶)」ボタンをクリックする必要があります。

● 接点出力で外部機器を制御する

機器の接点出力ケーブルに接続した外部機器を制御することができます。

1 外部機器が接続された機器の詳細画面を開く。(P. 29)

2 詳細画面で「外部機器制御メニュー」をクリックする。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

3 詳細画面をスクロールし、接点出力制御の項目を表示する。

4 制御したい接点出力のトグルボタンをクリックする。

接点出力オフ状態のときにクリックすると接点出力オン状態に制御し、接点出力オン状態のときにクリックすると接点出力オフ状態に制御します。

 : 接点出力オン状態です。

 : 接点出力オフ状態です。



機器の接点出力は接点 1 ～ 3 まであります。

5 確認ダイアログが表示されるので「はい」をクリックする。

ご注意

- 制御に失敗した場合は、自動で元の状態に戻ります。
- 機器の電源が入っていない場合や通信が不安定な場合は、トグルボタンがグレーアウトします。



4 クリックする

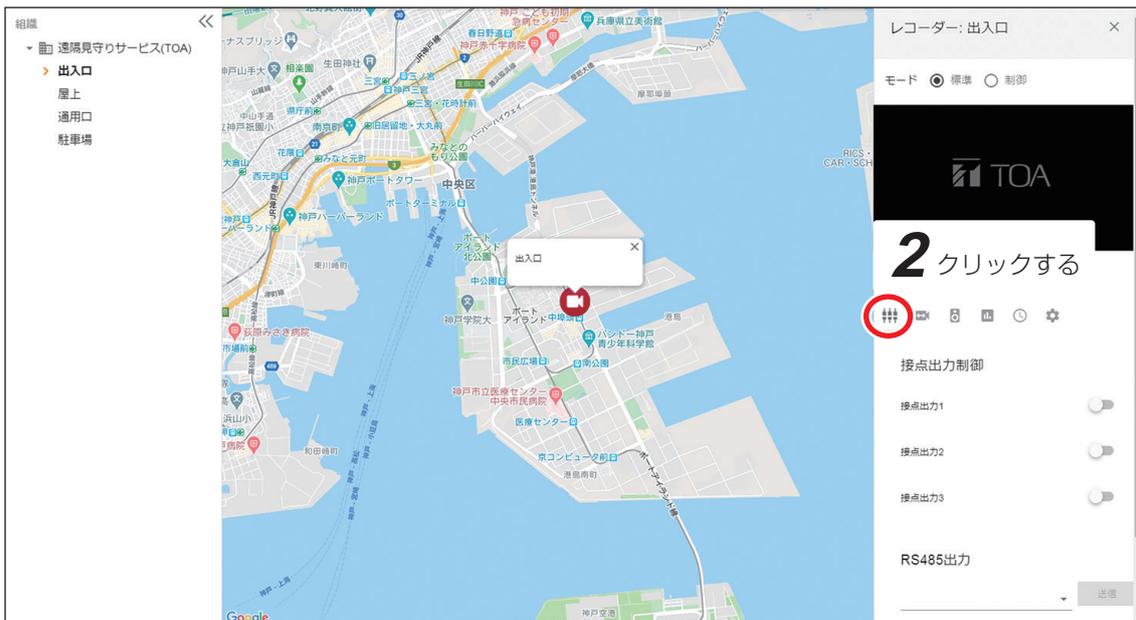
● RS485 通信で外部機器を制御する

機器の RS485 ケーブルに接続した外部機器をコマンドで制御することができます。

ご注意

本機能を使用する場合は弊社営業所にお問い合わせください。

- 1 外部機器が接続された機器の詳細画面を開く。(P.29)
- 2 詳細画面で「外部機器制御メニュー」ををクリックする。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

- 3 詳細画面をスクロールし、RS485 出力の項目を表示する。

- 4 プルダウンメニューから、制御したいメニューを選択する。

メモ

メニューの登録方法については、P.71「RS485 のコマンドを設定する」を参照してください。

- 5 「送信」をクリックする。

- 6 確認ダイアログが表示されるので「はい」をクリックする。

機器の RS485 端子から信号が出力されます。



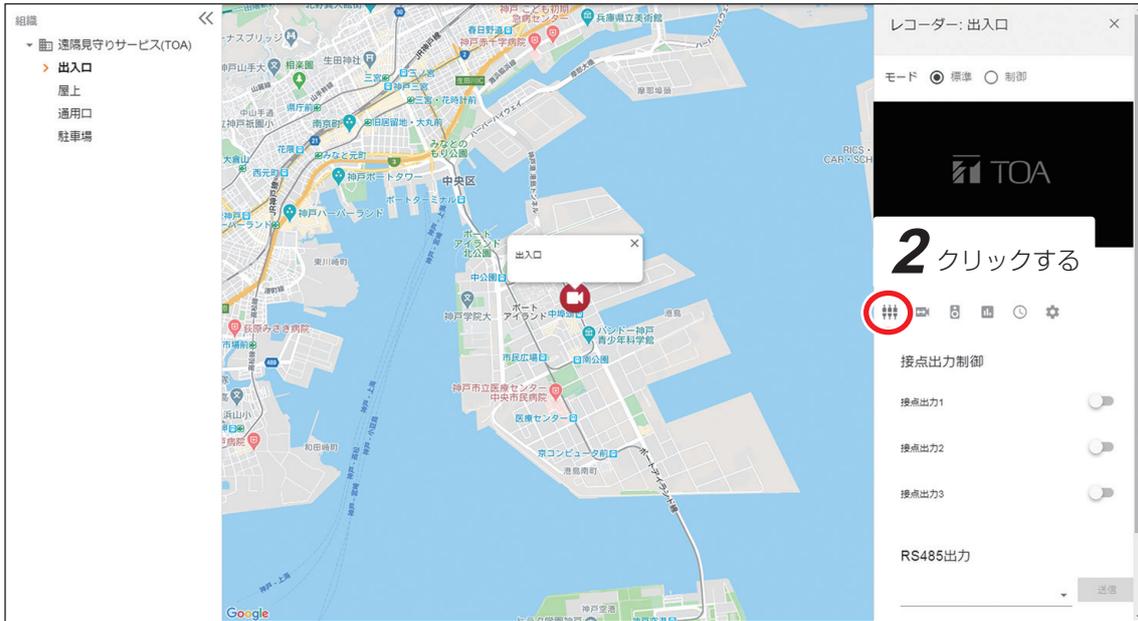
● RS485 通信で外部機器の情報を取得する

機器の RS485 ケーブルに接続した外部機器の情報を取得することができます。

ご注意

本機能を使用する場合は弊社営業所にお問い合わせください。

- 1 外部機器が接続された機器の詳細画面を開く。(P. 29)
- 2 詳細画面で「外部機器制御メニュー」をクリックする。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

- 3 詳細画面をスクロールして RS485 入力の項目を表示し、「更新」ボタンをクリックする。

- 4 確認ダイアログが表示されるので「はい」をクリックする。

外部機器の情報を取得し、表示内容が更新されます。



メモ

表示項目名称と単位は変更することができます。

P. 72「RS485 の入力表示を設定する」を参照してください。

● カメラを PTZ 操作する

機器に PTZ 対応カメラ (N-C5700、N-C5700A) を接続している場合、カメラの PTZ 操作を行うことができます。

また、撮影場所やレンズの画角をプリセットとして登録して再生することもできます。

【ご注意】

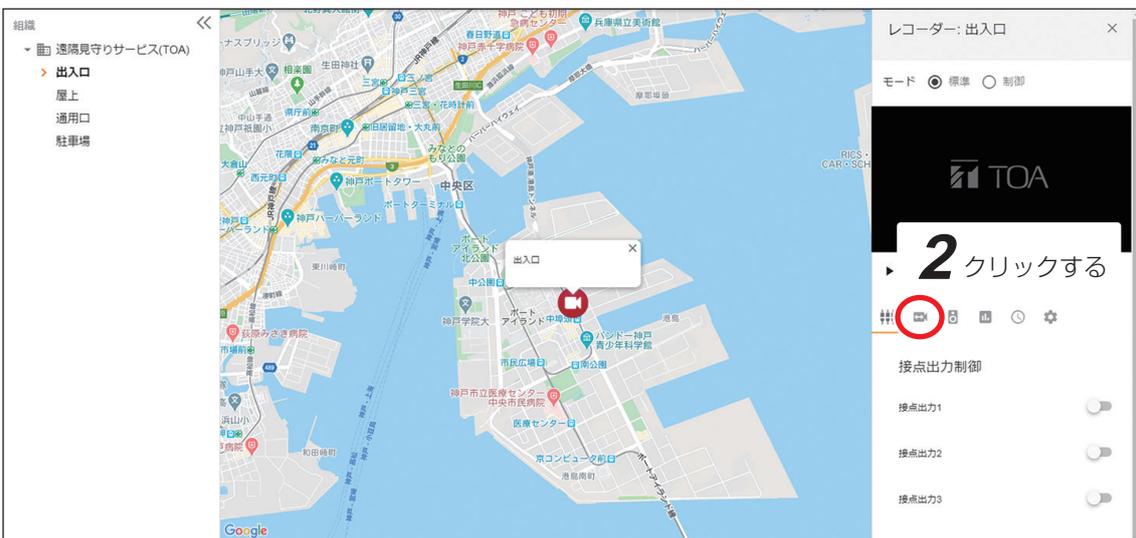
- ネットワーク通信で制御を行っているため、操作がライブ映像に反映されるまでに数秒～数十秒の遅延が発生します。遅延が気になる場合は、「制御モード」でライブ映像を確認してください。(P. 30「ライブ映像を確認する」)
- N-C5700、N-C5700A のポイントビュー機能とズームビュー機能は使用できません。

[マニュアルで PTZ 操作する]

1 マニュアルで PTZ 操作したい機器の詳細画面を開く。(P. 29)

2 詳細画面で「カメラ制御メニュー」をクリックする。

カメラを操作するためのメニューが表示されます。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

3 詳細画面をスクロールし、カメラ制御メニューで「パン・チルト」ボタンをクリックする。

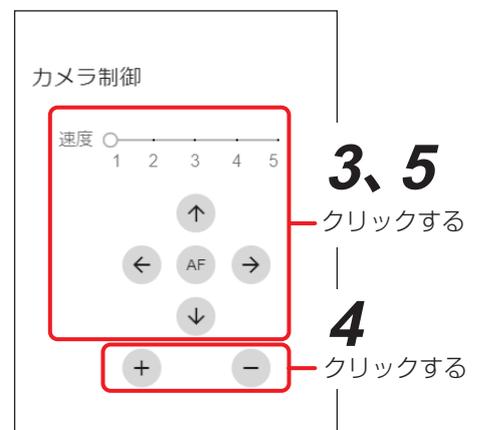
カメラの水平方向、垂直方向の向きを操作します。移動させたい方向のボタンをクリックします。カメラのパン・チルト・ズーム速度は5段階で調節できます。速度メニューで調節してください。1 (遅い) ~ 5 (速い)

4 ズーム「+」、「-」ボタンをクリックする。

画角の調節を行います。「+」ボタンでズームイン、「-」ボタンでズームアウトします。

5 「AF」ボタンをクリックする。

「AF」ボタンをクリックすると、自動でフォーカスを調節します。



【ご注意】

パン・チルトボタンやズームボタンを押し続けても動作は繰り返されません。大きく動かしたい場合は、速度を変更するか、複数回クリックしてください。

[プリセット登録する]

- 1 プリセット登録したい撮影場所、画角にカメラを PTZ 操作する。(P.35)
- 2 カメラ制御メニューで「プリセット」のプルダウンメニューから、登録したいプリセット番号を選択する。

メモ

最大 255 文字まで登録することができます。



- 3 名称欄に任意のプリセット名を入力する。

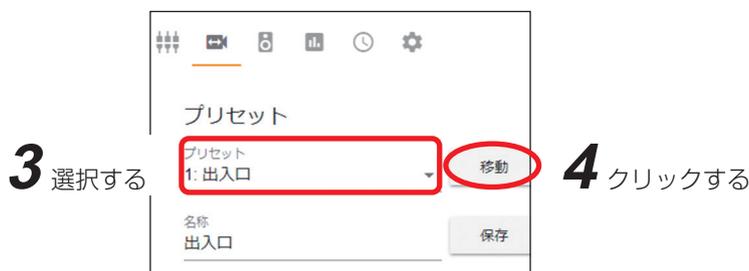
メモ

- 最大 32 文字まで設定できます。
- 環境依存文字は設定できない場合があります。

- 4 「保存」をクリックすると、確認ダイアログが表示されるので「はい」をクリックする。

[プリセット移動する]

- 1 プリセット移動したい機器の詳細画面を開く。(P.29)
- 2 詳細画面で「カメラ制御メニュー」をクリックする。
プリセット移動するためのメニューが表示されます。
- 3 カメラ制御メニューで「プリセット」のプルダウンメニューから、移動したいプリセット番号を選択する。



- 4 「移動」をクリックする。

プリセット登録した撮影場所、画角にカメラが自動で動きます。

ご注意

G-R310-1 で屋外フル HD ネットワーク PTZ カメラ N-C5700、N-C5700A を使用する場合、カメラの工場出荷時は自動復帰（PTZ 操作を受けなくなってから、ホーム動作を開始するまで）の時間が設定されています。ご利用の場面に合わせて設定を行ってください。詳しくは、N-C5700、N-C5700A の操作・設定ガイドをご覧ください。

● 音声ファイルを再生する

タウンレコーダーにスピーカーを接続すると、タウンレコーダーに保存されている音声ファイルを再生することができます。また、音声ファイルの再生を行う前に、機器の放送状態を確認できます。

メモ

音声ファイルをタウンレコーダーに保存する方法は、タウンレコーダーの設定・操作説明書*をご覧ください。

* TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download/>) で「G-R310-1」または「G-R311-1」を検索し、検索先からご確認ください。

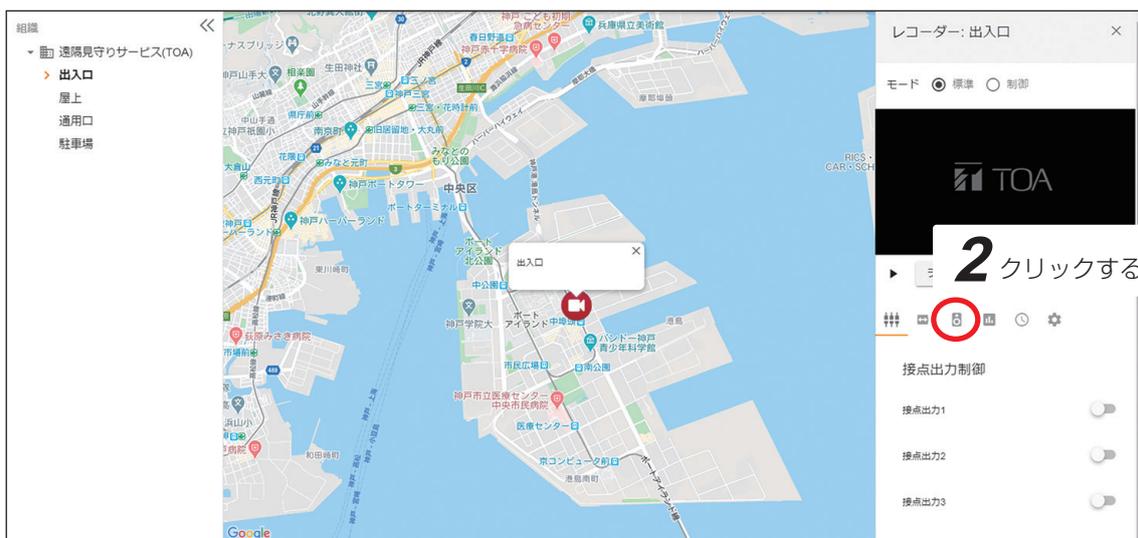
ご注意

タウンレコーダーの音声ファイルを追加または削除したときは、音声ファイルリストの更新が必要です。詳しくは P.76「音声ファイルの名称を設定する」を参照してください。

【機器の放送状態を確認する】

1 放送状態を確認したい機器の詳細画面を開く。(P.29)

2 詳細画面で「音声ファイル再生メニュー」をクリックする。
音声ファイル再生メニューが表示されます。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

3 「状態確認」をクリックする。
現在の放送状態が表示されます。



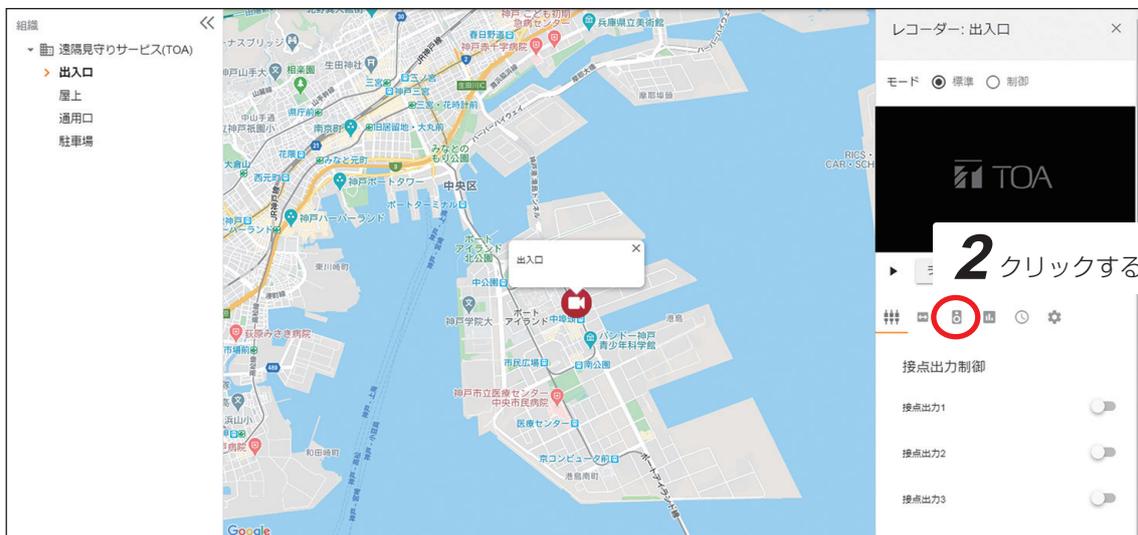
ご注意

- 音声ファイルの再生中は、他の音声ファイルを再生できません。終了まで待つか、音声ファイルの再生を停止してください。(P.39)
- 遠隔放送を行っている場合は、遠隔放送終了まで音声ファイルを再生できません。

【音声ファイルを再生する】

1 音声ファイルを再生したい機器の詳細画面を開く。(P. 29)

2 詳細画面で「音声ファイル再生メニュー」をクリックする。
音声ファイル再生メニューが表示されます。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

3 音声ファイル再生メニューで「音声ファイル再生」のプルダウンメニューから、再生したい音声ファイルの音声名称を選択する。

メモ

音声名称を変更することができます。
詳しくは P. 76 「音声ファイルの名称を設定する」を参照してください。

3 選択する



4 クリックする

4 「再生」をクリックする。

確認ダイアログが表示されます。

5 「はい」をクリックする。

選択した音声ファイルが再生されます。



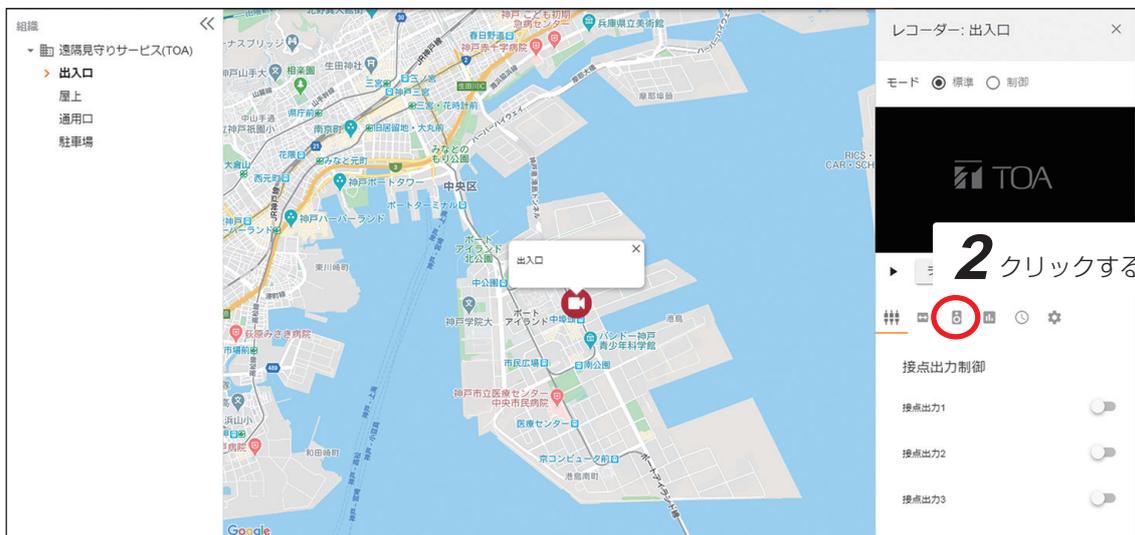
ご注意

- 音声ファイルの再生中は、他の音声ファイルを再生できません。終了まで待つか、音声ファイルの再生を停止してください。(P. 39)
- 遠隔放送を行っている場合は、遠隔放送終了まで音声ファイルを再生できません。

[音声ファイルの再生を停止する]

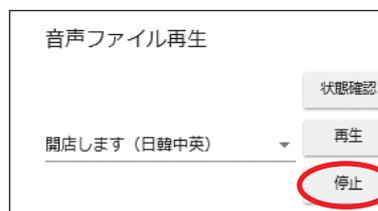
1 音声ファイルの再生を停止したい機器の詳細画面を開く。(P. 29)

2 詳細画面で「音声ファイル再生メニュー」をクリックする。
音声ファイル再生メニューが表示されます。



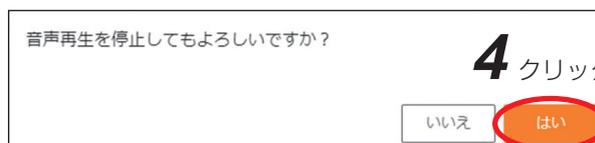
※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

3 「停止」をクリックする。
確認ダイアログが表示されます。



3 クリックする

4 「はい」をクリックする。
音声ファイルの再生が停止します。



4 クリックする

ご注意

- 音声ファイルを停止した場合、次回の再生時には音声ファイルの先頭から再生を開始します。
- 他のユーザーが行っている遠隔放送を途中で停止することはできません。

● 機器の動作状態を確認する

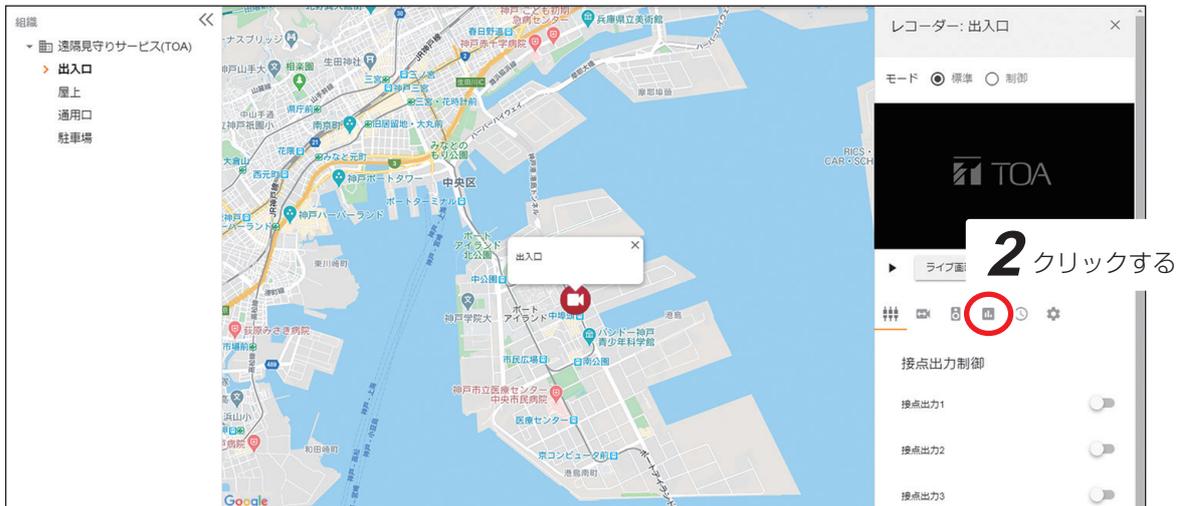
機器の現在の動作状態を確認することができます。

ご注意

最新の状態が表示されるまでに数分かかります。機器の電源が入っていない場合や通信が不安定な場合、情報は更新されません。

1 動作状態を確認したい機器の詳細画面を開く。(P. 29)

2 詳細画面で「機器状態メニュー」をクリックする。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

項目	表示内容	説明
最終通信日時	日時／日時（通信異常）	機器からの通知を取得した最終日時、通信状態を表示します。
SD カード録画状態	録画中／録画停止／異常	SD カードへの録画状態を表示します。
SD カード状態	正常／異常／SD カードなし	SD カードの動作状態を表示します。
SSD 録画状態	録画中／録画停止	SSD への録画状態を表示します。
SSD 状態	正常／異常	映像を録画する記録メディアの動作状態を表示します。
Wi-Fi モジュール	正常／異常	無線 LAN の動作状態を表示します。
機器内温度状態	正常／オーバーヒート／オーバーヒート（ファン異常）／正常（ファン異常）	機器内部の温度状態を表示しています。 正常：使用温度範囲内の状態です。 オーバーヒート：使用温度範囲を超えている状態です。 オーバーヒート（ファン異常）：冷却ファンの故障により、使用温度（ファン異常）範囲を超えている状態です。 正常（ファン異常）：冷却ファンは故障していますが、使用温度範囲内の状態です。
LTE 電波強度*1	アンテナ 4 本／アンテナ 3 本／アンテナ 2 本／アンテナ 1 本	LTE の電波強度を表示します。 [X] [モ] メール通知プランでは表示されません。
接点入力 1～3*2	オフ／オン	接点入力の動作状態を表示します。
カメラ状態	未接続／接続中／異常	機器のボックス部に接続されているカメラの状態を表示します。
ボックス開閉状態	開／閉	機器のボックス部の下カバーの開閉状態を表示します。
接点出力 1～3*2	オフ／オン	接点出力の動作状態を表示します。

*1 表示が 2 本以下のときは、LTE 回線の電波が届かない、または届きにくいエリアであることが予想されます。LTE 電波強度が弱いエリアでは、「タウンレコーダー遠隔見守りサービス」を安定して使用できない場合があります。NTT docomo の LTE サービスエリアを確認してください。NTT docomo のサービスエリアは以下の URL から確認できます。(<https://www.nttdocomo.co.jp/support/area/>)

*2 レコーダー管理画面で設定した名称で表示されます。設定方法については P. 69 「機器の基本設定を行う」を参照してください。

● 機器のログを確認する

選択した機器のログをダウンロードできます。

× モ

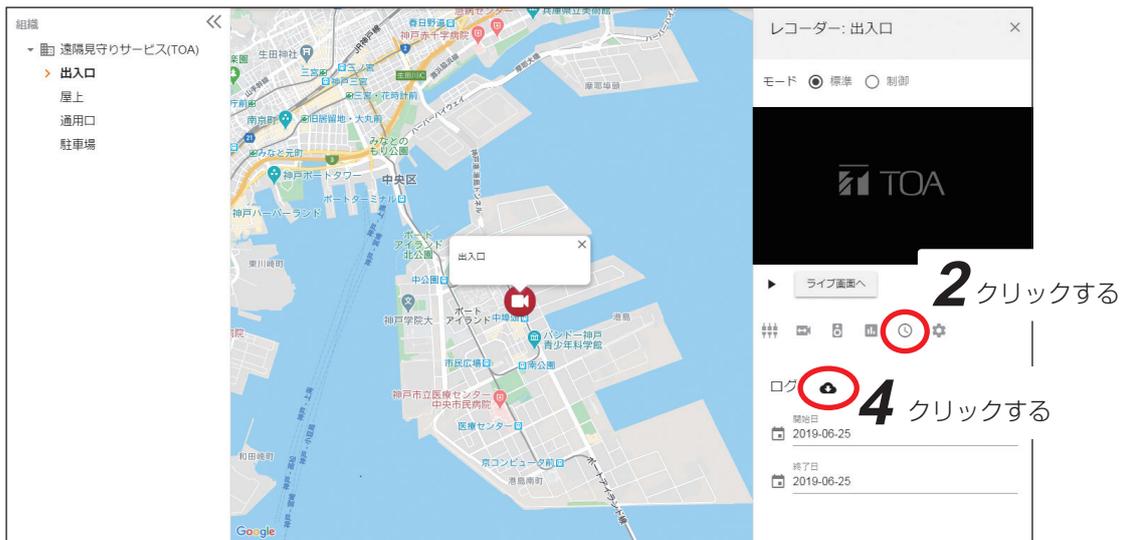
複数の機器のログを一括でダウンロードしたい場合は、P.53の手順に従いダウンロードを行ってください。

ご注意

機器に通信異常が発生している状態や、通信環境によってクラウドサーバーと通信できない状態で発生したログは確認できません。

1 ログを確認したい機器の詳細画面を開く。(参照 P.29)

2 詳細画面で「ログメニュー 」をクリックする。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

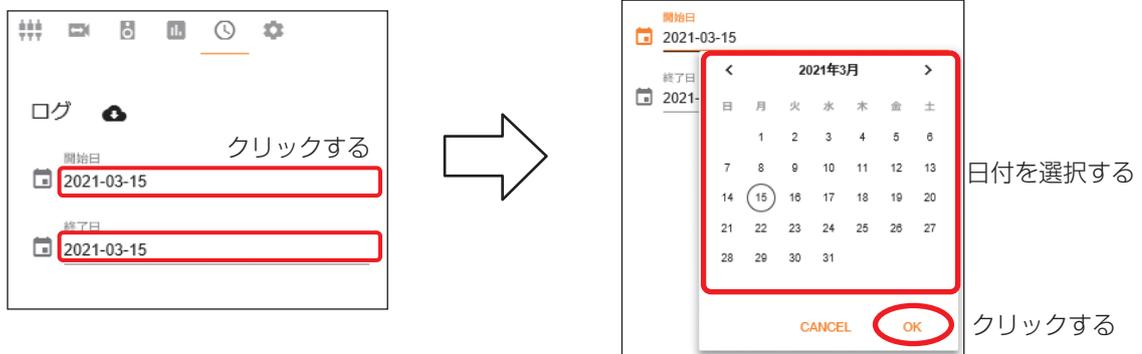
3 ダウンロードしたいログの期間を選択する。

開始日と終了日をそれぞれクリックするとカレンダーが表示されます。

日付を選択して「OK」をクリックしてください。

× モ

開始日から終了日までの期間は最長で3か月間選択できます。



4 ダウンロードアイコン  をクリックする。

指定した期間のログをダウンロードして保存します。

× モ

ログのファイル名は「機器名称_ログ取得開始日_ログ取得終了日_ログ.tsv」となります。

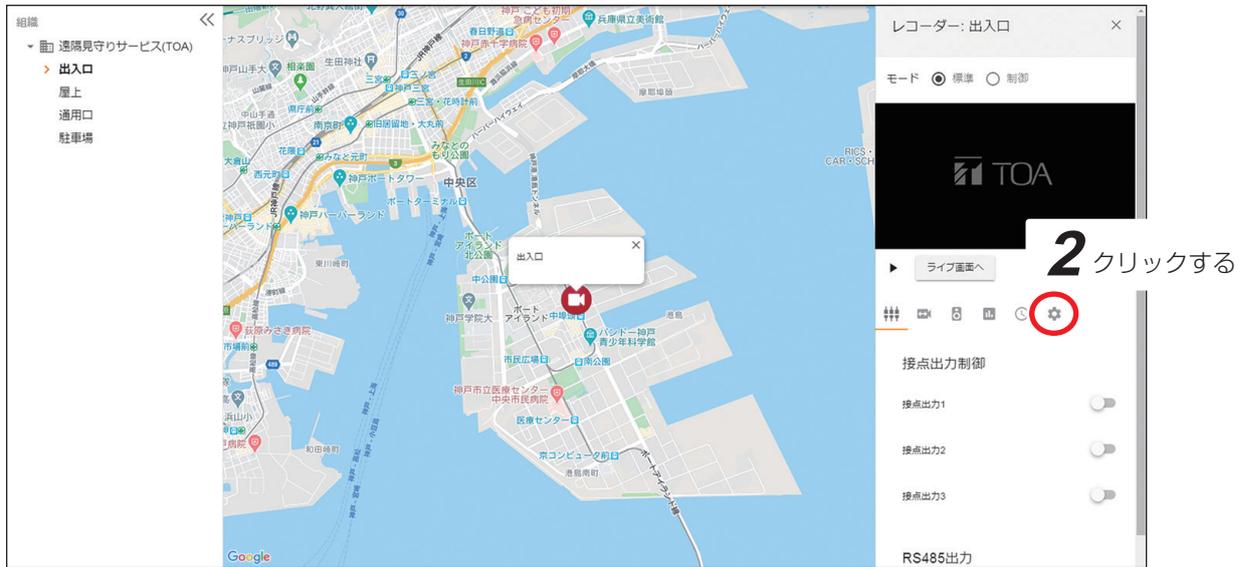
[例] 機器名称が「出入口」で2020年1月1日から2020年2月10日までのログファイルの場合
出入口_20200101_20200210_ログ.tsv

● 機器のメンテナンスを行う

機器情報や契約プランの確認、機器のソフトウェアのバージョンアップなどのメンテナンス操作を行うことができます。

1 メンテナンスを行いたい機器の詳細画面を開く。(P. 29)

2 詳細画面で「メンテナンスメニュー」をクリックする。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

以下の項目が表示されます。

契約プランによって表示される項目が異なります。

○：表示
—：非表示

項目	契約プラン				説明	
	メール通知プラン	メール通知プランLTE	ダウンロードプラン ロードプラン ワイド	左記以外のプラン		
レコーダー	○	○	○	○	機器に設定されている名称が表示されます。	
位置ロック	○	○	○	○	機器アイコンの位置を補正できます。	
機器情報	品番	○	○	○	機器の品番が表示されます。	
	カメラ品番	○	○	○	機器のボックス部に接続されているカメラの品番が表示されます。	
	個体識別番号	—	○	○	機器の個体識別番号が表示されます。	
sim カード	ICCID	—	○	○	SIM カードの個体識別番号が表示されます。	
sigfox モジュール	sigfoxID	○	—	—	Sigfox 通信モジュールの識別番号が表示されます。	
契約プラン	サービスプラン	○	○	○	○	契約プランが表示されます。
	SIM データ利用量 (GB) / SIM データ容量 (GB)	—	—	○	○	当月の利用量および使用できる通信の容量を表示します。契約プランによっては、利用量が容量を超えると、通信速度やライブ映像の設定に制限がかかります。また、容量の上限は契約プランによって決まります。詳細は P. 8「 契約プランと通信容量について 」を参照してください。

項目		契約プラン				説明
		メール通知 プラン	メール通知 プランLTE	ダウン ロード プラン ワイド	左記以外 のプラン	
バージョン	タウンレコーダー ファームウェア バージョン	○	○	○	○	タウンレコーダーのファームウェアバージョンを表示します。
	LTE ファームウェア バージョン	—	○	○	○	LTE モジュールのファームウェアバージョンを表示します。
	sigfox ファーム ウェアバージョン	○	—	—	—	sigfox モジュールのファームウェアバージョンを表示します。
	カメラファーム ウェアバージョン	○	○	○	○	タウンレコーダーに接続されているカメラのファームウェアバージョンを表示します。
	カメラマイコン ファームウェア バージョン	○	○	○	○	タウンレコーダーに接続されているカメラのマイコンのファームウェアバージョンを表示します。マイコンが搭載されていないカメラが接続されている場合は空白になります。
再起動	タウンレコーダー の再起動	—	—	—	○	機器を再起動します。
LTE リフレッシュ	リフレッシュ設定	—	—	—	○	機器の LTE モジュールを定期的に再起動する機能の設定を行います。
	リフレッシュ時間	—	—	—	○	詳しくは P. 47 「LTE リフレッシュを設定する」を参照してください。
ファーム アップ	対象	—	—	—	○	一定時間経過後にファームウェアを自動でアップデートする設定を行います。
	予約	—	—	—	○	詳しくは P. 46 「ファームアップを予約して実行する」を参照してください。

● 機器アイコンの位置を補正する

地図上の機器アイコンの位置を補正することができます。

1 位置補正したい機器の詳細画面を開く。(P.29)

2 詳細画面で「メンテナンスメニュー」をクリックする。

3 「位置ロック」のトグルボタンをクリックする。

ロックを解除すると、機器アイコンを移動することができます。

 : 位置ロック状態です。機器アイコンの移動はできません。

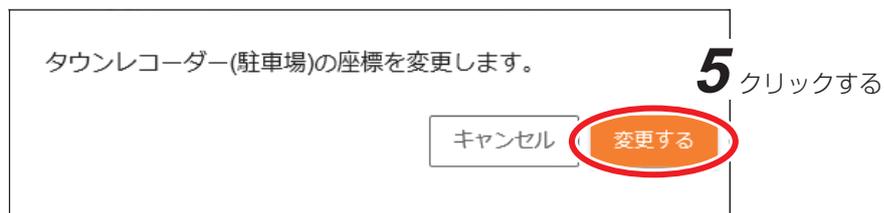
 : 位置ロック解除状態です。機器アイコンを移動することができます。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

4 位置補正したい機器アイコンをドラッグ & ドロップし、位置を変更する。

確認ダイアログが表示されます。



5 「変更する」をクリックする。

機器の位置が更新されます。

更新後は、トグルボタンをクリックして位置ロック状態にしてください。

ご注意

位置補正を行わない場合は、位置ロック状態にしてください。

ロックを解除したままにすると、誤って機器アイコンを移動させてしまうおそれがあります。

● 機器のメンテナンス制御を行う

本サービスから機器のメンテナンス制御を行うことができます。

[対象機器・デバイス]

- ・タウンレコーダー 本体
- ・カメラ 本体
- ・タウンレコーダー LTE モジュール
- ・カメラ マイコン

メモ

ご契約プランが「メール通知プラン」、「メール通知プラン LTE」、または「ダウンロードプランワイド」の場合は利用できません。

ご注意

ファームアップを行う場合は、必ず弊社営業所にお問い合わせのうえ、実行してください。

[ファームアップを実行する]

- 1 ファームアップを行いたい機器の詳細画面を開く。(P. 29)
- 2 詳細画面で「メンテナンスメニュー」をクリックする。
- 3 詳細画面をスクロールし、「バージョン」を表示させる。
- 4 更新したいファームウェアの項目で「実行」ボタンをクリックする。
- 5 確認ダイアログが表示されるので「はい」をクリックする。

ファームアップ処理が開始されます。

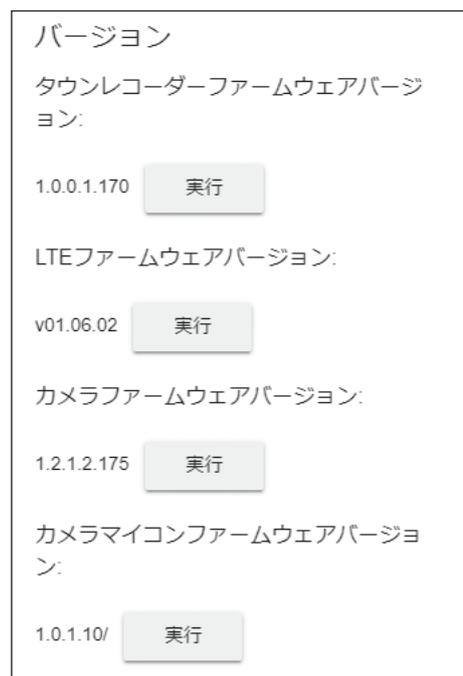
メモ

- クラウドサーバーから機器にファームウェアがダウンロードされ、ダウンロードが完了するとファームウェアの書き換えが行われます。ファームウェアの書き換えが始まると、機器の録画は停止します。
- ファームアップ処理を開始してから完了までに約 1 時間かかります。通信状況によって完了までの時間は前後します。

6 ファームアップが完了したことを確認する。

以下のどちらかの方法で、正常にファームアップが完了したことを確認してください。

- 詳細画面のログメニューでログをダウンロードし、ファームアップ完了のログが存在することを確認する (P. 41)
- メンテナンスメニューでファームアップを実行した機器・デバイスのバージョン表記が更新されていることを確認する



【ファームアップを予約して実行する】

設定した時間が経過すると自動でファームアップ処理を行うよう設定することができます。

1 ファームアップを行いたい機器の詳細画面を開く。(参照 P.29)

2 詳細画面で「メンテナンスメニュー」をクリックする。

3 詳細画面をスクロールし、「ファームアップ」を表示させる。

4 ファームアップ対象を選択する。

5 予約時間 (HH:MM) を設定する。

何時間後 (HH:時、MM:分) にファームアップ処理を開始するかを設定します。

[例] 予約時間を「HH=5、MM=30」と設定し、「16:30」に実行ボタンをクリックした場合、「22:00」にファームアップ処理が開始されます。

4 選択する

5 設定する

6 「実行」ボタンをクリックする。

6 クリックする

7 確認ダイアログが表示されるので「はい」をクリックする。

クリック後、手順 5 で設定した時間が経過すると、自動でファームアップ処理が開始されます。

メモ

- クラウドサーバーから機器にファームウェアがダウンロードされ、ダウンロードが完了するとファームウェアの書き換えが行われます。ファームウェアの書き換えが始まると、機器の録画は停止します。
- ファームアップ処理を開始してから完了までに約 1 時間かかります。通信状況によって完了までの時間は前後します。
- 「予約のキャンセル」をクリックすると、ファームアップ処理は開始されなくなります。すでにファームウェアの書き換えが行われている場合はキャンセルできません。

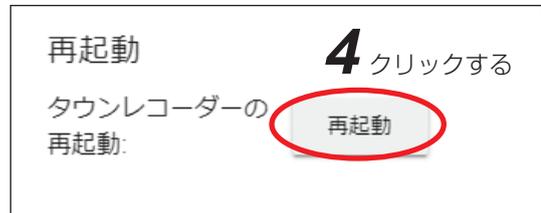
8 ファームアップが完了したことを確認する。

以下のどちらかの方法で、正常にファームアップが完了したことを確認してください。

- ・ 詳細画面のログメニューでログをダウンロードし、ファームアップ完了のログが存在することを確認する (参照 P.41)
- ・ メンテナンスメニューでファームアップを実行した機器・デバイスのバージョン表記が更新されていることを確認する

[機器を再起動する]

- 1 再起動したい機器の詳細画面を開く。(☞ P. 29)
- 2 詳細画面で「メンテナンスメニュー」をクリックする。
- 3 詳細画面をスクロールし、「再起動」を表示させる。
- 4 「再起動」ボタンをクリックする。
- 5 確認ダイアログが表示されるので「はい」をクリックする。
機器が再起動します。



ご注意

再起動中は録画が停止します。

[LTE リフレッシュを設定する]

タウンレコーダーに内蔵している LTE 通信モジュールを長期間安定した状態で稼働させるために、1日に一度モジュールのリフレッシュ動作を行う設定をします。設定した時刻になると LTE 通信モジュールの再起動を行います。リフレッシュ動作にかかる時間は約5分です。

ご注意

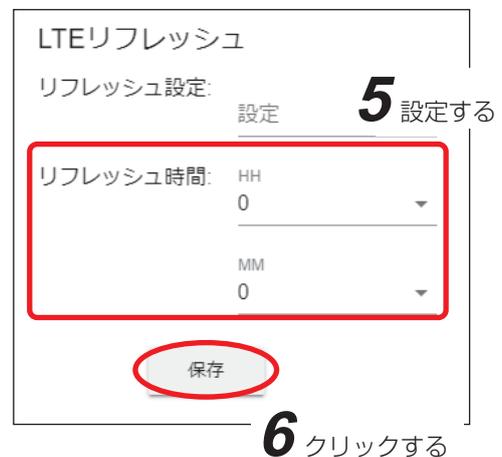
- 工場出荷状態は「オン」に設定されています。LTE 通信モジュールの安定稼働のため、リフレッシュ機能は「オン」でご使用になることをお勧めします。「オン」で使用していない場合、正常に通信できなくなるおそれがあります。
- リフレッシュ動作中は LTE 通信ができません。リフレッシュ動作中に発生したログや機器の異常情報は、リフレッシュ完了後に送信されます。
- LTE リフレッシュの設定は、タウンレコーダーの Web ブラウザー設定・確認画面からも設定することができます。ただし、本サービス上で Web ブラウザー設定・確認画面は表示できません。
- 本サービスの機器詳細画面とタウンレコーダーの Web ブラウザー設定・確認画面の両方から LTE リフレッシュの設定を行った場合は、後から設定したほうが優先されます。

- 1 LTE リフレッシュを設定したい機器の詳細画面を開く。(☞ P. 29)
- 2 詳細画面で「メンテナンスメニュー」をクリックする。
- 3 詳細画面をスクロールし、「LTE リフレッシュ」を表示させる。
- 4 リフレッシュ設定を「オン」にする。

メモ

設定を「オフ」にする場合は「オフ」を選択して、手順6に進んでください。

- 5 リフレッシュ動作を行う時間を設定する。
- 6 「保存」ボタンをクリックする。
- 7 確認ダイアログが表示されるので「はい」をクリックする。
機器の LTE リフレッシュ動作の設定が変更されます。



■ ライブ画面

1 台の機器のライブ映像を大きな画面で確認したり、複数の機器のライブ映像を同時に確認（多画面表示）することができます。また、選択した 1 台の機器に対して遠隔放送を行うことができます。複数の機器に対して遠隔放送を行う場合は、P. 54「遠隔放送」を参照してください。

メモ

- ご契約プランが「メール通知プラン」、「メール通知プラン LTE」、または「ダウンロードプランワイド」の場合は利用できません。
- スマートフォンでは利用できません。

● ライブ画面の見かた

手順：「ライブ」をクリックする。（[P. 25「各画面の名称と操作方法」](#)）

ライブ映像確認用の画面が開きます。



項目	説明
機器一覧	登録されている組織と機器名称、パターンとパターン名称を一覧で表示します。
組織（組織名）	組織または組織名をクリックすると、その組織に所属している機器名称が表示されます。
機器名称	登録されている機器名称を表示します。 機器名称をクリックすると、クリックした機器のライブ映像が画面中央に表示されます。また、その機器の詳細画面が画面右側に表示されます。
パターン	パターンをクリックすると、登録されたパターンの一覧が表示されます。 パターンの登録については P. 83「パターン登録」を参照してください。
パターン名称	登録されたパターン名称を表示します。 パターン名称をクリックすると、クリックしたパターンの分割画面が画面中央に表示されます。
ライブ映像	機器のライブ映像を確認することができます。
ライブ配信方式	ライブ配信方式を選択します。ライブ配信方式は以下の 2 種類から選択します。 [選択] 標準モード／制御モード 標準モード：ライブ映像配信の設定（P. 73）でライブ映像を確認する方式です。 制御モード：遅延を抑えてライブ映像を確認する方式です。 詳しくは、P. 31「ライブ配信方式について」を参照してください。
ライブ映像開始ボタン	クリックするとライブ映像が表示されます。 ライブ映像の表示中は「ライブ映像停止（■）」ボタンに切り換わります。

詳細画面	機器一覧から機器名称をクリック、または、画面中央に表示されているライブ映像上部の機器名称をクリックすると画面右側に機器の詳細画面が表示されます。 詳細画面については、P. 29「機器詳細」を参照してください。
放送時間	遠隔放送を行う時間を設定します。設定した時間が経過すると自動で放送が停止します。
放送開始	クリックすると遠隔放送を開始します。

[1 台の機器のライブ映像を確認する場合]

ライブ映像を大きな画面で確認することができます。

1 「ライブ」をクリックする。(参照 P. 25「各画面の名称と操作方法」)

ライブ映像確認用の画面が開きます。

2 機器一覧からライブ映像を確認したい機器名称をクリックする。

クリックした機器のライブ画面が画面中央に表示されます。



3 ライブ配信方式を選択する。

[× モ]

ライブ配信方式については、P. 31「ライブ配信方式について」を参照してください。

4 「ライブ映像開始 (▶)」ボタンをクリックする。

ライブ映像が表示されます。

[× モ]

- 標準モードの場合、ライブ映像が表示されるまでに数十秒かかる場合があります。
- 配信時間については、P. 31「ライブ配信方式について」を参照してください。
- ライブ映像の表示中は「ライブ映像開始 (▶)」ボタンは「ライブ映像停止 (■)」ボタンに切り換わります。

ご注意

- ライブ映像を表示した状態で長時間放置し、その間に通信環境や LTE リフレッシュ等により通信が一定時間途切れると、映像が更新されないことがあります。その場合は、「ライブ映像停止 (■)」ボタンをクリックしてから、再度「ライブ映像開始 (▶)」ボタンをクリックしてください。
- カメラの画像回転機能には対応していません。画像回転は「オフ」で使用してください。

5 「ライブ映像停止 (■)」ボタンをクリックする。

ライブ映像が停止します。

[遠隔放送を行う]

ライブ画面で、ライブ映像を見ながら遠隔放送を行うことができます。
手順の詳細については、P. 54「遠隔放送」を参照してください。

[複数の機器のライブ映像を同時に確認する場合]

複数の機器のライブ映像を同時に確認することができます。(多画面表示)
多画面表示機能を使用するためには事前にパターン登録を行う必要があります。(P. 83「パターン登録」)



1 「ライブ」をクリックする。(P. 25「各画面の名称と操作方法」)

ライブ映像確認用の画面が開きます。

2 機器一覧からパターンをクリックする。

登録されたパターン名称が一覧表示されます。

3 確認したい機器が登録されているパターン名称をクリックする。

パターンの分割画面が画面中央に表示されます。

分割画面が画面外にはみ出している場合、Edgeの右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、「ズーム」を操作して画面表示を縮小してください。

4 ライブ配信方式を選択します。

ライブ配信方式は分割画面ごとに選択することができます。

× モ

ライブ配信方式の詳細については、P. 31「ライブ配信方式について」を参照してください。

5 ライブ映像を確認したい機器の「ライブ映像開始 (▶)」ボタンをクリックする。

ライブ映像が表示されます。

ご注意

- ライブ映像を表示した状態で長時間放置し、その間に通信環境やLTEリフレッシュ等により通信が一定時間途切れると、映像が更新されないことがあります。その場合は、「ライブ映像停止 (■)」ボタンをクリックしてから、再度「ライブ映像開始 (▶)」ボタンをクリックしてください。
- カメラの画像回転機能には対応していません。画像回転は「オフ」で使用してください。

× モ

- ライブ映像の表示は複数同時に行うことができます。

- **すべてライブ開始** ボタンをクリックすると、パターンに登録され標準モードが選択されているすべての機器のライブ映像が表示されます。

- 標準モードの場合、映像が表示されるまでに数十秒かかる場合があります。
- 配信時間については、P.31「ライブ配信方式について」を参照してください。
- ライブ映像の表示中は「ライブ映像開始 (▶)」ボタンは「ライブ映像停止 (■)」ボタンに切り換わります。
- ライブ映像の表示中は、すべてライブ開始 ボタンは すべて停止 ボタンに切り換わります。

6 ライブ映像を停止したい機器の「ライブ映像停止 (■)」ボタンをクリックする。 ライブ映像が停止します。

× モ

すべて停止 ボタンをクリックすると、すべての機器のライブ映像を停止します。

■ 機器状態一覧

機器状態一覧画面では、登録された機器の現在の動作状態を一覧で確認することができます。

● 機器状態一覧画面の見かた

手順：「機器状態」をクリックする。(参照 P.25「各画面の名称と操作方法」)

機器状態一覧画面が表示されます。



項目	説明
検索フィルター	以下の項目で、条件に合う機器を選んで表示することができます。 組織 / レコーダー名称 / 通信状態 / 公開設定状態 / SSD 録画状態 / SD カード録画状態
フィルター解除	検索フィルターの設定を解除します。
機器詳細	クリックすると地図画面へ移動し、機器の詳細画面を表示します。
機器状態	機器の現在の動作状態を表示します。 詳細は P.52「機器状態の見かた」を参照してください。
一括処理	選択中の機器に対して、機器リストのダウンロードまたは機器ログのダウンロードを行います。機器リストのファイル名は「機器状態一覧.csv」となります。機器ログのファイル名は「機器ログ_ログ取得開始日_ログ取得終了日.zip」となります。
レコーダー選択チェックボックス	機器リストのダウンロードまたは機器ログのダウンロードを行うタウンレコーダーを選択できます。
すべて選択	クリックすると表示されていないページも含め、すべてのレコーダー選択チェックボックスのチェックが入ります。
すべて解除	クリックすると表示されていないページも含め、すべてのレコーダー選択チェックボックスのチェックが外れます。

● 機器状態の見かた

機器状態一覧画面では、機器の現在の動作状態を確認できます。

項目	説明
レコーダー名称	機器の名称を表示します。 表頭の「レコーダー名称」をクリックすると、名前順に並び替えできます。
通信状態	機器の通信状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ : 機器は正常に通信しています。 ✗ : 機器に通信異常が発生しています。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">×モ</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 通信状態は 1 時間に一度更新します。 ● 起動後は最長で 1 時間程度「×」と表示されます。
最終通信日時	機器からの通知を取得した最終日時が表示されます。
公開設定状態* ¹	ライブ映像を公開しているか、非公開にしているかの状態を表示します。 公開 : 不特定多数のユーザーにライブ映像が公開できる状態です。 非公開: ライブ映像は本サービスにログインしているユーザーのみ確認できる状態です。
SSD 録画状態	機器の SSD への録画状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ : SSD 録画中です。 ✗ : SSD 録画停止中です。
SD カード録画状態	機器の SD カードへの録画状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ : SD カード録画中です。 ✗ : SD カード録画停止中です。
SIM データ利用量 (GB) / SIM データ容量 (GB) * ²	当月の利用量および使用できる通信の容量を表示します。 契約プランによっては、利用量が容量を超えると、通信速度やライブ映像の設定に制限がかかります。また、容量の上限は契約プランによって決まります。 詳細は P.8「契約プランと通信容量について」 を参照してください。

*¹ ご契約プランが「メール通知プラン」、「メール通知プラン LTE」、または「ダウンロードプランワイド」の場合は「-」で表示されます。

*² ご契約プランが「メール通知プラン」または「メール通知プラン LTE」の場合は「-」で表示されます。また、ご契約プランが「ダウンロードプランワイド」または「拡声ライブプラン DL ワイド」の場合は、レコーダーが所属している SIM データ管理グループの利用量/容量が表示されます。

● 複数の機器のログを一括でダウンロードする

1 ダウンロードしたい機器のチェックボックスにチェックを入れる。

【ご注意】

検索フィルターの設定内容を変更すると、レコーダー選択のチェックボックスのチェックはすべて外れます。

1 チェックを入れる



2 「一括処理」をクリックし、「機器ログダウンロード」をクリックする。

ログ一括ダウンロード画面が表示されます。

【ご注意】

ログ一括ダウンロード画面表示中は、画面の切り換えなど他の操作はできません。



3 ダウンロードしたいログの期間を選択する。

3-1 開始日をクリックする。

3-2 カレンダーから日付を選択して「OK」をクリックする。

3-3 同様に終了日を選択する。

メモ

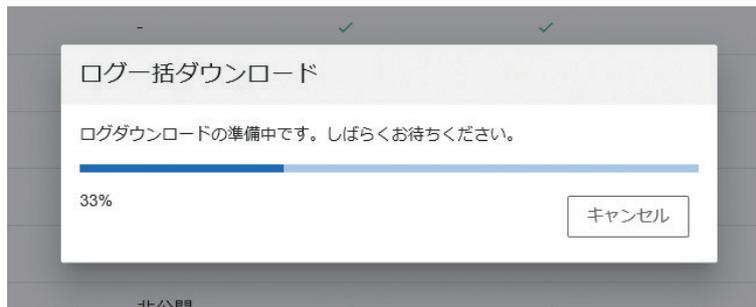
開始日から終了日までの期間は最長で1か月間選択できます。

4 「ダウンロード開始」をクリックする。

ログのダウンロード準備が開始され、準備完了後に指定期間のログをダウンロードして保存します。

【ご注意】

ダウンロードする機器数、ログの期間、ログの件数によっては時間がかかる場合があります。



【メモ】

- 「キャンセル」をクリックすると、ダウンロード処理を中止することができます。
- ダウンロード処理を中止するとログファイルはダウンロードできません。
- ログは組織ごとにまとめられ、さらに組織の中で機器ごとにまとめられます。
- ログは zip 形式でダウンロードされます。
ログのファイル名は「機器ログ_ログ取得開始日_ログ取得終了日.tsv」となります。
また、65536 行を超える場合は、ファイルは複数に分割されて日付のあとに連番が追加されます。

[例]

2019年11月1日から2019年11月14日のログをダウンロードした場合

・ 65536 行以下の場合

機器ログ_20191101_20191114.tsv

・ 65536 行を超える場合

機器ログ_20191101_20191114_0001.tsv

機器ログ_20191101_20191114_0002.tsv

⋮

■ 遠隔放送

タウンレコーダーにスピーカーを接続すると、パソコンからタウンレコーダー側へ遠隔放送を行うことができます。遠隔放送は、次の2画面から行うことができます。

ライブ画面 : 個別に遠隔放送を行うことができます。

遠隔放送画面 : 個別、または最大 32 台のタウンレコーダーに対して同時に遠隔放送を行うことができます。

【ご注意】

- 音声ファイルの再生中に遠隔放送を開始すると、音声ファイルの再生は停止します。遠隔放送が終了しても、音声ファイルの再生は再開されません。
- 音声ファイル再生の開始と遠隔放送開始のタイミングが重なった場合、遠隔放送の開始に失敗することがあります。

【メモ】

- ご契約プランが「メール通知プラン」、「メール通知プランLTE」、または「ダウンロードプランワイド」の場合は利用できません。
- 本機能を使用するには別途「コネクタユーザーID」の申し込みが必要です。
- スマートフォンからは遠隔放送できません。
- 機器に保存された音声ファイルを再生したい場合は、P.37「音声ファイルを再生する」を参照してください。

遠隔放送機能を使用するには以下の準備が必要です。

1. VPN ソフトウェアをインストールする (P.15)
2. VPN ソフトウェアにログインする (P.16)
3. Internet Explorer モードを使用可能にする (P.13)
4. TRIFORA VIEW をインストールする (P.18)

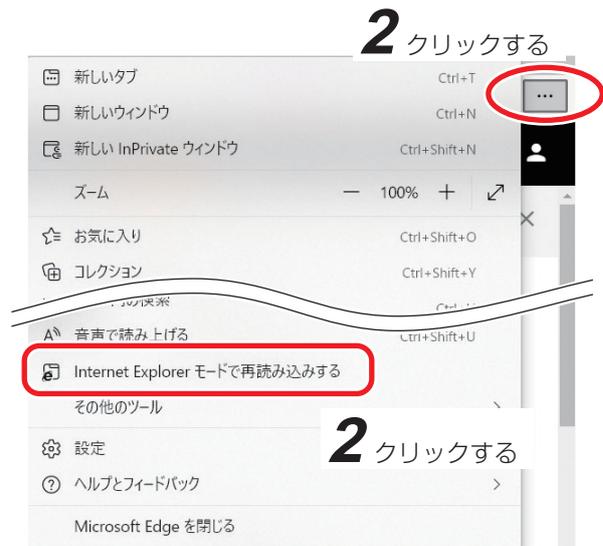
● ライブ画面から個別放送を行う

1 「ライブ」をクリックする。(P. 25「各画面の名称と操作方法」)

2 Edge の右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、メニューの「Internet Explorer モードで再読み込みする」をクリックする。

× モ

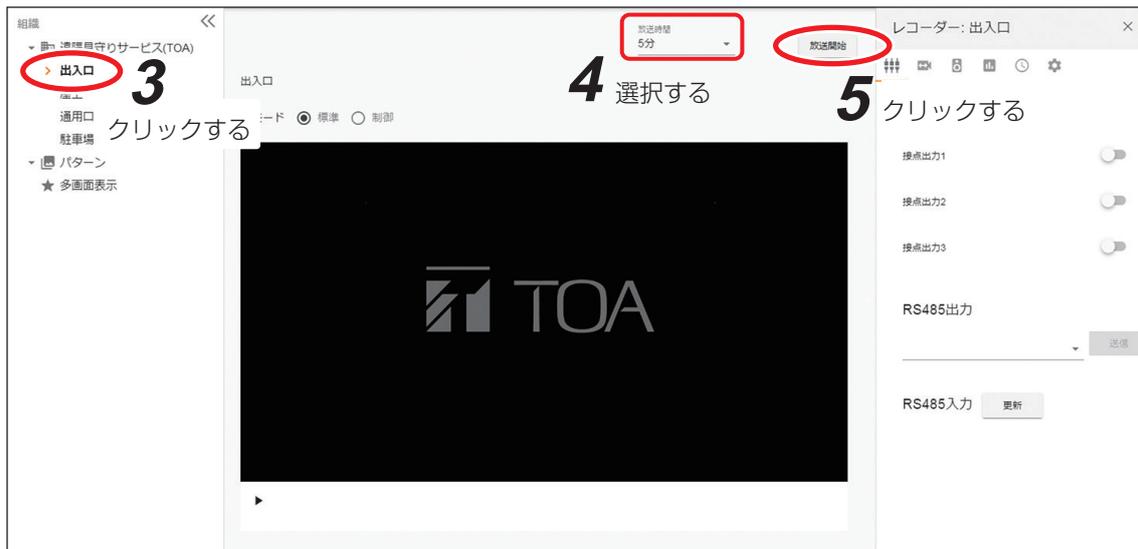
Internet Explorer モードでログインしていない場合はログイン画面が表示されますので、ログインしてください。



3 機器一覧から遠隔放送したい機器名称をクリックする。

× モ

画面下部に「この Web ページは、' TOA Corporation ' からのアドオン ' TRIFORA VIEW ' を実行しようとしています。」というメッセージが表示された場合は「許可」をクリックしてください。



4 「放送時間」を選択する。

放送を開始してから、選択した時間が経過すると自動で放送が停止します。

[選択] 1分 / 3分 / 5分 / 10分 / 30分 / 1時間

5 「放送開始」ボタンをクリックする。

6 確認ダイアログが表示されるので「はい」をクリックする。

遠隔放送ができる状態になり、音声放送中の画面が表示されます。



7 放送を行う。

ご注意

ネットワーク通信で放送を行うため、数秒の遅延や途切れが発生する場合があります。パソコンは LAN ケーブルを使用するなど、ネットワーク環境の良い状態でご使用ください。

メモ

以下の場合、機器への放送はできません。

- ・他のユーザーが対象機器に放送中の場合
- ・パソコンに放送用の機器（マイク等）が接続されていない場合

8 「放送終了」をクリックする。

遠隔放送が終了します。

メモ

「放送終了」をクリックしない場合も、放送時間が経過すると、遠隔放送は自動で終了します。

9 Edge の右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、メニューの「Internet Explorer モードを終了する」をクリックする。



メモ

「Internet Explorer モードを終了する」をクリックしても Internet Explorer モードでのログイン状態は維持されます。

● 遠隔放送画面から遠隔放送を行う



項目	説明
組織フィルター	組織フィルターで組織を選択すると、選択した組織と、組織に登録されている機器が機器一覧に表示されます。また、選択した組織に登録されている放送グループが「放送グループ」のプルダウンメニューに表示されます。
放送グループ	放送グループを選択すると、選択した放送グループに登録されている機器のチェックボックスにチェックが入ります。
放送時間	放送時間を設定します。
放送開始ボタン	放送を開始します。
機器一覧	登録されている組織と機器を一覧で表示します。
状態確認ボタン	タウンレコーダーの放送状態を確認します。

1 「遠隔放送」をクリックする。

遠隔放送画面を開きます。

2 Edge の右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、メニューの「Internet Explorer モードで再読み込みする」をクリックする。

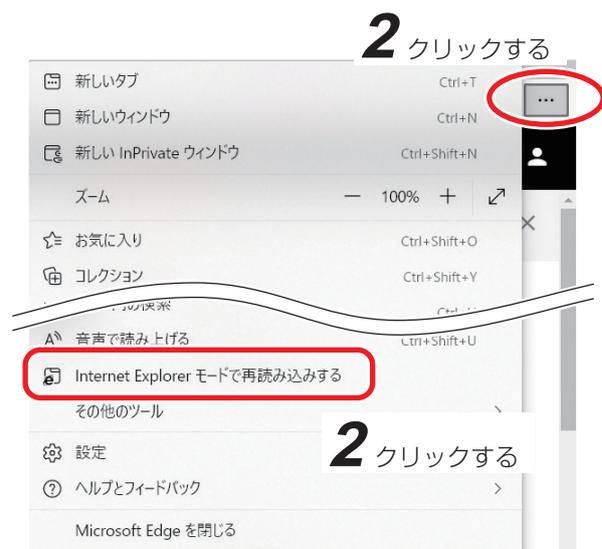
× モ

Internet Explorer モードでログインしていない場合はログイン画面が表示されますので、ログインしてください。

3 機器一覧で遠隔放送を行いたい機器のチェックボックスにチェックを入れる。

× モ

- 放送グループを選択すると、選択した放送グループに登録されている機器のチェックボックスにチェックが入ります。放送グループの登録は P.78「[放送グループ管理](#)」を参照してください。
- 最大 32 台まで選択できます。



4 「放送時間」を選択する。

選択した放送時間が経過すると、遠隔放送が自動で終了します。

[選択] 1分 / 3分 / 5分 / 10分 / 30分 / 1時間

5 「放送開始」ボタンをクリックする。

6 確認ダイアログが表示されるので「はい」をクリックする。

遠隔放送ができる状態になり、音声放送中の画面が表示されます。

メモ

以下の場合、機器への放送はできません。

- ・他のユーザーが対象機器に放送中の場合
- ・パソコンに放送用の機器（マイク等）が接続されていない場合



7 放送をする。

ご注意

ネットワーク通信で放送を行うため、数秒の遅延や途切れが発生する場合があります。パソコンはLANケーブルを使用するなど、ネットワーク環境の良い状態でご使用ください。

8 「放送終了」をクリックする。

遠隔放送が終了します。

メモ

「放送終了」をクリックしない場合も、放送時間が経過すると、遠隔放送は自動で終了します。

9 Edgeの右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、メニューの「Internet Explorer モードを終了する」をクリックする。

メモ

「Internet Explorer モードを終了する」をクリックしてもInternet Explorerモードでのログイン状態は維持されます。



● 機器の放送状態を確認する

[ライブ画面で機器の放送状態を確認する]

1 「ライブ」をクリックする。(👉 P. 25「各画面の名称と操作方法」)

ライブ映像確認用の画面が開きます。

2 機器一覧から放送状態を確認したい機器名称をクリックする。

画面右側に機器の詳細画面が表示されます。

3 詳細画面で「音声ファイル再生メニュー 」をクリックする。

音声ファイル再生メニューが表示されます。

4 「状態確認」ボタンをクリックする。

現在の状態が表示されます。



[遠隔放送画面で機器の放送状態を確認する]

1 「遠隔放送」をクリックする。(👉 P. 25「各画面の名称と操作方法」)

遠隔放送画面が開きます。



2 機器一覧で放送状態を確認したい機器の「状態確認」ボタンをクリックする。

現在の状態が表示されます。

メモ

複数の機器の放送状態を一度に確認することはできません。一台ずつご確認ください。

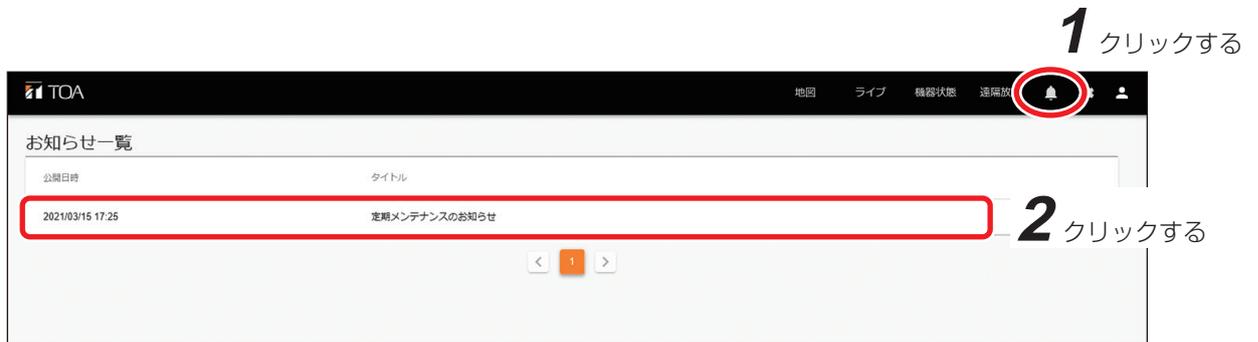
■ お知らせ一覧

各種お知らせの確認やソフトウェアのダウンロードなどを行います。

● お知らせ画面の見かた

1 「お知らせ」をクリックする。(参照 P.25「各画面の名称と操作方法」)

お知らせ一覧画面が表示されます。



2 お知らせ一覧画面で確認したいお知らせをクリックする。

お知らせ詳細画面が表示されます。



項目	説明
公開日時	お知らせが公開された日時を表示します。
タイトル	お知らせのタイトルを表示します。
詳細	お知らせの詳細内容を表示します。
戻る	お知らせ一覧画面に戻ります。

■ 管理設定

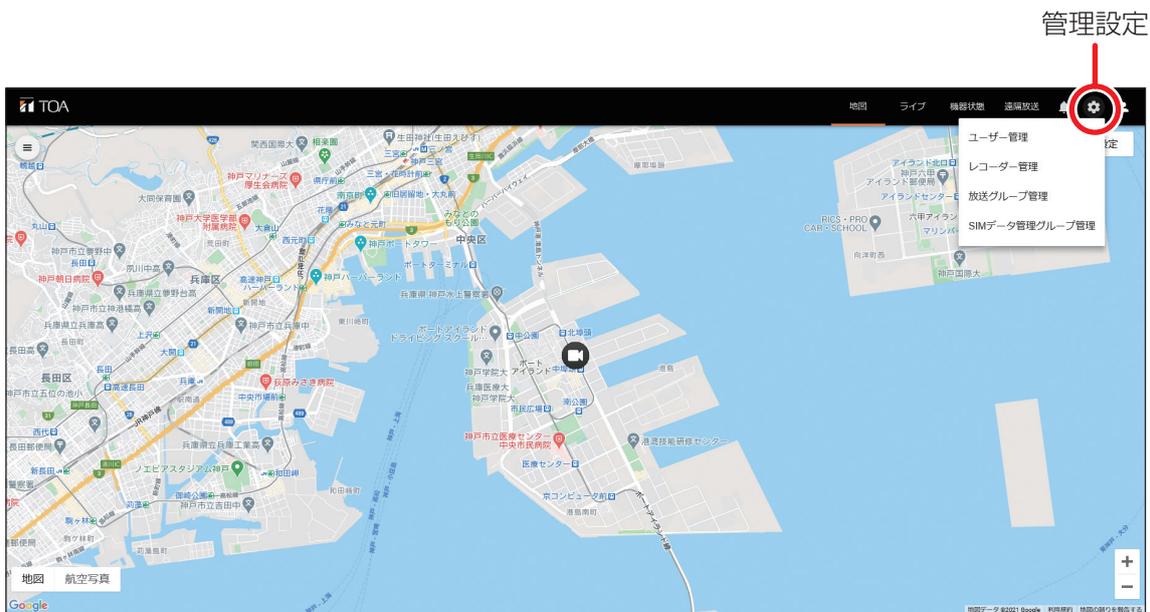
ユーザーや機器に関する設定変更、および、設定の確認を行います。

メモ

スマートフォンからは設定変更、設定確認はできません。

手順：「管理設定 」をクリックする。

設定項目が表示されます。



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

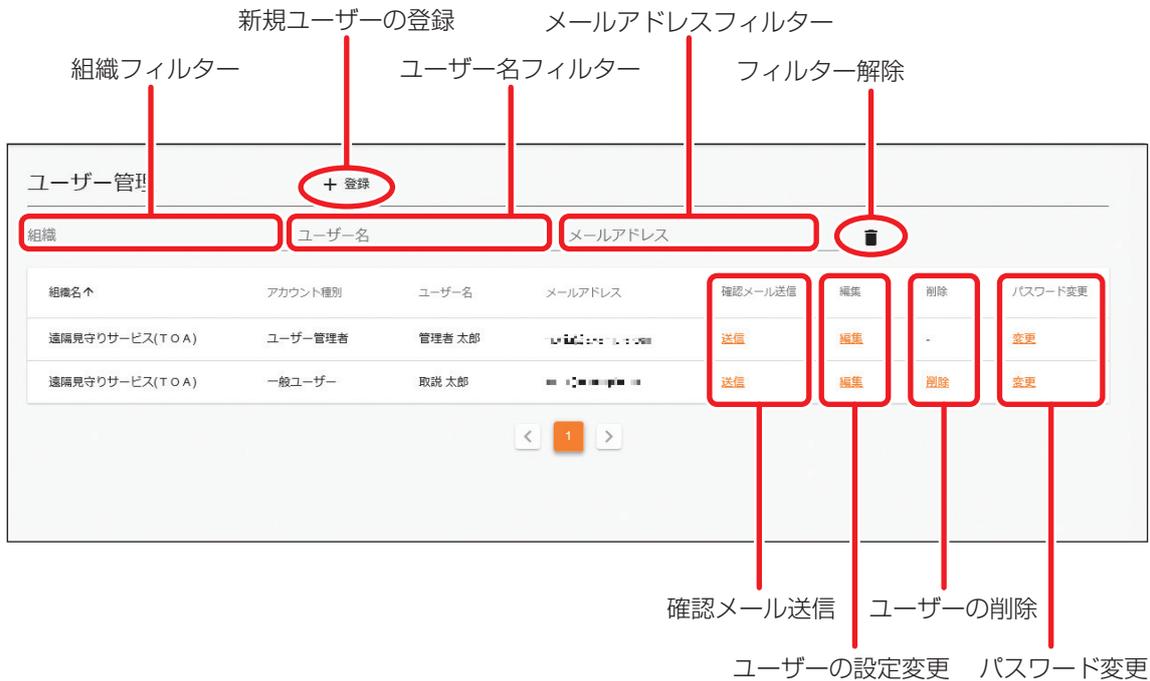
項目	説明
ユーザー管理	ユーザーの登録・削除、設定変更、ログインパスワードの変更をするときに使用します。
レコーダー管理*	機器の名称等の設定をするときに使用します。
放送グループ管理*	一斉放送を行うときのグループの登録・削除をするときに使用します。
SIM データ管理グループ管理*	通信利用量の確認や利用履歴などを確認するときに使用します。 ご契約プランが「ダウンロードプランワイド」または「拡声ライブプラン DL ワイド」の場合に利用できます。

* 一般ユーザーでログインしたときは項目が表示されません。

● ユーザー管理

ユーザー管理画面では、ユーザー管理者は自身のパスワードの変更、一般ユーザーの登録、削除、設定変更、メールの送信確認を行うことができます。

一般ユーザーは自身のログインパスワードの変更のみ行うことができます。



[新規ユーザーの登録と既存ユーザーの設定変更]

- 1 「管理設定」をクリックし、「ユーザー管理」をクリックする。(P. 61)
- 2 新規ユーザーの登録は「+ 登録」を、既存ユーザーの設定変更をするときは「編集」をクリックする。
ユーザー登録画面またはユーザー更新画面が開きます。
- 3 登録または変更したいユーザーの情報を入力する。

The screenshot shows the 'ユーザー情報' (User Information) form. A red box highlights the input fields. The form has two sections: 'ユーザー情報' and 'パスワード'. The 'ユーザー情報' section includes: 'アカウント種別' (Account Type) with a dropdown menu set to '一般ユーザー' (General User); 'ユーザー名 (姓)' (User Name (Surname)) and 'ユーザー名 (名)' (User Name (Given Name)) input fields; and 'メールアドレス' (Email Address) input field. The 'パスワード' section includes: 'パスワード' (Password) and 'パスワード(確認用)' (Password (Confirmation)) input fields.

メモ

既存ユーザーの設定変更時は、パスワードの項目は表示されません。
パスワードを変更する場合は P. 68 を参照してください。

項目	説明
ユーザー情報	ユーザー情報を設定します。
アカウント種別	「一般ユーザー」が選択されます。 一般ユーザーが操作できる機能については P. 9 「操作できる機能」を参照してください。
ユーザー名（姓）	ユーザー管理画面（P. 62）に表示するユーザー名（姓）を設定します。
ユーザー名（名）	ユーザー管理画面（P. 62）に表示するユーザー名（名）を設定します。
メールアドレス	メールアドレスをログイン時に使用するログイン ID として設定します。 ユーザーの登録時およびパスワードの変更時に、設定したメールアドレス宛に案内メールが送信されます。 また、メールの受信設定を行ったイベントが発生したときもメールが送信されます。メールの受信設定については手順 7 を参照してください。 ご注意 ● 大文字は使用できません。 ● 一度登録した内容は変更できません。誤って登録した場合は、削除してから再度登録を行ってください。
パスワード	ログイン時のパスワードを設定します。 8 文字以上 32 文字以内の半角英数字の組み合わせを入力してください。 <input type="text" value="メモ"/> 以下の半角記号も使用可能です。 ! " # \$ % & ' () * + - . , / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { } ~

4 所属させたい組織を選択する。

5 「この組織に所属する」のトグルボタンをクリックする。



: 所属させる



: 所属させない

組織・レコーダー権限 **4** 選択する

組織	TOA(TOA) ▼
1件の組織に所属中	
この組織に所属する	<input checked="" type="checkbox"/> 5 クリックする

ユーザーは複数の組織に所属させることができます。

「xx 件の組織に所属中」の件数をクリックすると、現在所属中の組織を一覧表示できます。

組織・レコーダー権限

組織	TOA(TOA) ▼
1件の組織に所属中	

6 権限を与えたい機能のトグルボタンをクリックする。

 : 権限あり

 : 権限なし

メモ

- メール通知プラン、メール通知プラン LTE、およびダウンロードプランワイドでは機器の操作はできないため、権限の設定は不要です。
- ユーザーを複数の組織に所属させる場合、組織を切り換えて（P. 63、手順 4）、組織ごとに権限を設定する必要があります。

[例]

ユーザー A が組織 X と組織 Y の 2 つの組織に所属する場合、組織 X の設定と組織 Y の設定を個別に行います。

カメラ操作権限			
ライブ映像確認権限	<input checked="" type="checkbox"/>	PTZカメラ操作権限	<input type="checkbox"/>
接点出力1操作権限	<input type="checkbox"/>	接点出力2操作権限	<input type="checkbox"/>
接点出力3操作権限	<input type="checkbox"/>	RS485出力操作権限	<input type="checkbox"/>
遠隔放送権限	<input type="checkbox"/>	メンテナンス操作権限	<input checked="" type="checkbox"/>
遠隔ダウンロード権限	<input type="checkbox"/>		

項目	説明
ライブ映像確認権限	権限を設定すると、ライブ映像を確認できます。 ご注意 ライブ映像を制御モードで確認する場合は、ライブ映像確認権限に加えて、「PTZカメラ操作権限」、「接点出力操作権限」、「RS485出力操作権限」、「遠隔放送権限」のうち、いずれかの権限が必要です。
PTZカメラ操作権限	権限を設定すると、カメラの PTZ 操作を行うことができます。
接点出力 1 操作権限	権限を設定すると、接点出力 1 を操作できます。
接点出力 2 操作権限	権限を設定すると、接点出力 2 を操作できます。
接点出力 3 操作権限	権限を設定すると、接点出力 3 を操作できます。
RS485 出力操作権限	権限を設定すると、RS485 の操作ができます。
遠隔放送権限	権限を設定すると、音声設定、遠隔放送、音声ファイル再生を操作できます。
メンテナンス操作権限	権限を設定すると、機器のソフトウェアのバージョンアップ、再起動などのメンテナンス操作を行うことができます。
遠隔ダウンロード権限	権限を設定すると、録画データをダウンロードできます。

7 メールを受信設定をする。

ユーザーにメール通知するイベントのトグルボタンをクリックします。

送信されるメールの内容については、P.66「イベント発生メール」を参照してください。

 : 通知する

 : 通知しない

メモ

ユーザーを複数の組織に所属させる場合、組織を切り換えて (P. 63、手順 4)、組織ごとに設定する必要があります。

[例]

ユーザー A が組織 X と組織 Y の 2 つの組織に所属する場合、組織 X の設定と組織 Y の設定を個別に行います。



カテゴリ	イベント名	説明
異常	通信異常	タウンレコーダーとクラウドサーバーが 3 時間以上通信できない状態が継続しているときにメールが送信されます。
	SSD 録画異常	タウンレコーダーに内蔵されている SSD への録画に異常が発生したときにメールが送信されます。
	SSD 異常	タウンレコーダーに内蔵されている SSD に異常が発生したときにメールが送信されます。
	SD カード録画異常	SD カードへの録画に異常が発生したときにメールが送信されます。
	SD カード異常	SD カードに異常が発生したときにメールが送信されます。
	無線 LAN 異常	無線 LAN モジュールに異常が発生したときにメールが送信されます。
	オーバーヒート	タウンレコーダー内の温度が使用温度範囲を超えているときにメールが送信されます。
	オーバーヒート(ファン異常)	タウンレコーダー内の温度が使用温度範囲を超え、また冷却ファンに異常が発生したときにメールが送信されます。
	カメラ未接続	ボックス部とカメラ部が正しく接続できていないときにメールが送信されます。
	カメラ異常	カメラに異常が発生したときにメールが送信されます。
起動	起動	タウンレコーダーが起動したときにメールが送信されます。
ログイン	Web アクセス	無線 LAN 経由でタウンレコーダーの Web 設定ページにログインしたときにメールが送信されます。
	GR ダウンローダーログイン	無線 LAN 経由でタウンレコーダーに GR ダウンローダーでログインしたときにメールが送信されます。
	GR ダウンローダーログイン LTE *1	LTE 回線経由でタウンレコーダーに GR 遠隔ダウンローダーでログインしたときにメールが送信されます。
録画データダウンロード	録画データダウンロード	無線 LAN 経由でタウンレコーダーから録画データのダウンロードを行ったときにメールが送信されます。
	録画データダウンロード LTE *1	LTE 回線経由でタウンレコーダーから録画データの遠隔ダウンロードを行ったときにメールが送信されます。

録画データ ダウンロード	録画データ プレビュー	無線 LAN 経由でタウンレコーダーから録画データのプレビューを行ったときにメールが送信されます。
	録画データ プレビュー LTE * 1	LTE 回線経由でタウンレコーダーから録画データの遠隔プレビューを行ったときにメールが送信されます。
	SD カード認識	タウンレコーダーに SD カードを挿入したときにメールが送信されます。
	SD カード取り出し	タウンレコーダーから SD カードを取り出したときにメールが送信されます。
接点入力 1	接点入力 1	接点入力 1 がオンになったときにメールが送信されます。
接点入力 2	接点入力 2	接点入力 2 がオンになったときにメールが送信されます。
接点入力 3	接点入力 3	接点入力 3 がオンになったときにメールが送信されます。
RS485 入力* 2	RS485 入力	RS485 に信号（コマンド）が入力されたときにメールが送信されます。

* 1 ご契約プランが「メール通知プラン」、「メール通知プラン LTE」、「拡声ライブプラン」、または「拡声ライブプラン Light」の場合は利用できません。

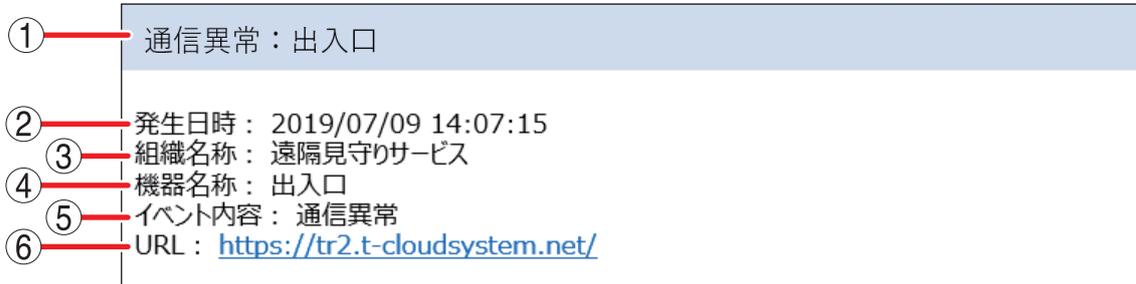
* 2 ご契約プランが「メール通知プラン」の場合は利用できません。

8 「保存」 ボタンをクリックする。

ユーザーが登録されます。

【イベント発生メール】

メール受信の設定をしておく、イベントが発生したときに以下のようなメールが送信されます。



① 件名

イベント名とイベントが発生した機器名称が表示されます。

② 発生日時

イベントが発生した日時が表示されます。

③ 組織名称

イベントが発生したタウンレコーダーの所属する組織の名称が表示されます。

④ 機器名称

イベントが発生したタウンレコーダーの名称が表示されます。

⑤ イベント内容

イベントの内容が表示されます。

⑥ URL

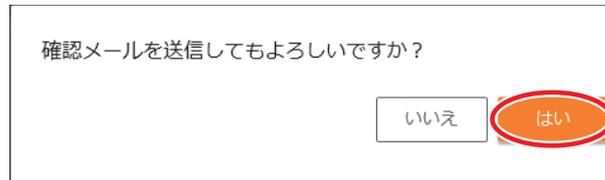
タウンレコーダー遠隔見守りサービスの URL が表示されます。

[メールの送信確認]

登録したユーザーにテストメールを送信することができます。

1 「管理設定」をクリックし、「ユーザー管理」をクリックする。(P. 61)
ユーザー管理画面が表示されます。(P. 62)

2 メールを送信確認をしたいユーザーの行の「送信」をクリックする。
メール送信の確認画面が表示されます。



確認メールを送信してもよろしいですか？

3
クリックする

3 「はい」をクリックする。
メールが送信されます。

ご注意

メールアドレスを変更することはできません。メールアドレスに誤りがあった場合は、再度ユーザーを登録しなおしてください。

[ユーザーの削除]

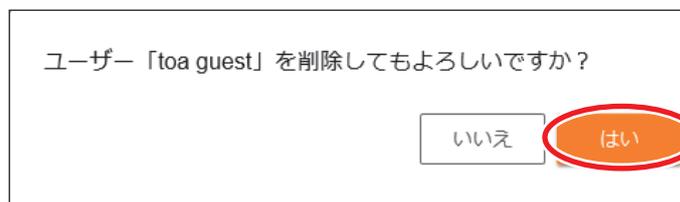
登録した一般ユーザーを削除することができます。

ご注意

ユーザー管理者のみ操作できます。

1 「管理設定」をクリックし、「ユーザー管理」をクリックする。(P. 61)
ユーザー管理画面が表示されます。(P. 62)

2 ユーザー管理画面で削除するユーザーの行で「削除」をクリックする。
ユーザー削除の確認画面が表示されます。



ユーザー「toa guest」を削除してもよろしいですか？

3
クリックする

3 「はい」をクリックする。
ユーザーが削除されます。

メモ

削除されたユーザーがすでに本サービスにログイン中の場合、Web ページを移動すると自動でログイン画面に移動し、その後ログインできなくなります。

[パスワードの変更]

ログイン時のパスワードを変更できます。

ユーザー管理者の場合：自身と一般ユーザーのパスワードを変更できます。

一般ユーザーの場合：自身のパスワードを変更できます。

1 「管理設定」をクリックし、「ユーザー管理」をクリックする。(P.61)

ユーザー管理画面が表示されます。(P.62)

2 ユーザー管理画面でパスワードを変更するユーザーの行の「変更」をクリックする。

3 新しいパスワードを入力し、確認のために新しいパスワードをもう一度入力する。

パスワードは8文字以上、32文字以内の半角英数字を組み合わせで設定してください。

メモ

以下の半角記号も使用可能です。

!“#\$%&’()*+-.,:;<=>?@[\\]^_`{|}~

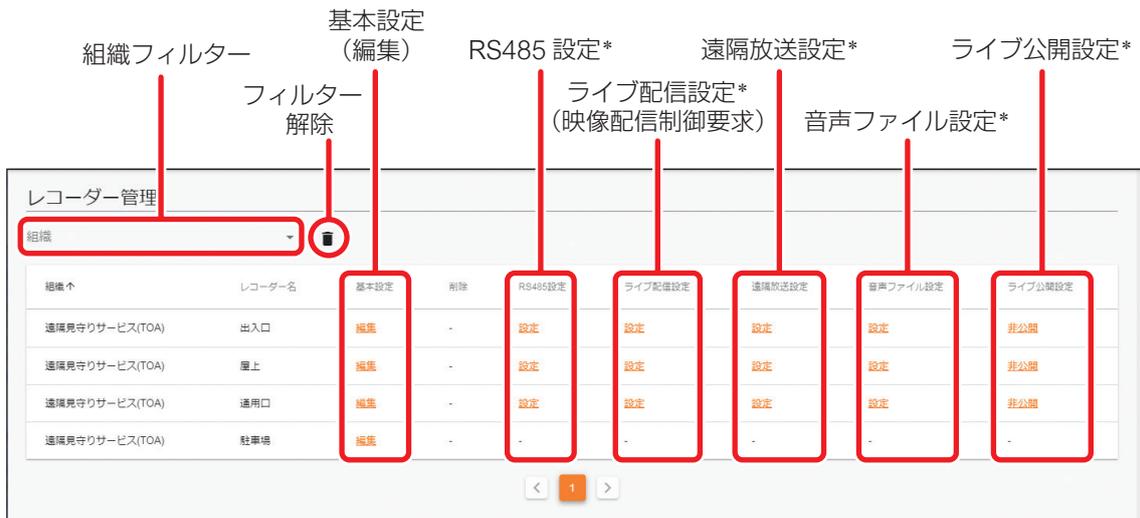
4 「変更する」をクリックする。

パスワードが変更され、パスワード変更完了のメールが送信されます。

The screenshot shows a form titled "パスワード変更" (Change Password). It contains two input fields: "新しいパスワード" (New Password) and "パスワードの確認入力" (Confirm Password). Both fields are filled with dots. A red box highlights these two fields, with a large "3" and the text "入力する" (Enter) next to it. At the bottom right, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) and "変更する" (Change). The "変更する" button is highlighted with a red circle, and a large "4" with the text "クリックする" (Click) is next to it.

● レコーダー管理

レコーダー管理画面では、機器に関する設定変更や設定確認を行うことができます。



* ご契約プランが「メール通知プラン」、「メール通知プラン LTE」、または「ダウンロードプランワイド」の場合は利用できません。

【機器の基本設定を行う】

1 「管理設定」をクリックし、「レコーダー管理」をクリックする。(P. 61)

レコーダー管理画面が表示されます。

2 設定したい機器の基本設定で「編集」をクリックする。

レコーダー更新画面が表示されます。



—：設定値の確認のみ可能

項目	選択項目 (下線は初期設定)	説明
基本	組織	機器が登録されている組織名が表示されます。
	タイプ	本サービス上で機器を管理するための情報が表示されます。
	Device ID	機器の個体識別 ID が表示されます。

項目		選択項目 (下線は初期設定)	説明
基本	レコーダー名	<u>GR+ 个体識別番号</u>	本サービス上で表示するタウンレコーダーの名称を設定します。 半角 31 文字以下または全角 15 文字まで設定可能です。 ご注意 以下の半角文字およびスペース（半角、全角）は設定できません。 . , " / ; : = ? < > * & ~ ' %
	契約プラン	—	ご契約のプラン名が表示されます。
	SIM データ容量 (GB)	—	当月に使用できる通信の容量を表示します。 使用できる通信の容量を表示します。 メモ メール通知プランまたはメール通知プラン LTE では表示されません。
	電話番号	—	SIM カードに設定されている電話番号が表示されます。 メモ メール通知プランまたはメール通知プラン LTE では表示されません。
アイコン位置座標		—	機器のアイコンが配置されている位置が表示されています。
接点	入力名称 1 ~ 3 * ¹	<u>接点入力 1</u> / <u>接点入力 2</u> / <u>接点入力 3</u>	機器の接点入力に任意の名称を設定します。 32 文字まで設定可能です。
	出力名称 1 ~ 3 * ²	<u>接点出力 1</u> / <u>接点出力 2</u> / <u>接点出力 3</u>	機器の接点出力に任意の名称を設定します。 32 文字まで設定可能です。

*¹ ここで設定した接点入力の名称は、タウンレコーダーの接点入力が入オン/オフしたときに、ログメニューや機器状態メニューに表示される名称です。イベントが発生した時点で設定されている名称で表示されます。

*² ここで設定した接点出力の名称は、詳細画面に表示される接点出力の名称、および、接点出力が入オン/オフしたときに、ログメニューや機器状態メニューに表示される名称です。イベントが発生した時点で設定されている名称で表示されます。

[RS485 のコマンドを設定する]

機器制御画面で、RS485 コマンドを送信するための設定を行います。

1 「管理設定」をクリックし、「レコーダー管理」をクリックする。(P. 61)
レコーダー管理画面が表示されます。(P. 69)

2 設定したい機器の RS485 設定で「設定」をクリックする。

レコーダー管理				
組織				
組織名	レコーダー名	基本設定	削除	RS485設定
通隔見守りサービス(TOA)	出入口	編集	-	設定
通隔見守りサービス(TOA)	屋上	編集	-	設定

2 クリックする

3 番号のプルダウンメニューから、コマンドとして登録する番号を選択する。

メモ

最大 256 コマンド登録できます。

出入口 - RS485設定	
番号 1	信号内容
▼	

3 選択する

キャンセル 保存

4 名称欄、信号内容欄に任意の文字を入力する。

信号内容は 16 進数表記で入力します。

[例] 以下のような信号を送信したい場合
データヘッダー：0x02
送信データ : 0x05 0xAB 0xCD
ターミネーター：0xFF

信号内容欄には「0205ABCDFE」と入力します。

メモ

名称は 32 文字まで設定できます。

ご注意

信号内容は 2 文字単位 (1 Byte 単位) で入力してください。

2 文字単位で入力しないと、末尾の 1 文字は送信されません。

[例] 信号内容欄に「1234567」と入力した場合、「7」は送信されません。

4 入力する

出入口 - RS485設定	
番号 1	信号内容
▼	
名称 水門1開ける	0205ABCDFE

キャンセル 保存 **5** クリックする

5 「保存」をクリックする。

[RS485 の入力表示を設定する]

タウンレコーダーに対して RS485 で信号が入力された場合の表示設定を行います。

1 「管理設定」 をクリックし、「レコーダー管理」 をクリックする。(P. 61)
レコーダー管理画面が表示されます。(P. 69)

2 設定したい機器の RS485 設定で「設定」 をクリックする。
入力表示設定画面が表示されます。

機器番号	機器名称	表示単位	登録更新削除
1	RS-485入力1	目盛り	登録
2	RS-485入力2	目盛り	登録

3 入力する

3 「機器名称」、「表示単位」 を設定する。
RS485 入りに任意の名称を設定します。

× モ

32 文字まで設定できます。

4 「登録」 をクリックする。

× モ

登録後は「更新」と「削除」のボタンが表示されます。
クリックすると、登録内容の更新や削除ができます。

【ライブ映像配信の設定をする】

ライブ設定画面では、機器からクラウドサーバーに配信するライブ映像に関する設定を行います。

1 「管理設定」をクリックし、「レコーダー管理」をクリックする。(P.61)

レコーダー管理画面が表示されます。(P.69)

2 設定したい機器のライブ配信設定で「設定」をクリックする。

映像配信制御要求設定画面が表示されます。

項目	選択項目 (下線は初期設定)	説明
配信時間	設定 OFF (無制限) / 1分 / 3分 / 5分 / 10分 / 30分	ライブ映像の配信時間の設定を行います。 ライブ映像の配信を開始して、設定した時間が経過すると、自動でライブ配信が停止します。
画像サイズ	HD (720p) / <u>HVGAW (360p)</u> / HQVGAW (180p)	ライブ映像の画像サイズの設定をします。
画質	中 / 低	ライブ映像の画質の設定をします。
フレームレート	<u>1 fps</u> / 3 fps / 5 fps	ライブ映像のフレームレートの設定をします。

【ご注意】

- 契約プランごとに選択できる設定値と初期値が異なります。詳細は、P.73「ライブ配信時間設定一覧」、P.74「ライブ映像設定一覧」を参照してください。
- 契約プランによっては、月間の通信容量が一定値を超えた場合、通信制限により自動的にライブ映像の設定が「画像サイズ：HQVGAW、フレームレート：1 fps、画質：低」に固定されます。ただし、翌月1日になれば通信制限は解除されます。

【ライブ配信時間設定一覧】

※ 下線は初期設定です。

設定項目	契約プラン					
	メール通知プラン / メール通知プラン LTE	ダウンロードプランワイド	拡声ライブプラン Light	拡声ライブプラン	拡声ライブプラン DL Light	拡声ライブプラン DL / 拡声ライブプラン DL ワイド
1分	×	×	×	×	○	○
3分	×	×	×	×	○	○
5分	×	×	<u>○</u>	×	<u>○</u>	<u>○</u>
10分	×	×	×	×	○	○
30分	×	×	×	×	○	○
無制限	×	×	×	<u>○</u>	×	○

[ライブ映像設定一覧]

※ 下線は初期設定です。

設定項目			ビットレート	契約プラン					
画像サイズ	画質	フレームレート		メール通知プラン/ メール通知プランLTE	ダウンロードプランワイド	拡声ライブプラン Light	拡声ライブプラン	拡声ライブプラン DL Light	拡声ライブプラン DL / 拡声ライブプラン DL ワイド
HD	中	5 fps	512 kbps	×	×	×	×	○	○
		3 fps	448 kbps	×	×	×	×	○	○
		1 fps	384 kbps	×	×	×	×	○	○
	低	5 fps	384 kbps	×	×	×	×	○	○
		3 fps	320 kbps	×	×	×	×	○	○
		1 fps	256 kbps	×	×	×	×	○	○
HVGAW	中	5 fps	256 kbps	×	×	×	×	○	○
		3 fps	192 kbps	×	×	×	×	○	○
		1 fps	128 kbps	×	×	<u>○</u>	<u>○</u>	<u>○</u>	<u>○</u>
	低	5 fps	128 kbps	×	×	○	○	○	○
		3 fps	128 kbps	×	×	×	×	○	○
		1 fps	128 kbps	×	×	×	×	○	○
HQVGAW	中	5 fps	72 kbps	×	×	○	○	○	○
		3 fps	72 kbps	×	×	×	×	○	○
		1 fps	64 kbps	×	×	×	×	○	○
	低	5 fps	64 kbps	×	×	×	×	○	○
		3 fps	64 kbps	×	×	×	×	○	○
		1 fps	64 kbps	×	×	×	×	○	○

[ライブ映像確認時の通信量目安]

ビットレート (kbps)	通信量 (MB)				
	1分	5分	10分	1時間	1日
512	4	19	38	225	5400
448	3	16	33	197	4725
384	3	14	28	169	4050
320	2	12	23	141	3375
256	2	9	19	113	2700
192	1	7	14	84	2025
128	1	5	9	56	1350
72	0.5	3	5	32	759
64	0.4	2	4	24	576

[遠隔放送の音質を設定する]

遠隔放送の音質の設定を行います。

1 「管理設定」をクリックし、「レコーダー管理」をクリックする。(P.61)

レコーダー管理画面が表示されます。(P.69)

2 設定したい機器の遠隔放送設定で「設定」をクリックする。

遠隔放送設定画面が表示されます。



ビットレート (音質)

項目	選択項目 (下線は初期設定)	説明
ビットレート(音質)	低 / <u>標準</u> / 高	遠隔放送の音質を設定します。 <input type="text" value="メモ"/> 通信状況によって音声の途切れが発生する場合があります。途切れが目立つ場合はビットレートを下げると改善することがあります。

[ライブ公開設定を変更する]

ライブ映像の公開設定を切り替えます。

公開 : 不特定多数のユーザーに映像を公開できる状態にします。

非公開 : 機器のライブ映像は本サービス上でのみ確認できます。

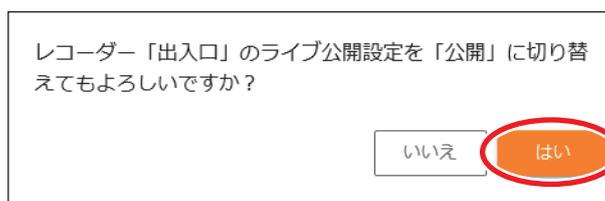
ライブ映像公開の詳細については弊社営業所にお問い合わせください。

1 「管理設定」をクリックし、「レコーダー管理」をクリックする。(P.61)

レコーダー管理画面が表示されます。(P.69)

2 ライブ公開設定を切り替えたい機器の「公開」または「非公開」をクリックする。

確認ダイアログが表示されます。



3 クリックする

3 「はい」をクリックする。

設定が切り替わります。

[音声ファイルの名称を設定する]

音声ファイルの名称の設定を行います。

1 「管理設定」 をクリックし、「レコーダー管理」 をクリックする。(P. 61)

レコーダー管理画面が表示されます。(P. 69)

2 設定したい機器の音声ファイル設定で「設定」 をクリックする。

音声ファイル設定画面が表示されます。



項目	説明
音声ファイルリスト	再生が可能な音声ファイルのリストを表示します。音声名称、ファイル名、ファイルサイズ、音声の長さが表示されます。
音声名称	音声ファイル再生メニューに表示される名称です。(P. 37)
音声名称の編集	音声名称を編集します。 メモ 音声名称は、最大 32 文字まで設定することができます。
音声ファイルリスト更新	タウンレコーダーに保存されている音声ファイルのリストを取得し、音声ファイルリストを最新の状態にします。

3 名称を変更したい音声ファイルの「音声名称の編集」 をクリックする。

「音声名称の編集」 が「音声名称の保存」 に変わり、音声名称が編集可能になります。



4 任意の名称を入力し、「音声名称の保存」 をクリックする。

音声ファイルの名称が設定されます。



[プログラム再生や時刻指定再生の設定を変更する]

遠隔操作で機器のプログラム再生と時刻指定再生の「オン」または「オフ」ができます。

1 「管理設定」をクリックし、「レコーダー管理」をクリックする。(P.61)

レコーダー管理画面が表示されます。(P.69)

2 設定したい機器の音声ファイル設定で「設定」をクリックする。

音声ファイル設定画面が表示されます。



3 設定したい機能の「オン」または「オフ」を選択し、「保存」ボタンをクリックする。

機器の設定が変更されます。

ご注意

各機能の有効化または無効化の設定変更のみ実行可能です。実際に動作させるためには機器側の設定が必要です。設定方法は、タウンレコーダーの設定・操作説明書*をご覧ください。

* TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download/>) で「G-R310-1」または「G-R311-1」を検索し、検索先からご確認ください。

● 放送グループ管理

放送グループ管理画面では、放送グループの一覧表示および放送グループに登録されている機器を確認できます。また、放送グループの登録を行うことができます。

メモ

- 放送グループは登録後に内容を編集することができません。変更したいときは、放送グループを作成し直してください。
- ご契約プランが「メール通知プラン」、「メール通知プランLTE」、または「ダウンロードプランワイド」の場合は利用できません。



[放送グループを登録する]

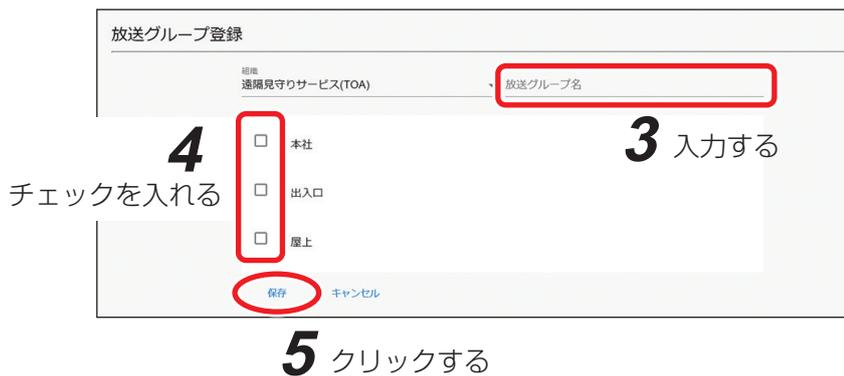
音声を一齐放送するグループを設定できます。
グループは、組織ごとに 64 グループまで設定できます。

1 「管理設定」をクリックし、「放送グループ管理」をクリックする。(P.61)

放送グループ管理画面が表示されます。

2 放送グループ管理画面で「登録」をクリックする。

放送グループ登録画面が表示されます。



3 グループ名称を設定する。

メモ

32 文字まで入力できます。

4 グループに追加する機器のチェックボックスにチェックを入れる。

メモ

1 グループに登録できる機器台数は最大 32 台です。

5 「保存」をクリックする。

【放送グループに登録されている機器を確認する】

1 「管理設定」をクリックし、「放送グループ管理」をクリックする。(P.61)

放送グループ管理画面が表示されます。



2 放送グループ管理画面で、登録されている機器を確認したい放送グループの「詳細」をクリックする。

放送グループ詳細画面が表示されます。

「戻る」ボタンをクリックすると、放送グループ管理画面に戻ります。

【放送グループを削除する】

放送グループに登録されている機器を確認し、放送グループを削除します。

1 「管理設定」をクリックし、「放送グループ管理」をクリックする。(P.61)

放送グループ管理画面が表示されます。

2 放送グループ管理画面で削除したい放送グループの「削除」をクリックする。

確認ダイアログが表示されます。



3 「はい」をクリックする。

グループが削除されます。

● SIM データ管理グループ管理

SIM データ管理グループ管理画面では、SIM データ管理グループのデータ利用量やデータ容量、利用履歴などの確認ができます。

メモ

ご契約プランが「ダウンロードプランワイド」または「拡声ライブプラン DL ワイド」の場合に利用できます。

1 「管理設定」をクリックし、「SIM データ管理グループ管理」をクリックする。(P.61)

SIM データ管理グループ管理画面が表示されます。

メモ

「ダウンロード」をクリックすると、表示されているすべてのSIM データ管理グループの利用履歴をCSV形式でダウンロードできます。



2 確認したいSIM データ管理グループの「詳細」をクリックする。

SIM データ管理グループの詳細画面が表示されます。

メモ

「ダウンロード」をクリックすると、SIM データ管理グループの利用履歴をCSV形式でダウンロードできます。



項目	説明
年月	最大3カ月分の利用した年月を表示します。
SIM データ利用量	SIM データ管理グループに所属する機器が利用した SIM データ利用量の合計を表示します。
ダウンロード回数	SIM データ管理グループに所属する機器に対して実施された遠隔ダウンロードの合計回数を表示します。
SIM データ繰り越し量	前月から繰り越された SIM データの量を表示します。 ご注意 「データチャージ 10 GB オプション*」で追加された SIM データ量を繰り越すことができます。
SIM データ追加量	「データチャージ 10 GB オプション*」の追加された SIM データ量を表示します。

* ご契約プランが「ダウンロードプランワイド」または「拡声ライブプラン DL ワイド」の場合に利用できます。

● SIM データ容量の追加について

「データチャージ 10 GB オプション」のお申し込みで、SIM データ容量を追加することができます。
「データチャージ 10 GB オプション」はお申し込みからチャージ完了まで日数を要する場合がありますので、データ容量に余裕を持ってお申し込みください。
「データチャージ 10 GB オプション」で追加された SIM データ容量は使い切るまで繰り越して使用できます。詳細については販売店にお問い合わせください。または最寄りの営業所にご相談ください。

メモ

ご契約プランが「ダウンロードプランワイド」または「拡声ライブプラン DL ワイド」の場合に利用できます。

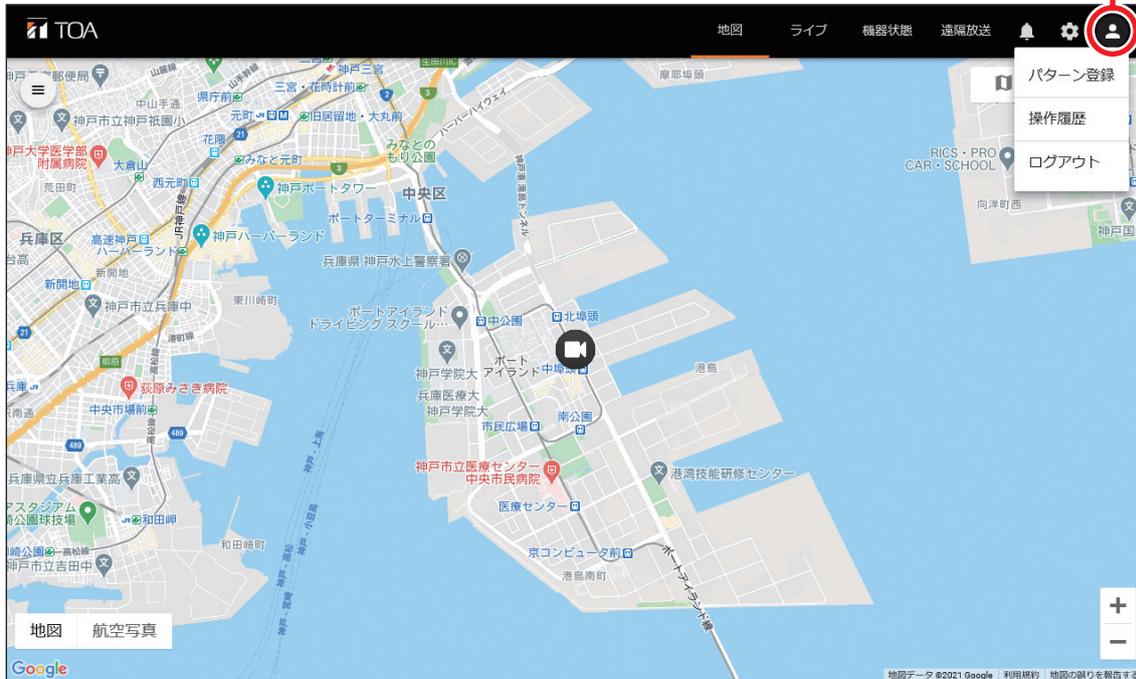
■ 個人設定

ログインしたユーザーに関する設定を行うことができます。

手順：「個人設定 」をクリックする。

設定項目が表示されます。

個人設定



※ Google および Google のロゴは Google LLC の登録商標であり、許可を得て使用しています。

項目	説明
パターン登録*	ライブ画面で複数機器のライブ映像を確認するときに設定します。
操作履歴	本サービスへログイン・ログアウトした履歴を表示します。 <input type="text" value="メモ"/> ユーザー管理者は一般ユーザーの操作履歴も確認できます。
ログアウト	本サービスからログアウトします。

* ご契約プランが「メール通知プラン」、「メール通知プラン LTE」、または「ダウンロードプランワイド」の場合は利用できません。

● パターン登録

パターン登録画面では、ライブ画面で多画面表示する際の表示パターンの設定・確認を行うことができます。

メモ

- ご契約プランが「メール通知プラン」、「メール通知プランLTE」、または「ダウンロードプランワイド」の場合は利用できません。
- 各ユーザーごとに 32 パターンまで登録できます。

[パターンを新規登録する]

The screenshot shows the 'パターン登録' (Pattern Registration) screen. It features a form with the following elements: a 'パターン名称' (Pattern Name) input field (2), a selection for the number of screens (4画面 or 6画面) (3), a 2x2 grid of screen thumbnails (4), dropdown menus for '組織' (Organization) (5) and 'レコーダー' (Recorder) (6), and 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) buttons (7). Red boxes and numbers highlight these specific areas.

1 「個人設定」をクリックし、「パターン登録」を選択する。
パターン登録画面が表示されます。

2 パターン名称を入力する。

メモ

32文字まで入力できます。

3 分割数を選択する。

分割数は4画面または6画面から選択できます。

4 分割画面から、機器を登録したい画面をクリックする。
クリックした画面が橙色に強調表示されます。

5 「組織」のプルダウンメニューから、登録したい機器が所属する組織を選択する。

「レコーダー」のプルダウンメニューで、選択した組織に所属する機器が選択可能になります。

6 「レコーダー」のプルダウンメニューから、手順4で選択した画面に登録したい機器を選択する。

画面に機器が登録され、機器名称が表示されます。

7 「保存」をクリックする。



メモ

続けてパターンを登録する場合は、パターンの「×」をクリックし、手順 2 から行ってください。

【登録済みのパターンを変更する】

1 「個人設定」をクリックし、「パターン登録」を選択する。
パターン登録画面が表示されます。

2 変更したいパターンを選択する。

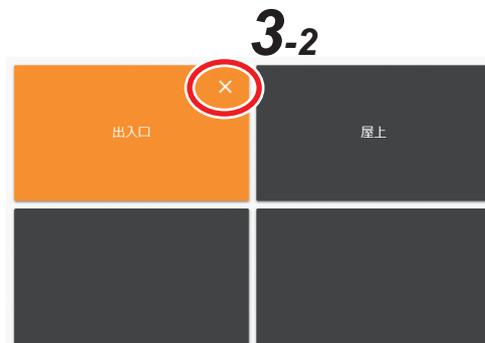
3 分割画面から、変更したい画面を選択する。

3-1 機器を追加登録する場合は、P. 83「パターンを新規登録する」の手順 4～6 に従い、機器の追加を行ってください。

メモ

分割数を変更することもできます。
分割数を選択したあと、同様に変更を行ってください。

3-2 登録されている機器をパターンから削除する場合は、選択中の画面右上の「×」をクリックしてください。



4 「保存」をクリックする。

[登録済みのパターンを削除する]



1 「個人設定」をクリックし、「パターン登録」を選択する。
パターン登録画面が表示されます。

2 削除したいパターンを選択する。

3 「削除」をクリックする。
確認ダイアログが表示されます。



4 「はい」をクリックする。
パターンが削除されます。

■ ログの種類

[機器からクラウドサーバーに送信されるログ]

表示内容	説明
起動	起動したときに表示されます。
シャットダウン	再起動したときに表示されます。
設定ファイルアップロード	設定ファイルのアップロードを行ったときに表示されます。
設定ファイルダウンロード	設定ファイルのダウンロードを行ったときに表示されます。
設定初期化	設定を初期化したときに表示されます。
日時のマニュアル変更	ユーザーの操作により日時を変更したときに表示されます。
設定変更	設定変更があったときに表示されます。
カメラ検出	タウンレコーダーに接続したカメラを検出したときに表示されます。
GR ダウンローダーログイン (MAC Address)	無線 LAN を使用して、GR ダウンローダーでログインしたときに表示されます。また、ログインを行ったパソコンの MAC アドレスが表示されます。
GR ダウンローダーログイン LTE	LTE 経由で GR 遠隔ダウンローダーからタウンレコーダーにログインしたときに表示されます。
録画データダウンロード	無線 LAN 経由で録画データのダウンロードを行ったときに表示されます。
録画データダウンロード LTE (ログイン ID)	LTE 回線を使用して、録画データのダウンロードを行ったときに表示されます。また、ダウンロードを行ったユーザーのログイン ID が表示されます。
録画データプレビュー	無線 LAN 経由で録画データのプレビューを行ったときに表示されます。
録画データプレビュー LTE (ログイン ID)	LTE 回線を使用して、録画データのプレビューを行ったときに表示されます。また、プレビューを行ったユーザーのログイン ID が表示されます。
録画開始	内蔵 SSD への録画を開始したときに表示されます。
録画停止	内蔵 SSD への録画を停止したときに表示されます。
録画全消去開始	内蔵 SSD の録画データの全消去を開始したときに表示されます。
録画全消去終了	内蔵 SSD の録画データの全消去が完了したときに表示されます。
SD カード録画開始	SD カードへの録画を開始したときに表示されます。
SD カード録画停止	SD カードへの録画を停止したときに表示されます。
SD カードフォーマット*1	SD カードのフォーマットに成功したときに表示されます。
SD カード認識	SD カードを挿入して、タウンレコーダーで認識したときに表示されます。SD カードの容量をあわせて表示します。
SD カード取り出し	SD カードを取り出したときに表示されます。
ファイルアップロード (ファイル名称)	タウンレコーダーに音声ファイルをアップロードしたときに表示されます。
ファイルダウンロード (ファイル名称)	タウンレコーダーが音声ファイルをダウンロードしたときに表示されます。
ファイル削除 (ファイル名称)	タウンレコーダーの音声ファイルを削除したときに表示されます。
音声ファイル全削除	音声ファイルの全削除を行ったときに表示されます。
VPN アプリダウンロード	VPN アプリをダウンロードしたときに表示されます。
VPN アプリダウンロード失敗	VPN アプリのダウンロードに失敗したときに表示されます。

表示内容	説明
無線 LAN 機能有効化	無線 LAN 機能を有効にしたときに表示されます。
無線 LAN 機能無効化	無線 LAN 機能を無効にしたときに表示されます。
無線 LAN 復旧	無線 LAN モジュールが異常状態から復旧したときに表示されます。
システムチェック再起動	内蔵 SSD 復旧のための再起動を行ったときに表示されます。
SSD チェック再起動	内蔵 SSD のフォーマットを行うための再起動を行ったときに表示されます。
SSD フォーマット*1	内蔵 SSD のフォーマットに成功したときに表示されます。
LTE モジュール再起動	LTE 通信モジュールの復旧のためにモジュールを再起動するときに表示されます。
LTE チェック再起動	LTE 通信モジュールの復旧のための再起動を行ったときに表示されます。
ファームウェアアップデート	ファームウェアのアップデートを行ったときに表示されます。
LTE モジュールファームウェアアップデート	LTE 通信モジュールのファームウェアのアップデートを行ったときに表示されます。
カメラファームウェアアップデート	タウンレコーダーに接続しているカメラのファームウェアのアップデートを行ったときに表示されます。
カメラマイコンファームウェアアップデート	タウンレコーダーに接続しているカメラのマイコンのファームウェアのアップデートを行ったときに表示されます。
カメラ切断検出	タウンレコーダーに接続しているカメラが異常状態のときにカメラを取り外した場合に表示されます。
カメラ再起動	タウンレコーダーに接続しているカメラの復旧のためにカメラを再起動したときに表示します。
オーバーヒート復旧	オーバーヒート状態から復旧したときに表示されます。
ファン復旧	冷却ファンが異常状態から復旧したときに表示されます。
設定ファイルアップロード失敗	設定ファイルのアップロードに失敗したときに表示されます。
ファームウェアアップデート失敗	ファームウェアのアップデートに失敗したときに表示されます。
RTC 異常	時刻を管理する RTC が異常のときに表示されます。
録画全消去失敗	内蔵 SSD の録画データの全消去に失敗したときに表示されます。
SSD フォーマット失敗	内蔵 SSD のフォーマットに失敗したときに表示されます。
SD カードフォーマット失敗	SD カードのフォーマットに失敗したときに表示されます。
SD カード認識失敗	SD カードの認識に失敗したときに表示されます。
ファイルアップロード失敗	タウンレコーダーへの音声ファイルのアップロードに失敗したときに表示されます。
ファイルダウンロード失敗	タウンレコーダーが音声ファイルのダウンロードに失敗したときに表示されます。
ファイル削除失敗 (ファイル名)	タウンレコーダーの音声ファイルの削除を失敗したときに表示されます。
音声ファイル全削除失敗	音声ファイルの全削除に失敗したときに表示されます。
SIM アクセスエラー	SIM カードにアクセスできなかったときに表示されます。
SIM 認識エラー	SIM カードの認識ができないときに表示されます。
LTE モジュール ファームウェアダウンロード失敗	LTE 通信モジュールのファームウェアのダウンロードに失敗したときに表示されます。
LTE モジュール ファームウェアアップデート失敗	LTE 通信モジュールのファームウェアのアップデートに失敗したときに表示されます。

表示内容	説明
ファームウェアダウンロード失敗	クラウドサーバーからタウンレコーダーのファームウェアのダウンロードに失敗したときに表示されます。
カメラファームウェアダウンロード失敗	クラウドサーバーからカメラのファームウェアのダウンロードに失敗したときに表示されます。
カメラマイコンファームウェアダウンロード失敗	クラウドサーバーからカメラのマイコンのファームウェアのダウンロードに失敗したときに表示されます。
クラウド映像配信情報未登録	クラウドサーバーにライブ映像を配信するための設定が行われていない状態で配信要求を受けたときに表示されます。
LTE 通信異常	LTE 通信に異常が発生したときに表示されます。
Sigfox モジュール再起動	Sigfox 通信モジュールの復旧のためにモジュールを再起動するときに表示されます。
Sigfox チェック再起動	Sigfox 通信モジュールの復旧のための再起動を行ったときに表示されます。
オーバーヒート* ²	機器内の温度が使用温度範囲を超えているときに表示されます。
オーバーヒート (ファン異常) * ²	機器内の温度が使用温度範囲を超え、また冷却ファンに異常が発生しているときに表示されます。
ファン異常	冷却ファンに異常が発生したときに表示されます。
無線 LAN 異常	無線 LAN モジュールに異常が発生したときに表示されます。
SSD 録画異常	内蔵 SSD への録画に異常が発生したときに表示されます。
SD カード録画異常	SD カードへの録画に異常が発生したときに表示されます。
SSD 異常	内蔵 SSD に異常が発生したときに表示されます。
SD カード異常	SD カードに異常が発生したときに表示されます。
LTE 異常	LTE 通信モジュールに異常が発生したときに表示されます。
カメラ異常	タウンレコーダーに接続しているカメラが異常状態になったときに表示されます。
LTE リフレッシュ	LTE 通信モジュールを定期再起動するときに表示されます。
Web アクセス (IP アドレス、ユーザー名)	Web 画面にアクセスがあったときに表示されます。
カメラストリーム <N> 受信開始 IP アドレス	カメラから映像ストリームの受信を開始したときに表示されます。 (<N> は 1 ~ 4 を表します。)
カメラストリーム <N> 受信停止 IP アドレス	カメラから映像ストリームの受信を停止したときに表示されます。 (<N> は 1 ~ 4 を表します。)
クラウド映像配信開始	クラウドサーバーに映像配信を開始したときに表示されます。
クラウド映像配信終了	クラウドサーバーへの映像配信を終了したときに表示されます。
DFS 発生	DFS が発生したときに表示されます。詳しくはタウンレコーダーの「設定・操作説明書」* ³ の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。
接点出力 <N> オン	接点出力がオンになったときに表示されます。 (<N> は 1 ~ 3 を表します。)
接点出力 <N> オフ	接点出力がオフになったときに表示されます。 (<N> は 1 ~ 3 を表します。)
接点入力 <N> オン	接点入力が入力されたときに表示されます。 (<N> は 1 ~ 3 を表します。)
接点入力 <N> オフ	接点入力が入力されなくなったときに表示されます。 (<N> は 1 ~ 3 を表します。)

表示内容	説明
RS485 コマンド送信	タウンレコーダーから外部機器に RS485 でデータを送信したときに表示されます。
音声ファイル再生 (ファイル名)	音声ファイルを再生したときに表示されます。
音声ファイル再生 (接点 <N>) (ファイル名)	接点連動機能によって音声ファイルを再生したときに表示されます。 (<N> は 1 ~ 3 を表します。)
音声ファイル再生 (プログラム <N>) (ファイル名)	プログラム再生機能によって音声ファイルを再生したときに表示されます。 (<N> は 1 ~ 3 を表します。)
音声ファイル再生 (時刻指定 <N>) (ファイル名)	時刻指定再生機能によって音声ファイルを再生したときに表示されます。 (<N> は 1 ~ 3 を表します。)
認証失敗(IP アドレス、ユーザー名)	Web 画面にアクセスする際の認証に失敗したときに表示されます。
カメラストリーム <N> 受信開始失敗 IP Address	カメラからの映像ストリームの受信開始に失敗したときに表示されます。 (<N> は 1 ~ 4 を表します。)
クラウド映像配信失敗	クラウドサーバーへの映像配信に失敗したときに表示されます。
RS485 コマンド送信失敗	タウンレコーダーから外部機器に RS485 でのデータの送信に失敗したときに表示されます。
音声ファイル再生失敗(ファイル名)	音声ファイルの再生に失敗したときに表示されます。
音声ファイル再生失敗 (接点 <N>) (ファイル名)	接点連動機能による音声ファイル再生に失敗したときに表示されます。 (<N> は 1 ~ 3 を表します。)
音声ファイル再生失敗 (プログラム <N>) (ファイル名)	プログラム再生機能による音声ファイル再生に失敗したときに表示されます。 (<N> は 1 ~ 3 を表します。)
音声ファイル再生失敗 (時刻指定 <N>) (ファイル名)	時刻指定再生機能による音声ファイル再生に失敗したときに表示されます。 (<N> は 1 ~ 3 を表します。)

*1 記録メディア (SSD または SD カード) にエラーが発生して録画が継続できない場合、タウンレコーダーは自動的にフォーマットを行い、自動復旧を試みます。

*2 オーバーヒート状態では、温度保護のため LTE 通信ができない場合があります。

*3 TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download/>) で「G-R211-1」、「G-R310-1」または「G-R311-1」を検索し、検索先からご確認ください。

【クラウドサーバーで発生するログ】

表示内容	説明
通信異常	通信異常が発生し、機器との通信が約 3 時間できなかったときに表示されます。
RS485 出力	RS485 出力を行ったときに表示されます。
外部機器データ受信通知	外部機器からタウンレコーダーの RS485 端子に入力されたデータを本サービスで受信したときに表示されます。

録画データをダウンロードする

遠隔ダウンロード機能を使用する場合は以下の準備が必要です。

1. VPN ソフトウェアをインストールする (P. 15)
2. VPN ソフトウェアにログインする (P. 16)
3. GR 遠隔ダウンローダーをインストールする (P. 21)

ご注意

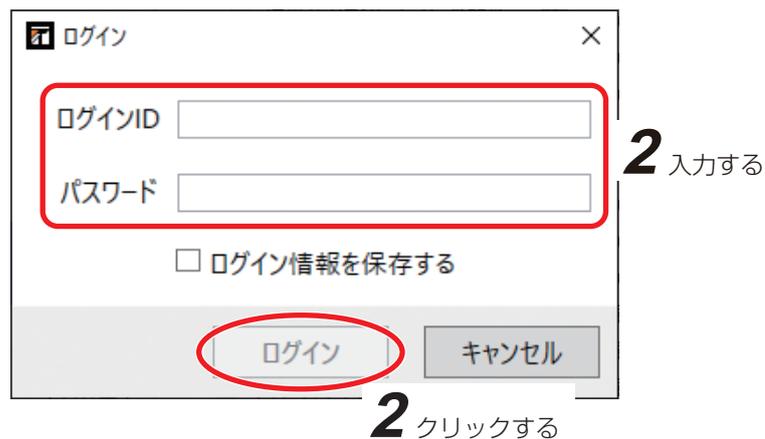
複数のパソコンで GR 遠隔ダウンローダーを使用する場合、同じタウンレコーダーに対して同時に遠隔ダウンロードを行わないでください。ダウンロードが開始できないことや、失敗することがあります。

メモ

- ご契約プランが「メール通知プラン」、「メール通知プラン LTE」、「拡声ライブプラン Light」、または「拡声ライブプラン」の場合は利用できません。
- 本機能を使用するには別途「コネクタユーザー ID」の申し込みが必要です。
- スマートフォンでは録画データをダウンロードできません。

■ GR 遠隔ダウンローダーの起動

- 1 パソコンのデスクトップにある GR 遠隔ダウンローダーのアイコンをダブルクリックする。
ログイン画面が表示されます。



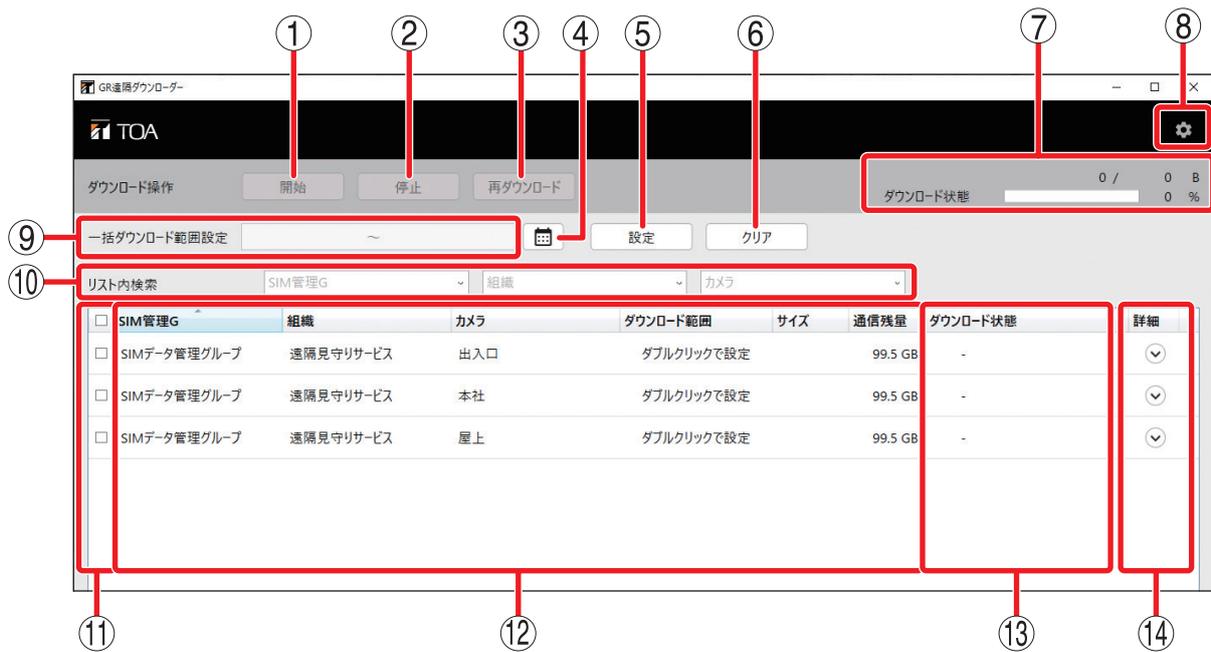
- 2 ログイン ID、パスワードを入力し、「ログイン」をクリックする。

GR 遠隔ダウンローダーのメイン画面が表示されます。

メモ

ログイン ID、パスワードは遠隔見守りサービスのログイン ID、パスワードと同じです。(P. 14 「遠隔見守りサービスにログインする」)

■ GR 遠隔ダウンローダーメイン画面



- ① ダウンロード開始 : チェックボックスにチェックを入れた機器の録画データのダウンロードを開始します。
- ② ダウンロード停止 : チェックボックスにチェックを入れた機器の録画データのダウンロードを停止します。
- ③ 再ダウンロード : ダウンロード完了している機器の中で、ダウンロードに失敗した録画データのみダウンロードを開始します。(参照 P. 100「録画データの再ダウンロード」)
- ④ カレンダー : 一括でダウンロードする範囲を設定します。
クリックするとダウンロード範囲設定画面が表示されて、開始日時と終了日時を設定できます。時刻は5分単位で選択できます。
- ⑤ 設定 : チェックボックスにチェックが入った機器に対してダウンロード範囲を設定します。
- ⑥ クリア : チェックボックスにチェックが入った機器に対してダウンロード範囲を初期状態に戻します。(参照 P. 99「ダウンロード範囲のクリア」)
[X] [モ]
ダウンロード状態の表示も初期状態に戻ります。
- ⑦ ダウンロード状態 (全体) : すべての録画データダウンロードの状況を表示します。
- ⑧ 設定メニュー : クリックすると設定メニューが表示されます。
全体設定 : ダウンロードの設定を行います。クリックすると全体設定画面が開きます。(参照 P. 93「ダウンロードの設定」)
ログ表示 : GR 遠隔ダウンローダーの操作履歴を表示します。クリックするとログ表示画面が開きます。(参照 P. 106「ログ表示」)
バージョン表示 : GR 遠隔ダウンローダーのバージョン情報を表示します。クリックするとバージョン表示画面が開きます。
ログアウト : ログアウト後、GR 遠隔ダウンローダーのメイン画面が閉じられます。
- ⑨ ダウンロード範囲 : ④ カレンダーで設定したダウンロード範囲を表示します。
- ⑩ リスト内検索 : 条件に合う機器を選んで機器リストに表示することができます。
- ⑪ チェックボックス : 操作対象の機器を指定します。クリックするとチェックが入ります。
- ⑫ 機器リスト : 録画データをダウンロードできる機器の情報をリスト表示します。各機器をダブルクリックすると、ダウンロード範囲設定画面が開きます。
- ⑬ ダウンロード状態 : 各機器の録画データダウンロードの状況を表示します。
- ⑭ 詳細 : クリックした機器の詳細を表示します。

■ ダウンロードの設定

録画データのダウンロードに関する設定を行うことができます。設定はダウンロードするすべての録画データに適用されます。

メイン画面の「設定メニュー」をクリックして設定メニューを開き、「全体設定」をクリックすると全体設定画面が表示されます。

[全体設定画面]

全体設定

保存ファイル形式： 実行形式(.exe) 録画データ(.txv)

同時ダウンロード台数：

保存先：

項目	選択項目 (下線は初期設定)	説明
保存ファイル形式	<u>実行形式(.exe)</u> / 録画データ (.txv)	保存するファイル形式を選択します。 実行形式：録画データと GR プレーヤーを含んだ録画ファイルに変換して保存します。ファイル単独で再生できます。 録画データ：録画データ (.txv) をそのまま保存します。保存した録画データは GR ダウンローダーで録画ファイルに変換できます。 ※ 詳細は、タウンレコーダーの設定・操作説明書「SDカードの録画映像のデータ形式を変換する」をご覧ください。
最大同時ダウンロード台数	1 ~ <u>5</u> ~ 10	同時にダウンロードする機器の台数の上限を設定します。
保存先	—	ファイルを保存するフォルダーを設定します。

ご注意

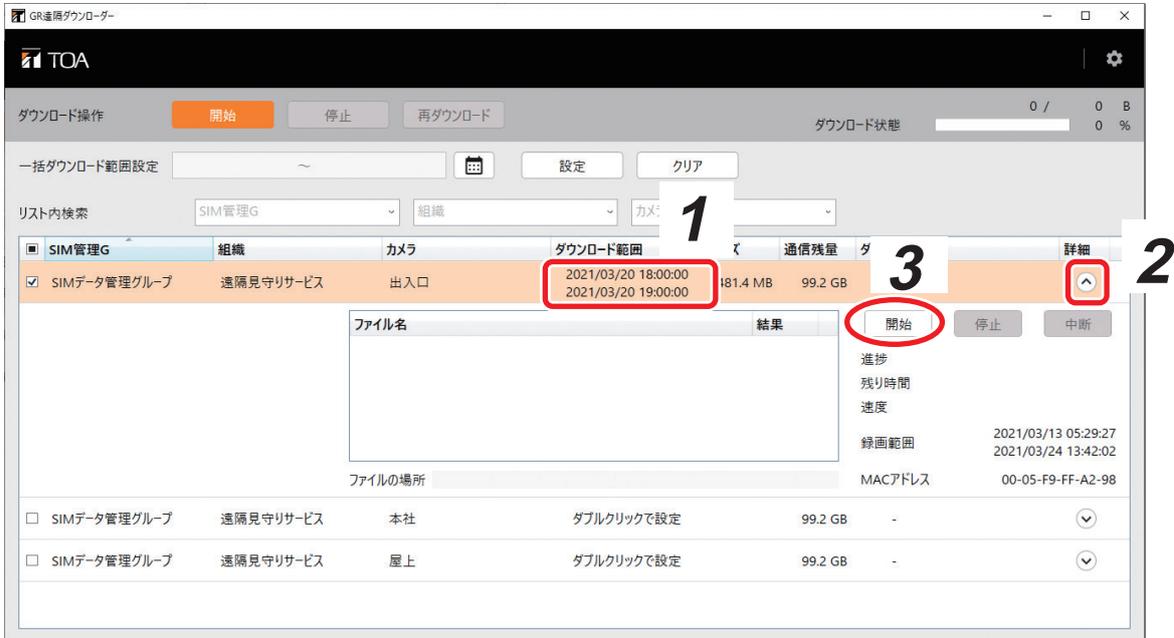
録画データのダウンロード中にダウンロードの設定を変更することはできません。

■ 録画データの個別ダウンロード

ダウンロード範囲を設定し、機器の録画データをダウンロードします。

ご注意

通信残量を超えるサイズの録画データのダウンロードはできません。



1 ダウンロードしたい機器のダウンロード範囲部をダブルクリックして、ダウンロード範囲を設定する。

ダウンロード範囲の設定のしかたは P. 95「ダウンロード範囲を設定する」を参照してください。

2 「詳細」 ボタンをクリックする。

機器の詳細が表示されます。

3 「開始」 ボタンをクリックする。

録画データのダウンロードが開始されます。

メモ

ダウンロードしたい機器上で右クリックして表示されるメニューからも実行できます。

● ダウンロード範囲を設定する

録画されている期間を確認し、ダウンロード範囲を設定することができます。
また、個別ダウンロードの場合はダウンロード前にプレビュー再生ができます。
以下は個別ダウンロード範囲設定の画面です。



- ① カレンダー : 当月のカレンダーが表示されます。
録画データがあるところは、日付の背景が青色で表示されます。
背景が白色または水色の日付は、録画データがないことを示します。
青色：この日に録画データがある
水色：この日に録画データはないが、この日より前に録画データがある
白色：録画データはない
- ② 録画日時 : 機器に保存されている一番古い録画日時と一番新しい録画日時を表示します。
- ③ 開始日時 : ダウンロードまたはプレビュー再生する範囲の開始日時を入力します。
カレンダーアイコン  をクリックするとカレンダーが表示されて、日付を選択できます。時刻は5分単位で選択できます。
- ④ 終了日時 : ダウンロードまたはプレビュー再生する範囲の終了日時を入力します。
入力方法は開始日時と同様です。
- ⑤ 予定ダウンロード総容量* : ダウンロードするファイルサイズが表示されます。
- ⑥ プレビュー再生* : 設定した期間の映像を再生します。(ファイルの保存は行いません。)
- ⑦ 設定 : ダウンロード範囲を設定し、メイン画面に戻ります。
- ⑧ キャンセル : 設定を反映せずにメイン画面に戻ります。

* 一括ダウンロード範囲設定画面では表示されません。

1 開始日時、終了時刻を入力する。

時刻は5分単位で設定できます。

2 「設定」をクリックする。

ダウンロード範囲を設定し、メイン画面に戻ります。



● ダウンロードする映像を確認する（プレビュー再生）

個別でダウンロードをする場合は、ダウンロードする前に映像を確認できます。

ダウンロードする映像の確認は、ダウンロード範囲設定画面（P. 95）で行うことができますので、ダウンロードする期間を決める目安として使用してください。

ダウンロードする期間が決まっている場合は、プレビュー再生する必要はありません。

× モ

プレビュー再生は、LTE 通信を利用してタウンレコーダーから映像データを取得しながら再生する機能です。録画の設定やご利用の通信環境によっては、日時検索や早送りなどの操作を行ったときに映像をスムーズに再生するまでに時間がかかることがあります。

1 開始日時、終了時刻を入力する。

時刻は5分単位で設定できます。

2 「プレビュー再生」をクリックする。

ダウンロード範囲設定

1 入力する

開始 2019年8月2日 15 17 時 35 分

終了 2019年8月2日 15 17 時 40 分

1 2 3 4 5 6 7

2019/07/21 22:37:07 ~ 2019/08/02 18:33:29

予定ダウンロード総容量：0.00 MB

2 クリックする

プレビュー再生 設定 キャンセル

【録画データに再生パスワードが設定されていないとき】

「しばらくお待ちください」と表示された後、GR プレーヤー（プレビュー再生）画面が立ち上がります。

【録画データに再生パスワードが設定されているとき】

「しばらくお待ちください」と表示された後、パスワード確認画面が表示されます。

GR GRプレーヤー(プレビュー再生) ×

この録画データはパスワードで保護されています。
録画データのパスワードを入力してください。

パスワード:

再生 キャンセル

パスワードを入力し、「再生」をクリックすると、GR プレーヤー（プレビュー再生）画面が立ち上がります。

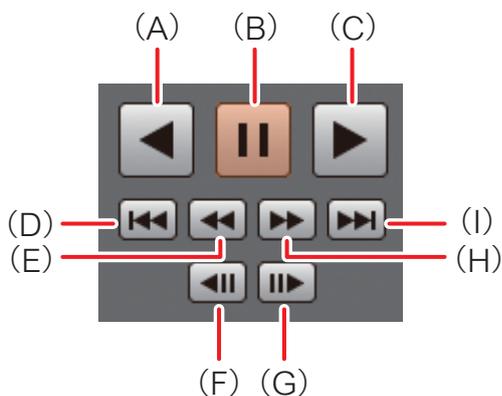
× モ

- プレビュー再生する録画データの期間内に複数の再生パスワードが設定されている場合は、プレビュー再生の進行に従って、変更ごとのパスワードの入力が要求されます。
- 再生パスワードの確認と設定については、タウンレコーダーの設定・操作説明書をご覧ください。

[GR プレーヤー (プレビュー再生) 画面]



- ① 機器名称 : 再生中の機器名称を表示します。
- ② 再生映像表示エリア : 再生映像を表示します。
- ③ 最古日時 : 範囲指定した期間の録画データで一番古い映像の日時を表示します。
- ④ 最新日時 : 範囲指定した期間の録画データで一番新しい映像の日時を表示します。
- ⑤ 印刷ボタン : 一時停止中の映像を印刷します。
- ⑥ スナップショットボタン : 一時停止中の映像を JPEG 形式で保存します。
- ⑦ 画質調整ボタン : 高画質用と通常用のフィルターを切り換えます。
再生時に被写体の輪郭がギザギザになることがあります。このようなときにはフィルターを「高画質」にすると目立たなくなる場合があります。ただし、使用するパソコンによっては滑らかに再生できない場合もあります。
- ⑧ アスペクト比調整ボタン : カメラの画角の画像回転を「90° (オン)」に設定している場合に、アスペクト比調整を「オン」に設定すると正しいアスペクト比で映像が表示されます。
- ⑨ 日時指定パネル : 検索したい日時を入力します。
- ⑩ 検索ボタン : 指定した日時以降で、一番近い日時の映像を表示します。
- ⑪ 全画面表示ボタン : 表示している映像を全画面で表示します。パソコンの Esc キーを押すと全画面表示を解除します。
画面を右クリックし、「全画面表示解除」を選択して解除することもできます。
- ⑫ 再生制御ボタン : 一時停止、再生、逆再生、早送り、早戻し、コマ送り、コマ戻し、頭出しなどの再生操作をします。



- (A) 逆再生します。
- (B) 再生を一時停止します。
- (C) 再生します。
- (D) 一番古い映像を表示します。
- (E) 早戻し再生をします。押すごとに逆再生速度が 2 倍 (× 2)、4 倍 (× 4)、8 倍 (× 8) と変化します。
- (F) コマ戻し再生をします。
- (G) コマ送り再生をします。
- (H) 早送り再生をします。押すごとに再生速度が 2 倍 (× 2)、4 倍 (× 4)、8 倍 (× 8) と変化します。
- (I) 録画データの一番新しい映像を表示します。

- ⑬ 再生日時 : 再生中の日付および時刻を表示します。
- ⑭ シークバー : クリックした位置の再生映像を表示します。
- ⑮ スライダー : ドラッグした位置の再生映像を表示します。

■ 録画データの一括ダウンロード

一括でダウンロード範囲を設定し、複数の機器の録画データをダウンロードします。

ご注意

通信残量を超えるサイズの録画データのダウンロードはできません。



1 一括ダウンロード範囲設定のカレンダーアイコンをクリックし、ダウンロードする範囲を設定する。

ダウンロード範囲の設定のしかたは [P. 95「ダウンロード範囲を設定する」](#) を参照してください。

2 メイン画面の機器リストで、録画データをダウンロードしたい機器のチェックボックスにチェックを入れる。

メモ

複数の機器の録画データを同時にダウンロードすることができます。

同時にダウンロードできる上限の設定については [P. 93「ダウンロードの設定」](#) を参照してください。

3 「設定」ボタンをクリックする。

メモ

ダウンロード範囲の設定をやりなおす場合は、再度手順**1**～**3**を行ってください。設定が上書きされます。

4 「開始」ボタンをクリックする。

ダウンロードしたい機器のチェックボックスにチェックが入っていることを確認してください。

ダウンロード状況はメイン画面のダウンロード状態（全体）や機器リスト、詳細で確認することができます。

■ ダウンロード範囲のクリア

機器のダウンロード範囲を初期状態に戻すことができます。

1 チェックを入れる

<input checked="" type="checkbox"/>	S	データ管理グループ	遠隔見守りサービス	出入口	2021/03/16 18:05:00 2021/03/16 19:05:00	99.5 GB	-	▼
-------------------------------------	---	-----------	-----------	-----	--	---------	---	---

1 メイン画面でダウンロード範囲をクリアしたい機器のチェックボックスにチェックを入れる。

2 クリックする



2 「ダウンロード範囲クリア」をクリックする。

ダウンロード範囲が初期状態に戻ります。

メモ

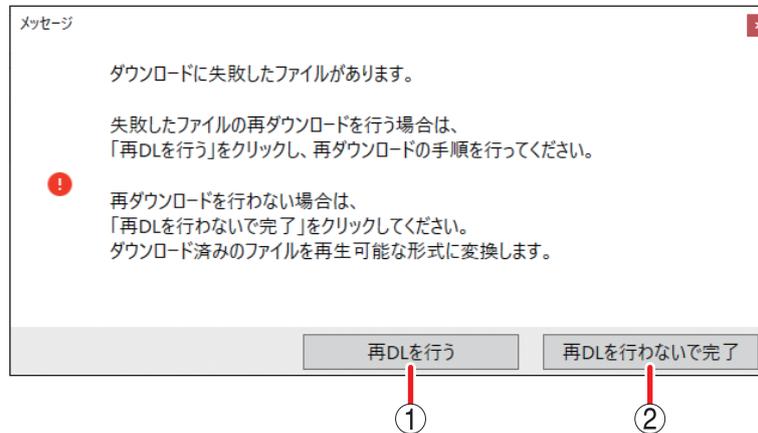
- ダウンロードしたい機器上で右クリックして表示されるメニューからも実行できます。
- ダウンロード状態の表示も初期状態に戻ります。

■ 録画データの再ダウンロード

録画データのダウンロード中に一時的に機器と通信できなくなったときに、一部の録画データのダウンロードに失敗することがあります。

その場合、失敗した録画データのみを再度ダウンロードすることができます。

一部の録画データのダウンロードに失敗しているときに、以下のダイアログが表示されます。一定時間経過するとダイアログは自動で閉じます。



① 再 DL を行う

ダウンロードに失敗した録画データの再ダウンロードを行う場合にクリックします。失敗した録画データがある場合、この時点では成功した録画データも再生できるファイル形式 (exe) に変換されていません。

P. 101「[ダウンロードに失敗した録画データを再ダウンロードする](#)」を行ってください。再ダウンロードが完了すると再生できるファイル形式に変換されます。

② 再 DL を行わないで完了

再ダウンロードを行わずにダウンロードを完了させる場合にクリックします。ダウンロードに成功した録画データのみ再生できるファイル形式 (exe) に変換します。

【注意】

- ダウンロードに失敗した録画データ部分は欠落した状態で再生されます。
- ファイル形式の変換後は再ダウンロードはできません。

● ダウンロードに失敗した録画データを再ダウンロードする

ダウンロード完了している機器の中で、ダウンロードに失敗した録画データのみダウンロードを開始します。

ご注意

- ダウンロード中の機器は再ダウンロードを実行することができません。ダウンロード完了後に実行してください。
- 機器の稼働状況や通信状況によっては、再ダウンロードをしても録画データをダウンロードできない場合があります。
- 再ダウンロードをしたい機器に以下の操作を行った場合、再ダウンロードを実行できなくなります。
 - ・ダウンロード範囲の設定
 - ・ダウンロード範囲のクリア
 - ・ダウンロード停止操作
 - ・アプリケーションの終了



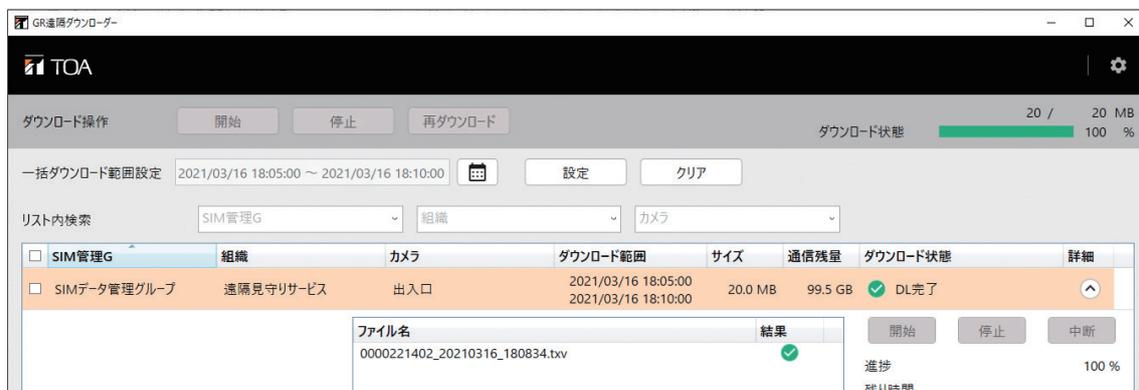
1 メイン画面の機器リストで、再ダウンロードしたい機器のチェックボックスにチェックを入れる。

2 「再ダウンロード」ボタンをクリックする。

再ダウンロードが開始されます。

再ダウンロード中は進捗バーが緑色で表示されます。

ダウンロードに成功すると結果に  が表示されます。



メモ

再ダウンロードしたい機器上で右クリックして表示されるメニューからも実行できます。

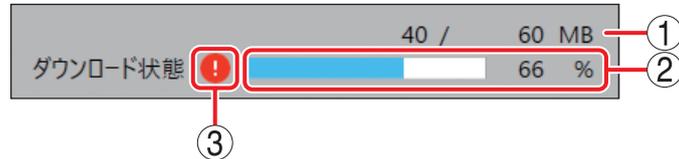
■ ダウンロード実行中の表示

ご注意

ダウンロード中は再起動や VPN 通信の切断を行わないでください。

【ダウンロード状態（全体）の見かた】

メイン画面上部のダウンロード状態（全体）で全体のダウンロード状況を確認できます。



- ① 総ダウンロード容量：ダウンロード対象のダウンロード済データ量／総データ量を表示します。
- ② 全体進捗バー：ダウンロード対象機器とダウンロード完了機器の台数の割合をパーセント（%）表示します。
- ③ 状態アイコン：ダウンロード状態をアイコンで表示します。

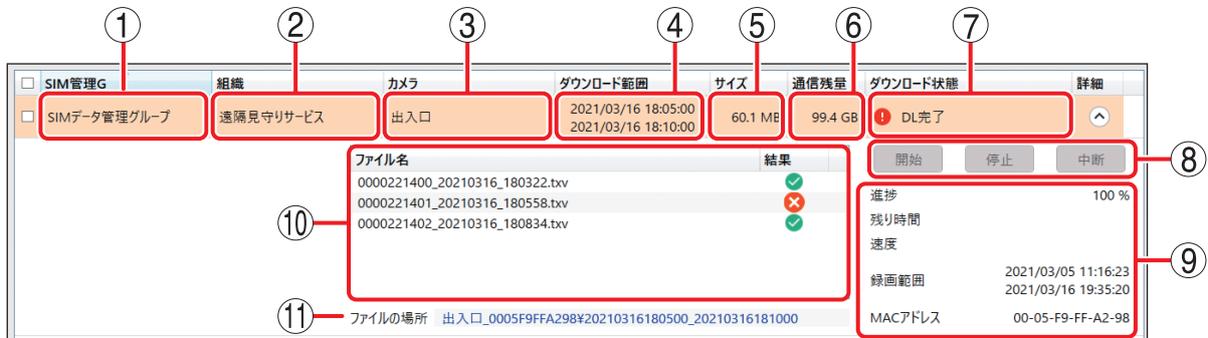
【機器のダウンロード状態の見かた】

メイン画面の機器リストで各機器のダウンロード状況を確認できます。

「詳細」をクリックすると、機器の詳細を表示できます。

ダウンロード状態の進捗バーはダウンロードサイズに対して、ダウンロードが完了した割合を表示します。

※ 再ダウンロード中は、進捗バーが緑色で表示されます。



- ① SIM データ管理グループ名
- ② 組織名
- ③ 機器名称
- ④ ダウンロード範囲
- ⑤ ダウンロードサイズ
- ⑥ 機器の通信残量
- ⑦ ダウンロード状態
- ⑧ ダウンロード操作部
 - ダウンロード開始
 - ダウンロード停止
 - ダウンロード中断／再開
- ⑨ ダウンロード詳細
 - ダウンロード進捗
 - ダウンロード残り時間
 - ダウンロードの速度
 - 録画範囲
 - 機器の MAC アドレス
- ⑩ ダウンロード結果
- ⑪ 保存先のパス

ご注意

ダウンロード残り時間は、録画データのサイズから見込み時間を算出しています。ただし、この時間はあくまでも目安であり、進捗表示が増減したり、0 秒のまましばらく続いたり、0 秒に到達しないで終了したりする場合があります。

● ダウンロードの中断と再開

録画データのダウンロードの中断、再開ができます。

ダウンロード操作部の「中断」ボタンをクリックすると、ダウンロードが一時的に中断されます。



メモ

機器リスト (P. 92) でダウンロード中の機器の行で右クリックし、「ダウンロード一時停止」をクリックしても一時的に中断できます。



「再開」ボタンをクリックすると、ダウンロードが再開されます。



メモ

機器リスト (P. 92) でダウンロード一時停止中の機器の行で右クリックし、「ダウンロード再開」をクリックしても再開できます。



ご注意

ダウンロードを中断しても、ダウンロード中のデータを保存するまで通信を行います。

● ダウンロードの停止

ダウンロードの停止ができます。

ダウンロードを停止したい機器のチェックボックスにチェックを入れ、 ボタンをクリックすると、ダウンロードが停止します。

ダウンロードを停止すると、ダウンロード中のデータは破棄されます。



メモ

- ダウンロード操作部の「停止」ボタンをクリックしてもダウンロードを停止できます。

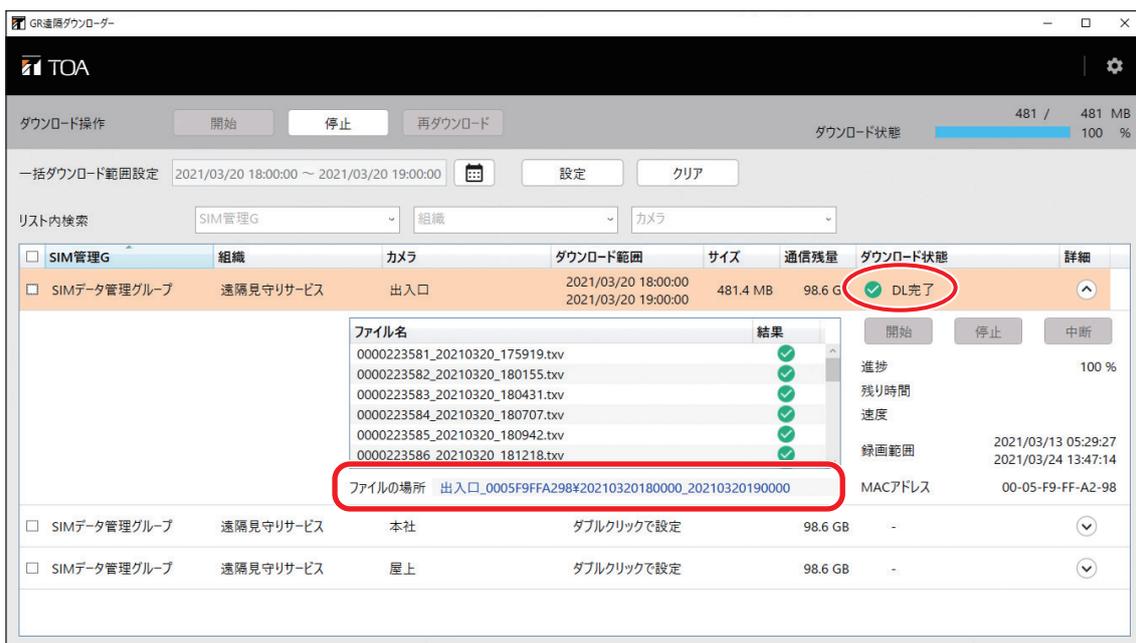


- ダウンロードを停止しても、停止した時点でダウンロード済みのデータは再生できます。

● ダウンロードの完了

ダウンロードが完了すると、機器一覧のダウンロード状態に「DL完了」と表示されます。

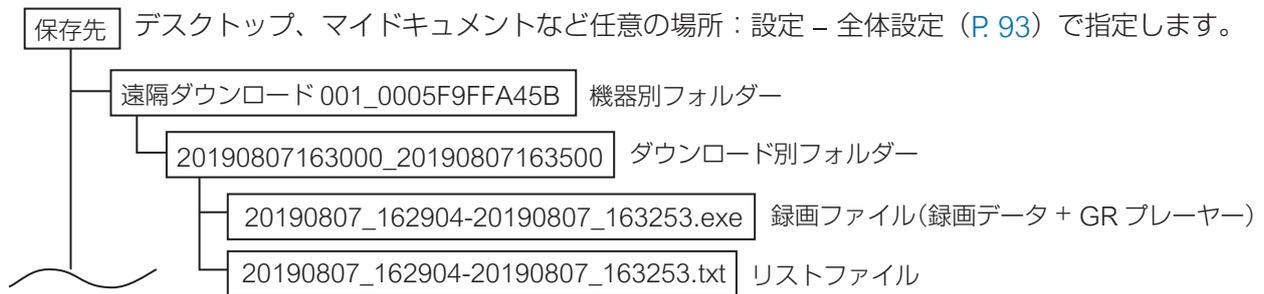
ファイルの場所をクリックすると録画データが保存されたフォルダーが開きます。



● ダウンロードしたデータ

録画データをダウンロードすると、保存先に設定したフォルダーに以下のフォルダーを生成し、録画データと GR プレーヤーを含んだ実行形式のファイルが保存されます。
本書では、この実行形式のファイルを録画ファイルと呼びます。

[フォルダー構成とファイル名]



機器別フォルダー : 機器別フォルダーの名称は自動で決定されます。
機器別フォルダー内には、ダウンロード別フォルダーが作成されます。
(機器別フォルダー名の例)

遠隔ダウンロード 001_0005F9FFA45B
(1) (2)

- (1) 機器名称を表します。
- (2) 機器の固定識別番号を表します。

ダウンロード別フォルダー : ダウンロード別フォルダーの名称は自動で決定されます。
ダウンロード別フォルダー内には、録画ファイルとリストファイルが保存されます。
(ダウンロード別フォルダー名の例)

20190807163000_20190807163500
(1) (2)

- (1) ダウンロード範囲指定の開始日時を表します。
- (2) ダウンロード範囲指定の終了日時を表します。

録画ファイル : 録画データに再生ソフトの GR プレーヤーを含んだ実行形式ファイルです。
アイコンをダブルクリックすると、録画映像を再生することができます。
ファイル名はファイルに含まれる録画データの先頭と末尾の日時を表します。
拡張子は ".exe" です。

(ファイル名の例)
20190807_162904-20190807_163253.exe
(1) (2) (3) (4)

- (1) ファイル先頭の年月日を表します。 例は、2019年8月7日を表します。
- (2) ファイル先頭の時分秒を表します。 例は、16時29分4秒を表します。
- (3) ファイル末尾の年月日を表します。 例は、2019年8月7日を表します。
- (4) ファイル末尾の時分秒を表します。 例は、16時32分53秒を表します。

リストファイル : ダウンロードの結果を保存したファイルです。

メモ

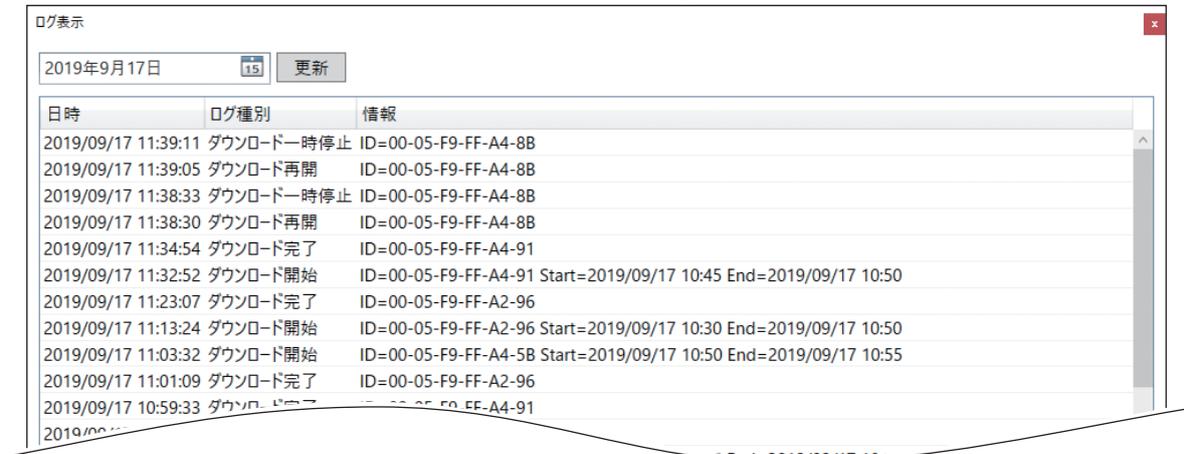
ダウンロードしたデータファイルとリストファイルは 3.9 GB ごとに分割されます。
ファイル名が同じになるものを保存する場合は、ファイル名末尾に (1) のように連番が付きます。

■ ログ表示

メイン画面の「設定メニュー」をクリックして設定メニューを開き、「ログ表示」をクリックするとログ表示画面が表示されます。

カレンダーアイコン  をクリックすると、カレンダーが表示されます。

ログを確認したい日付を選択し、「更新」ボタンをクリックすると、ログが表示されます。

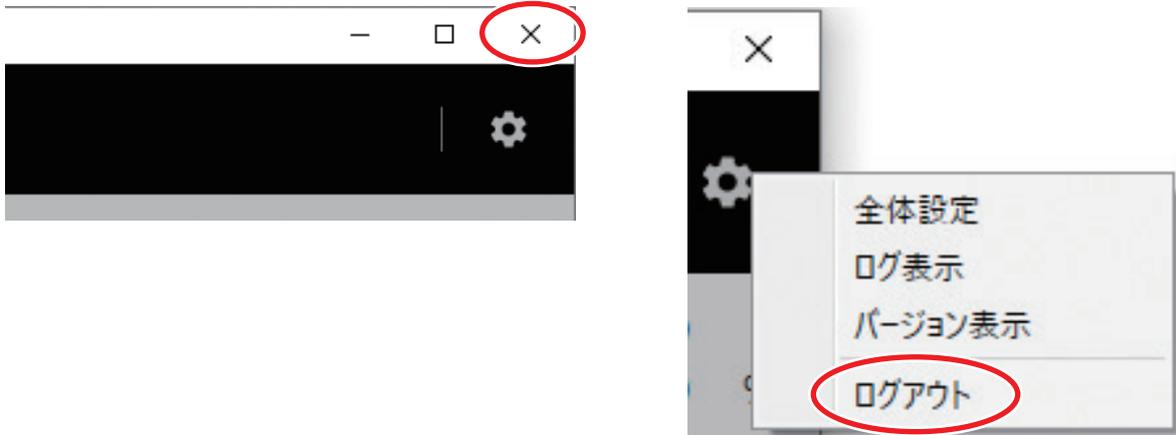


● ログの種類

表示内容	説明
アプリケーション開始	アプリケーションを起動したときに表示します。
アプリケーション終了	アプリケーションを終了したときに表示します。
ログイン成功	ログインに成功したときに表示します。 情報に「認証要求」または「組織情報要求」が表示されます。
ログイン失敗	ログインに失敗したときに表示します。 情報に「認証要求ログイン失敗」または「認証要求失敗」が表示されます。
ダウンロード開始	ダウンロードを開始したときに表示します。 情報にダウンロードを開始した機器の MAC アドレスとダウンロード範囲が表示されます。
ダウンロード停止	ダウンロードを停止したときに表示します。(録画ファイルをダウンロードしていない状態での停止) 情報にダウンロードを停止した機器の MAC アドレスが表示されます。
ダウンロード一時停止	ダウンロードを一時停止(中断)したときに表示します。 情報にダウンロードを一時停止した機器の MAC アドレスが表示されます。
ダウンロード再開	一時停止したダウンロードを再開したときに表示します。 情報にダウンロードを再開した機器の MAC アドレスが表示されます。
ダウンロード完了	ダウンロードを完了したときに表示します。 情報にダウンロードを完了した機器の MAC アドレスが表示されます。
ダウンロード失敗	ダウンロードを失敗したときに表示します。 情報にダウンロードを失敗した機器の MAC アドレスと付加情報が表示されます。
会社選択	会社選択画面で選択したときに表示します。 情報に会社名が表示されます。
トークン更新成功	認証サーバーからトークンの更新に成功したときに表示します。(トークンは一定時間ごとに更新が必要) 情報に「トークン更新要求」が表示されます。
トークン更新失敗	認証サーバーからのトークンの更新に失敗したときに表示します。 情報に「トークン更新要求ログイン失敗」または「トークン更新要求失敗」が表示されます。

■ GR 遠隔ダウンローダーの終了

手順：メイン画面の右上の「×」をクリックする、または、メイン画面の「設定」をクリックし、表示されるメニューから「ログアウト」をクリックする。



メモ

ダウンロード中または一時停止中のタウンレコーダーがある場合は、「アプリケーションの終了に失敗しましたダウンロードを停止してください」というメッセージが表示され、終了できません。

■ 録画データの再生

機器からパソコンにダウンロードした録画データの再生については、タウンレコーダーの設定・操作説明書をご覧ください。

■ 遠隔ダウンロード時間の目安

録画設定（圧縮方式、画像サイズ、画質、フレームレート）の条件で遠隔ダウンロード時間が異なります。遠隔ダウンロード時間はスループットが 3 Mbps の場合の目安です。

- ※ 圧縮方式が H.265、フレームレートが 10 fps のときの目安です。
- ※ 遠隔ダウンロード時間は、LTE の電波環境やネットワーク環境等によって変動します。

単位：分

画像サイズ	画質	遠隔ダウンロード時間		
		10分	1時間	1日
1080p (1920 × 1080)	最高画質	7	40	960
	高画質	5	30	720
	標準	4	20	480
	長時間	3	18	420
720p (1280 × 720)	最高画質	5	30	720
	高画質	4	20	480
	標準	3	15	360
	長時間	2	10	240
HVGAW (640 × 360)	最高画質	3	15	360
	高画質	2	10	240
	標準	2	8	180
	長時間	1	5	120

故障かな？と思ったら

症 状	調べるところ	対 処
以下の機能を使用できない。 ・ライブ映像表示（標準モード／制御モード） ・外部機器制御 ・カメラ制御 ・音声ファイル再生 ・遠隔放送 ・メンテナンス制御	機能を使用できるプランに加入していますか？	機能を使用するには適切なプランに加入する必要があります。 メンテナンスメニュー（P.42）に表示されているサービスプランとご契約のプラン（P.8）を確認してください。
	機能を使用できないユーザーでログインしていませんか？	機能を使用するためには権限が付与されたユーザーでログインする必要があります。（☞ P.62「ユーザー管理」） 管理者アカウントでログインし、ユーザーの設定を確認してください。
	機器に異常が発生していませんか？	機器に異常が発生している場合は機能を使用できない場合があります。 （☞ P.40「機器の動作状態を確認する」） 販売店にお問い合わせください。または最寄りの営業所にご相談ください。
ライブ映像（標準モード）を表示できない。	他ユーザーが制御モードでライブ映像を確認していませんか？	制御モードでライブ映像を確認中は、他ユーザーはライブ映像を確認できません。（☞ P.31） しばらく待ってから、再度実行してください。
	—	ライブ配信開始までに時間がかかる場合があります。（☞ P.31「ライブ配信方式について」）
RS485 出力のプルダウンに制御したいメニューが表示されない。	RS485 のコマンドは設定されていますか？	RS485 コマンドを送信するためには事前に設定する必要があります。（☞ P.71） RS485 のコマンドを設定して、再度メニューを確認してください。
カメラの制御ができない。	プリセット登録をしていますか？	プリセット移動を行うためには事前にプリセットを登録する必要があります。プリセット登録後に再度実行してください。（☞ P.36「プリセット登録する」）
	—	ライブ映像の表示には遅延があります。（☞ P.31「ライブ配信方式について」）
音声ファイル再生ができない。	対象機器に音声ファイルが保存されていますか？	音声ファイルを再生するには、音声ファイルをタウンレコーダーに保存しておく必要があります。 詳しくはタウンレコーダーの設定・操作説明書*をご覧ください。
	音声ファイルリストが更新されていますか？	音声ファイルの追加や削除をしたときは、音声ファイルリストの更新が必要です。（☞ P.76「音声ファイルの名称を設定する」） 音声ファイルリストの更新後、再度実行してください。

症 状	調べるところ	対 処	
遠隔放送ができない。	必要なソフトウェアはインストールされていますか？	遠隔放送の機能を使用するにはソフトウェアをインストールしてください。 (☞ P. 15)	
	VPN ソフトウェアが停止していませんか？	遠隔放送を使用する場合は、VPN ソフトウェアにログインしてください。 (☞ P. 16)	
	VPNソフトウェアのアイコンがグレー(未ログイン)になっていませんか？ (☞ P. 16)	遠隔放送を使用する場合は、VPN ソフトウェアにログインしてください。 (☞ P. 16)	
以下のメッセージが表示される。 <ul style="list-style-type: none"> ・レコーダー情報の取得に失敗しました。 ・外部機器制御に失敗しました。 ・RS485 入力情報取得に失敗しました。 ・デバイス制御に失敗したため、ファームアップ設定を変更しませんでした。 ・機器再起動に失敗しました。 ・機器設定変更に失敗したため、LTE リフレッシュ設定を変更しませんでした。 ・機器の情報の取得に失敗したため、正しく表示できません。更新しなおしてください。 	機器との制御通信に失敗しています。	最終通信日時 (P. 40) が 1 時間以上前の場合	
		LTE 通信モジュールが故障していませんか？	状態表示画面(タウンレコーダーの設定・操作説明書*参照)のLTEモジュールの項目を確認してください。「異常」と表示されている場合は販売店にお問い合わせください。または最寄りの営業所にご相談ください。
		SIM カードが正しく挿入されていますか？	状態表示画面(タウンレコーダーの設定・操作説明書*参照)のSIMカードの項目を確認してください。「SIMカードなし」と表示されている場合は、SIMカードが正しく挿入されているか確認してください。
		DNS サーバーの設定は正しく行われていますか？	基本画面(タウンレコーダーの設定・操作説明書*参照)でDNSサーバーの設定を行ってください。
		最終通信日時 (P. 40) が 1 時間以内の場合	

症 状	調べるところ		対 処
「転送要求に失敗しました。」とメッセージが表示される。	機器との制御通信に失敗しています。	最終通信日時 (P. 40) が 1 時間以上前の場合	
		LTE 通信モジュールが故障していませんか？	状態表示画面 (タウンレコーダーの設定・操作説明書*参照) の LTE モジュールの項目を確認してください。「異常」と表示されている場合は販売店にお問い合わせください。または最寄りの営業所にご相談ください。
		SIM カードが正しく挿入されていますか？	状態表示画面 (タウンレコーダーの設定・操作説明書*参照) の SIM カードの項目を確認してください。「SIM カードなし」と表示されている場合は、SIM カードが正しく挿入されているか確認してください。
		DNS サーバーの設定は正しく行われていますか？	基本画面 (タウンレコーダーの設定・操作説明書*参照) で DNS サーバーの設定を行ってください。
		最終通信日時 (P. 40) が 1 時間以内の場合	
			販売店にお問い合わせください。または最寄りの営業所にご相談ください。
	制御命令の受理に失敗しています。	PTZ カメラが接続されているかをメンテナンスメニュー (P. 42) でカメラ品番をご確認ください。	

* TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download/>) で「G-R310-1」または「G-R311-1」を検索し、検索先からご確認ください。

■ エラーメッセージ（GR 遠隔ダウンローダー）

メッセージ	エラー内容	対処のしかた
VPN 接続されていません VPN 接続を確認してください	VPN 通信に失敗しています。	インターネット接続ができていることを確認してください。
		VPN ソフトウェアにログインしてください。（ P. 16 ）
		GR 遠隔ダウンローダーを再起動してください。（ P. 91 ）
リストを表示できません ダウンロード可能なタウンレコーダーはありません	ログイン ID からダウンロードできるタウンレコーダーが存在しません。	ダウンロード機能を使用するには適切なプランに加入する必要があります。メンテナンスメニュー（ P. 42 ）に表示されているサービスプランとご契約のプラン（ P. 8 ）を確認してください。
リストを表示できません このアカウントからアクセスできるタウンレコーダーはありません	ログイン ID からアクセスできるタウンレコーダーが存在しません。	タウンレコーダー（LTE）にアクセスできるログイン ID を使用してください。
		ログイン ID にダウンロード権限を付与してください。（ P. 62 ）
保存先の空き容量が不足しています ダウンロード範囲を確認してください	録画ファイルを保存するストレージの空き容量が不足しています。	十分な空きがあるストレージを保存先に指定してください。
		予定ダウンロード総容量が保存先の空き容量を上回らないよう、ダウンロード範囲を調整してください。
[拡声ライブプラン DL、拡声ライブプラン DL Light の場合] 通信データ量不足のため、ダウンロードできません	予定ダウンロード総容量に対し、SIM の通信残量が不足しています。	予定ダウンロード総容量が SIM の通信残量を上回らないよう、ダウンロード範囲を調整してください。
[ダウンロードプランワイド、拡声ライブプラン DL ワイドの場合] 通信データ量不足のため、ダウンロードできません パケットの追加を検討してください	予定ダウンロード総容量に対し、SIM の通信残量が不足しています。	予定ダウンロード総容量が SIM の通信残量を上回らないよう、ダウンロード範囲を調整してください。
		ご契約プランが「ダウンロードプランワイド」または「拡声ライブプラン DL ワイド」の場合は通信データ量を 10 GB 単位でチャージできます。（ P. 81 「SIM データ容量の追加について」） 販売店にお問い合わせください。または最寄りの営業所にご相談ください。

メッセージ	エラー内容	対処のしかた	
データ取得エラー タウンレコーダー情報の 取得に失敗しました	機器との制御 通信に失敗し ています。	最終通信日時(P. 40)が 1 時間以上前の場合	
		LTE 通信モジュールが故障していませんか？	状態表示画面(タウンレコーダーの設定・操作説明書*参照)のLTE モジュールの項目を確認してください。「異常」と表示されている場合は販売店にお問い合わせください。または最寄りの営業所にご相談ください。
		SIM カードが正しく挿入されていますか？	状態表示画面(タウンレコーダーの設定・操作説明書*参照)のSIM カードの項目を確認してください。「SIM カードなし」と表示されている場合は、SIM カードが正しく挿入されているか確認してください。
		DNS サーバーの設定は正しく行われていますか？	基本画面(タウンレコーダーの設定・操作説明書*参照)でDNS サーバーの設定を行ってください。
		最終通信日時(P. 40)が 1 時間以内の場合	
		販売店にお問い合わせください。または最寄りの営業所にご相談ください。	
保存先のフォルダーが存在しません 設定を確認してください	保存先のフォルダーが存在しません。	全体設定画面で保存先のフォルダーの設定を確認してください。 (☞ P. 93「ダウンロードの設定」)	

* TOA 商品データダウンロードサイト(<https://www.toa-products.com/download/>)で「G-R310-1」または「G-R311-1」を検索し、検索先からご確認ください。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル (固定電話専用) 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

202401